

平成三年三月

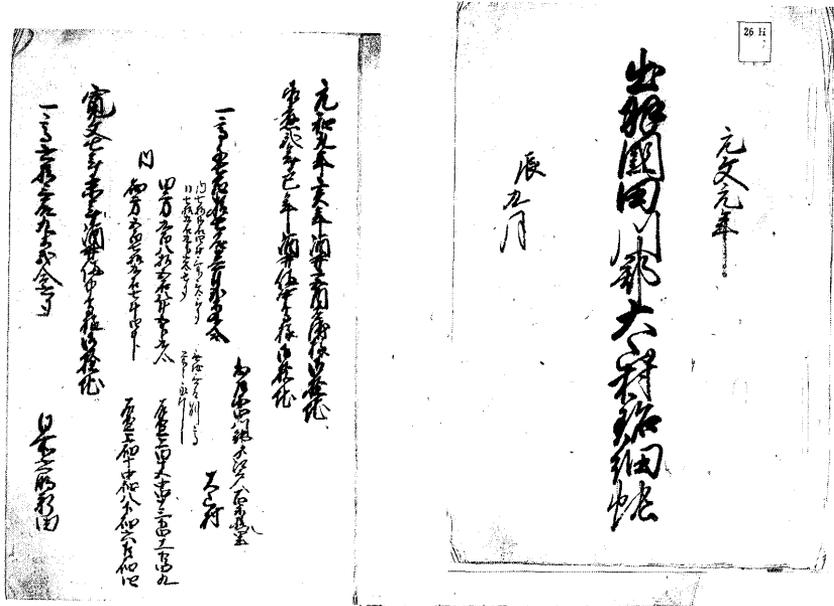
史料館所藏史料目錄 第五十三集

出羽国田川郡大山村大滝(直之助)家文書目錄

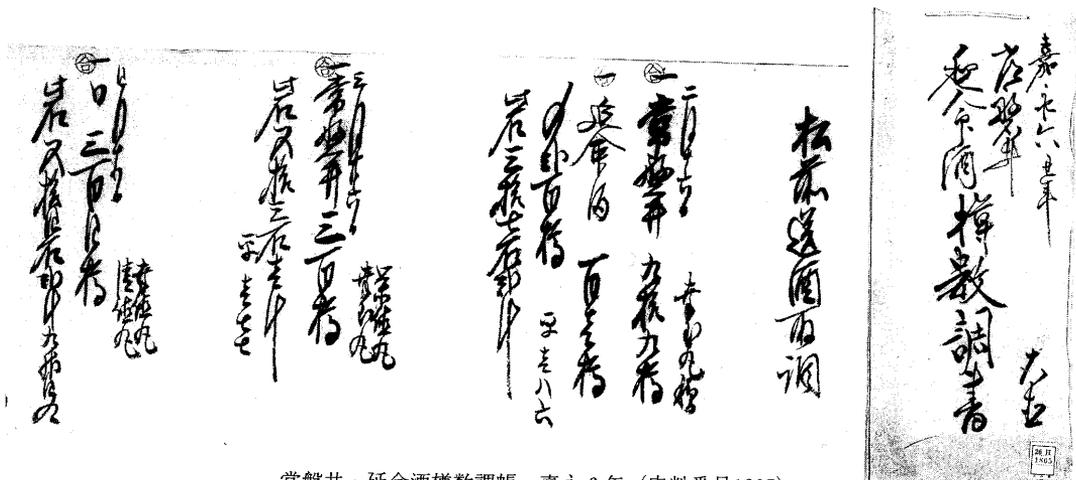
史  
料  
館

史料館所藏史料目錄 第五十三集

出羽国田川郡大山村大滝(直之助)家文書目錄



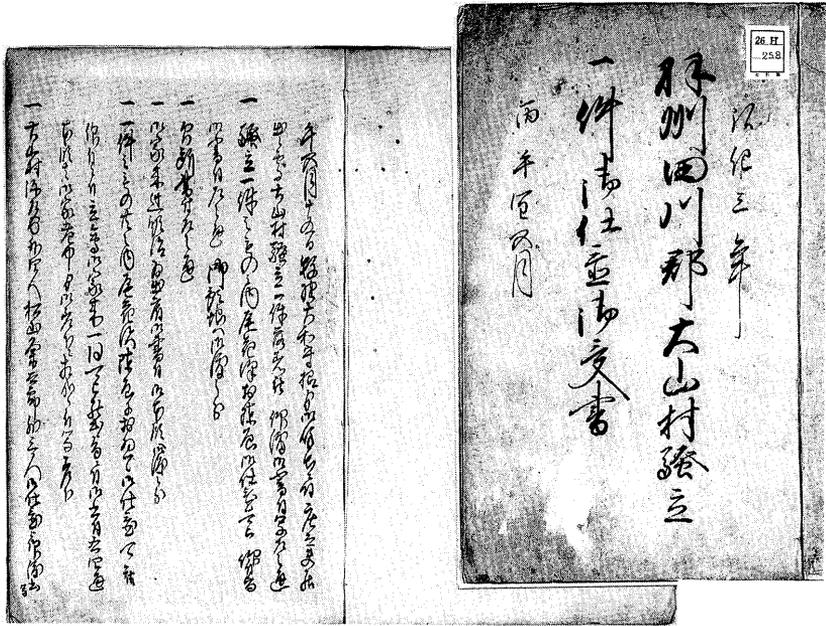
出羽国田川郡大山村銘細帳 元文元年 (史料番号 1)



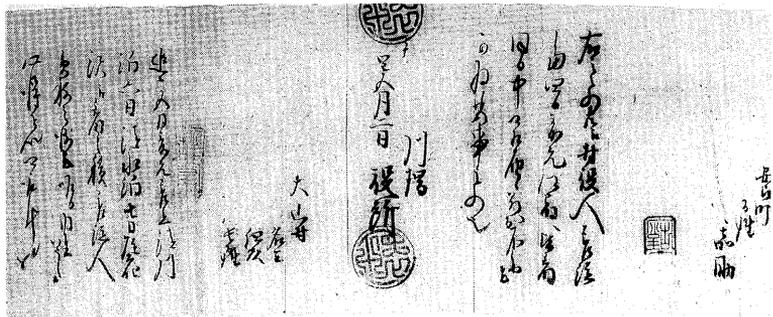
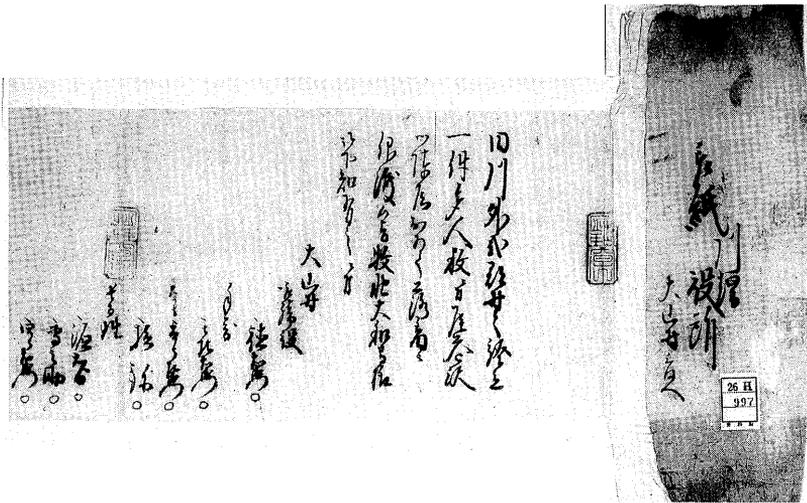
常磐井・延命酒樽数調帳 嘉永 6 年 (史料番号1805)



大滝藤左衛門借用金子証文 文政11年 (史料番号785)



羽州田川郡大山村騷立一件御仕置御受書 弘化3年 (史料番号258)



差紙 (大山騷立一件) 弘化3年 (史料番号997)

## 凡例

- 一 本目録は、『史料館所蔵史料目録』第五十三集として、出羽国田川郡大山村大滝（直之助）家文書を収めた。
  - 一 史料は利用上の便宜を考慮して、その内容・体裁等に応じ、大・中・小の項目を立てて分類配列した。大項目は一二ポイント・ゴチック活字、中項目は一〇ポイント・ゴチック活字、小項目は九ポイント活字で示した。また必要に応じて〇印で細項目を示した。但し内容が多岐にわたり、他の項目中にも掲げることが妥当と考えたものは※印を付して重出した。項目の下の印は、関連項目を参照しやすくするために示したものである。
  - 一 史料目録の記載欄は、原則として(一)表題 (二)作成者または差出人 (三)宛名 (四)作成年代 (五)形態 (六)数量 (七)整理番号の順である。
  - 一 表題（史料名称）は原則として原表題を採ったが、適宜改変したものもある。原表題の無いものおよび原表題を改変したものは仮りに命名して揚げ（ ）を付して前者と区別した。なお変体・異体・略字などは成るべく常用字に改めた。
  - 一 作成年代は年月を採り、また同一内容の史料で三年以上にわたるものは始年月と終年月とを明らかにし、中間は～によって継続を示した。また無年代のものうち、推定年代には（ ）を付し、干支の判明するものは干支年月日を付した。
  - 一 史料の形態は、簿冊類は半（半紙判）、美（美濃判）、美大（美濃大判）、横長半（半紙横長判）、横長美（美濃横長判）、横長美大（美濃大判横長判）横半半（半紙横長半截判）、横美半（美濃横長半截半）などの略称によって原書の大さの大概を示したが、絵図類および規格外のサイズのもの、縦横の寸法をセンチメートルで示した。また一紙書付類は通をもって数量を示し、紙型の大小・寸法は省略した。
- 一 巻末に簡単な解題を付した。

出羽国  
大田山川村郡  
大滝  
(直之助)  
家文書目録

目次

口 絵

凡 例

頁

出羽国田川郡大山村大滝（直之助）家文書目録……………一

目次……………四

目録……………七

解題……………九三

出羽国 田川郡 大山村 大滝(直之助)家文書目録 目次

支配	七	検見仕法、検見入用	四	出入、遊行上人、幼稚園	三
支配	七	年貢割付	四	村況	三
触書、陣屋	七	割付、免寄、浮役免	四	村明細、高反別差出	三
廻状	七	諸役	六	村入用	四
差紙	八	国役、小役金	六	郡中割、村入用帳、諸入用書出、村借	四
土地	九	取立	三	金錢請拂、雑用割、村費	四
検地	九	金納直段付、村々立入帳、御年貢米書上、庭場入帳、取立帳	三	諸職	四
検地帳	九	皆濟	三	酒造、諸職仲間、冥加寸志、直段付	四
高反別	一〇	皆濟目録	三	貸借	四
高反別書上帳、忝人立帳、田地証文、入作地	一〇	年貢納拂	七	恩借、拝借米金、借用証文、貸金出入、鑑札	四
引高	二	請取、藏納、御年貢米差引、払積俵拂	七	鶴岡米穀取引所(大山支庫)	三
引高・川欠	二	代取立、立札米、不納米、廻米、与内米	三	會計	三
土地売買	三	上納金	三	収支決算	三
田畑、屋敷地	三	上納金、用立金、無尽金	三	改装	三
質入	三	村	三	改装・修繕費	三
質入証文	三	村政	三	倉敷料	三
林野	三	御用留、村定、村役人、引継目録、治安、自害、大山騒擾、藤左衛門・清三郎欠所一件、越後国塩之町御差立一件、	三	諸入費	三
林守、請山	三			入米諸調	三
貢租・上納金	四			倉庫証券	三
検見	四			指図式、米券	三

高田麦村分	立会名主願、地盤立一件、借財方、金納米売買	戸口	家数・人数	人数寄・人数書上、人別送手形	土木・普請	川普請↓国役	用水	用水恵水吐門樋、分水、用水組人足、水門	堰・樋	新堰取建、堰割金書出、六明新田	道橋	道橋普請	困穀	粉蔵	御貯粉御用留、御貯粉蔵新築入用、修覆入用、粉蔵賄入用、御蔵積入粉、粉蔵改国	貯粉	貯粉調	御救粉	下ヶ穀(御手擬被下米)配当、取立、御救願・御拝借米書上、貸付方調				
		五	五	五	五	五	五	五	五	五	六	六	六	六	六	六	六	六	六	六			
運	押借証文、蔵米請取、返納粉	荷物継送	馬士出入	馬	馬市、市馬売買、御役錢	寺社	梶尾神社	社務、會計、保存会、太々神樂	諸社寺	愛宕山、慶雲寺	家	酒造	資金、酒造高、製造法、造酒調、仕入、売付、買付、蔵出、売上、酒粕、白米	受入、檢査、酒造代金差引	家計	大福帳、他所大福帳、諸買物書出	小作	小作米滞り一件	吉凶	祝儀、佛事	書状	その他	秋野家文書
		七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七	七
村政	公用留	家	日誌、家業、酒造、諸職、家計、貸金	吉凶	婚礼、見舞、佛事	成益講	広益社																
		八	八	八	八	八	八																

# 出羽国 田川郡 大山村 大滝(直之助)家文書目録

(文書記号 261)

## 支配

### 触書

#### ○幕法

公裁秘書 寛保二年三月廿七日 大山鈴木庄兵衛  
秀栄写 天保一三年九月 半帳 一冊 一九六

#### ○勤役

(川端役所手鑑) (明和六年〜嘉永二年十一月) 半帳 二冊 一九七

(鶴岡酒井藩令條) 享保三年四月より御用立之節  
貸方之事他百十五条目 午壬四月一五日(宝曆二  
年) 半帳 一冊 一九五

御預地無年限御政事向御私領同様被 仰付候  
ニ付触書 田川郡・飽海郡御預所宛 二月 一通 二二七

○  
出羽国郡村仮名附帳 御預所庄内扨 家来黒川  
武助 御勘定所宛 ・享和二年 半帳 一冊 二二三

大区小区順番 大滝扣 明治七年七月 半帳 一冊 二二六

羽州庄内兩郡百姓歎願書誌(領主所替ニ付) 大  
滝 明治二年 半帳 一冊 二二三

(諸勤役中不締ニ付御答申渡之覚) 戌・亥年 半帳 一冊 二六二

申渡之覚(御預地勘定役御組外宮島貞助取計方不  
埒ニ付役儀御免) 嘉永六年五月 一冊 二六三

大御前様御附郷御中間四年給金請取証文 播磨  
京田村佐五右衛門 大瀧直之助・羽根田与次兵衛・  
齊藤安右衛門・河野安兵衛・小林七右衛門宛 慶応  
元年一月 一通 二〇五

御備筋御入用金上納之者江被下銀申渡 御勘定  
奉行松平河内守御直達 五月 一通 二五六

西御丸御普請ニ付冥加上ケ金名前 天保九年 半帳 一冊 二五九

### 陣屋

大山村御陣屋絵図 立家一〇六・五坪 57×88 一枚 二六七

### 廻状

金納上納方廻状 川端御役所 大山村他村々名主  
宛 午(弘化三年) 一月二日 一通 九九二

大山村六明新田用水掛樋居渡ニ付人足詰方廻  
状 御預地役所 京田捨武ヶ村村々名主宛 未(弘  
化四年)三月 一通 九九三

年号嘉永改元ニ付廻状 川端役所 大山村名主宛  
申(嘉永元年)三月二五日 一通 九九三

差紙

差紙(田川他二郡村々騒立一件江戸落着御下知三付) 川端役所 大山村七ヶ村并大山村三役人宛 午(弘化三年) 閏五月二日 一通 一〇〇二

差紙(騒立一件二付村役人差添郷宿皆着方) 川端御役所 大山村三役人宛 午(弘化三年) 閏五月二日 一通 九九九

差紙(田川他式郡村々騒立一件二付村役人差添御宿皆着方) 川端役所 大山村三役人宛 午(弘化三年) 閏五月二日 一通 九七七

差紙(宝昌寺下男佐之助一件) 川端役所 大山村名主宛 午(弘化三年) 閏五月五日 一通 一〇〇〇

急御用差紙(申談急御用有之間) 川端役所 大山村名主宛 閏五月二日(弘化三年) 一通 一〇〇一

急御用差紙(尾花沢差出方二付) 川端御役所 大山村村名主・組頭・長百姓宛 閏五月二日(弘化三年) 一通 九五四

差紙(大山村之内本町百姓九左衛門差出方二付) 川端役所 大山村村名主宛 午(弘化三年) 五月 一通 一〇〇一

差紙(盜賊彦太郎一件掛合二付) 川端役所 大山村村名主宛 午(弘化三年) 一二月七日 一通 九五五

差紙(天瀧直之助申達有之三付) 川端役所 大山村村年寄大瀧三郎宛 午(弘化三年) 九月二八日 一通 一〇〇四

差紙(無宿勘右衛門取逃一件村預申付御下知三付) 川端役所 大山村村名主・組頭宛 午(弘化三年) 一二月二五日 一通 九九六

差紙(林元右衛門一件二付) 川端御役所 大山村村年寄宛 四月一三日 一通 九九八

急御用差紙(加茂送荷之儀二付) 川端御役所 大山村村名主宛 一二月四日 一通 一〇〇〇

差紙(米銭相場書差出方遅延二付) 川端役所 大山村村名主宛 西七月二七日 一通 一〇〇三

差紙(申達儀有之三付) 川端役所 栃屋村三役人宛 六月四日 一通 一〇〇五

差紙(御下穀粉并百姓出穀粉共正粉二而納方二付) 写 御預所田川郡大山村役人并他人ヶ村名主連印 弘化二年一二月 一通 一〇〇六

荒町弥吉江懸り引当米濟方滞一件御吟味御日延願 荒町弥吉・伊勢屋次郎右衛門 御役所宛 戊四月一〇日 一通 一〇〇七

口上(竹岡源右衛門御呼出シニ付御差延願) 森井猪作 相田儀右衛門・佐藤喜右衛門他宛 四月五日 一通 一〇〇八

(佐助事信次改名一件二付申渡) 川端役所 大山村村三役人宛 申四月七日 一通 一〇〇三

大山村佐助事信治金山堀立之儀二付願下願書 下戻申渡 御役所 申九月 一通 一〇〇九

遊行上人通行二付郡中割申渡 川端役所 年寄三郎宛 一二月朔日 一通 一〇一三

差紙(箱館江造酒差紙之儀) 川端役所 大山村村年寄宛 子二月一四日 一通 一〇一〇

土地

検地

検地帳

大山御検地水帳之内古荒写 瀧波太郎右衛門  
寛永一九年一〇月 美大 一冊 六

羽彗庄内大山領之内田河郡大山村新田御検地帳  
松平清三郎内瀧五左衛門・山岡八郎右衛門延宝九年八月 美大 一冊 七

出羽国田河郡大山領大山前田西村六明新々田検地帳  
松平清三郎内山岡忠右衛門・河原安兵衛 貞享四年九月 美大 一冊 八

出羽国田河郡大山村新田検地帳 御代官天野市十郎 寛延四年八月 美大 一冊 〇

大山前田面御水帳写シ 上 本町組 正徳三年一〇月 美大 一冊 二

大山前田面御水帳写シ 下 本町組 正徳三年一〇月 美大 一冊 三

大山村新々田御水帳 写 享保一〇年八月 美帳 一冊 二〇

羽州大山村新々田御検地帳 写 名主善右衛門改・組頭安兵衛立会 享保一二年一〇月 美大 一冊 一六

羽州大山村六明新田御検地帳 写 名主善右衛門改・組頭安兵衛立会 享保一二年一〇月 美大 一冊 一五

出羽国田河郡大山村新田検地帳 御代官天野市十郎手代高橋四郎左衛門・大田和善藏・大串宇八 寛延四年八月 美大 一冊 一七

(出羽国田川郡大山村新田検地帳) 御勘定横澤弥左衛門・同浅井六藏他 神尾若狭守・逸見出羽守宛 延享四年四月 美大 一冊 一六

大山本町組水帳写 下 西側・東側・横町・腰前・目取田・堂田・白川草身・造り道・堰上・打野・小前割分 田河郡大山村本町組名主善右衛門・組頭善四郎・手傳多郎左衛門 明和五年四月 美大 一冊 一三

大山本組町組水帳写 上 塚の脇・馬町・紙漣町・川原田・かじか沢・都沢・城山・坪ノ内・四角堀・堀はた・戌起取町・中道・萩田・安国寺・ねき塙・三千菊・ふけ・町凌・沼田・しかい田・座頭谷地・堰根 明和五年四月 美大 一冊 一四

大山 六明新田 水帳写 田河郡大山村本町組名主善右衛門 新々田 組頭善四郎・手伝多郎左衛門 明和五年四月 美大 一冊 一五

大山村本町組田畑反別水帳表寄帳 名主善右衛門(組) 元文三年一〇月 美帳 一冊 一九

本田 上 (二六)一八六三番迄) 横町・腰前・目取田・堂田・白川草(惣)身・造道・諏訪木・松葉・堰上・草田・打野分(慶応二年六月) 半帳 一冊 二七

本田 下 (八六四一―一七四三番迄) 塚の脇・宮ノ下・馬町・紙漣町・門前脇・川原田・かじか沢・堤下・都沢・城山・坪ノ内・四角堀・堀端堀ノ内入込・戌起殿町・安国寺・中道・茨田・三千菊・ふけ・町後・沼田・しかい田・若柳・座頭谷地・堰根分(慶応二年八月) 半帳 一冊 二六

(卯高入新田御水帳書下帳) (文化八カ) 横長美大 一冊 一七三

六明新々田卯高入御水帳写書下帳 本町組 文  
政六年五月 横長美大 一冊 一七四

六明新田(田川郡京田通大山村御水帳) 一  
一六一番 慶応二年六月 半帳 一冊 三六

○

慶応三年卯四月御代官中御廻村組々於役宅村々  
役人寄集申渡御水帳仰改直被仰渡之写 大滝直  
之助 慶応三年四月 半帳 一冊 二四〇

高反別

高反別書上帳

田河郡大山村卯高入新田田畑反取書上ヶ帳 宝  
曆二年九月 半帳 一冊 三

本町組持分田畑書上 文化一四年 一通 一〇六一

両組反畝仕訳帳 本町・安良町分 (文政三年カ) 半帳 一冊 三四

申高入新田内外反別帳 大滝清三郎 文政九年 横長美大 一冊 一七五

本町并町々同人小寄帳 (一)(慶応二年カ) 半帳 一冊 三九

○入作分

入作村々同人小寄帳 (二)(慶応二年カ) 半帳 一冊 三〇

両組高反別仕分調 慶応三年六月 半帳 一冊 三六

本町組本田畑上中下反畝寄帳 慶応三年六月 半帳 一冊 三六

入作畑高取調帳 本町組 明治五年一月 半帳 一冊 三三

本町并町々畑高反調帳 本町組 明治六年二月 半帳 一冊 四〇

反別高寄調 半帳 一冊 三三

本田反別高取調帳 半帳 一冊 三五

高反別組訳帳之内本町組 横長美大 一冊 七五

○ 老人立帳

出羽国田川郡増川八ヶ村組奥屋村分持高并取米  
老人立帳 安政四年二月 横長美大・半 一冊 二四

本町組 本田畑 屋敷老人立調 (一) 明治六年一  
月 半帳 一冊 四一

本町組入作 本田畑 老人立調 (二) 明治六年一  
月 半帳 一冊 四三

御田地調帳 馬町村水口弥五兵衛 半帳 一冊 四三

田河郡貳拾ヶ村 高書上覚帳 佐藤善右衛門 半帳 一冊 三三

由利郡拾老ヶ村 高書上覚帳 佐藤善右衛門 半帳 一冊 三三

六明分高反別名寄 (明治カ) 半帳 一冊 一七五

新々田分高反別名寄 (明治カ) 半帳 一冊 一七六

卯高入分高反別名寄 (明治カ) 半帳 一冊 一七七

現今屋敷調 本町組 明治六年一月 半帳 一冊 六七

田地証文 大山本町村分御田地証文写 馬町村弥五兵衛分  
田中八郎兵衛奥印 天明五年二月 安政三年四  
月 半帳 一冊 二三四

大山本町分御田畑証文写 宮野下馬町村水口九  
郎右衛門扣 (寛政八年一文化九年迄五通) 文化  
九年七月 半帳 一冊 二三八

大山村本町分并屋敷御田畑証文写 衛門控 慶応三年五月	中里四郎右	半帳	一冊	一三五	羽前国田川郡第一二區大山村居住加藤專十郎所持分高反別 (明治六年九)	半帳	一冊	一七五
大山本町寺町清兵衛持分 年迄四通 嘉永四年二月	(文化八年一嘉永四年迄)	半帳	一冊	一三七	本町組上ヶ地肝煎徳兵衛預り地高反別書上 (明治六年九)	半帳	一冊	一七六
大山本町分所持高反別証文之写 (安永四年一安政三年迄一二通)	馬町村孫八分 慶応三年五月	半帳	一冊	一三六	大滝直伎他所持分高反別書上 (明治六年九)	半帳	一冊	一七七
本町分反別之写	田中八郎兵衛 明治六年五月	半帳	一冊	一三九	大山本町分田畑高反別書上	半帳	一冊	一七九
大山村本町分所持御田畑反別扣 (明治六年九)	中里權兵衛	半帳	一冊	一三三	〇			
田畑一筆限取調差出方達	大山村藤右衛門他	一通	一通	一〇六	栃尾村改名寄帳 嘉永三年二月	半帳	一冊	一七六
入作地					振高与内高惣調	半帳	一冊	一三三
大山本町分高反別之覚 (御引合願) 郎分 大滝直之助宛 丑五月(慶応元年)	加藤長三	半帳	一冊	一七〇	引高			
大山本町分高反別書上 九郎右衛門 肝煎佐藤徳兵衛宛 癸酉四月(明治六年)	宮野下九郎右衛門所持	半帳	一冊	一七三	引高・川欠 (前々永引田畑書上)	半帳	一冊	一六四
本町分御田畑高高反別書上 渡会格弥 本町組御役人中宛 癸酉五月(明治六年)	作人馬町村伝吉他	半帳	一冊	一七六	〇川欠	横長半	一冊	一五七
大山本町分高反別之覚 券調(付実地調) 水口九郎右衛門 西一〇月(明治六年)	佐藤徳兵衛宛	半帳	一冊	一七二	羽州田河郡大山村・友江村荒所川欠御吟味ニ付名主・組頭・長百姓・地主立会改絵図 大山村名主喜右衛門他三役人・友江村名主豊右衛門他三役人 明和五年	57×110	一鋪	一六四
大山本町分御田地高反別書上 門所持分 (明治六年九)	加茂秋野茂右衛	半帳	一冊	一七三	羽州田川郡大山村荒所川欠御吟味ニ付三役人立会改絵図 保一三年七月	58×110	一鋪	一六五
〇								
羽前国田川郡第一二區大山村居住加藤專十郎所持分高反別 (明治六年九)		半帳	一冊	一七四				

土地 売買

田 畑

畑壳渡申証文之事(包紙共) 売主嘉兵衛 佐藤市五郎宛 文化七年六月	一通	六七
本町分御畑地讓申証文之事 組頭三五郎・佐藤善右衛門奥印 御田地讓主長作 田中八郎兵衛宛 文化一〇年七月	一通	六七
本町分御田地讓り渡証文之事 御田地讓主長六 田中八郎兵衛宛 文化一〇年七月	一通	六七
本町分御田地讓渡申証文之事 讓主宮下藤三郎 本町与右衛門宛 讓主本町与右衛門 田中八郎兵衛宛 文化一〇年一〇月一二月	一通	六七
大山本町分御田地金子子入用二付讓渡申証文之事 売主弥左衛門 馬町村作兵衛宛 文化一二年一月	一通	六八
本町分御畑地讓渡証文之事 讓り主宇左衛門 田中新兵衛宛 文化一一年一月	一通	六八
大山本町分御畑地讓渡し申証文之事 組頭証印 大山本町讓主長作 田中徳右衛門宛 文化一三年三月	一通	六八
本町分御田地讓渡申証文之事 田中八郎兵衛奥印 讓主勘三郎 本町組御役人中宛 文政一一年一月	一通	六八
差出申一札之事(御田地永讓証文) 扣 讓主加賀屋弥左衛門 浜中村与三右衛門宛 天保三年二月	一通	六九

大山本町分御田地讓渡証文之事 讓主彦兵衛 米出村甚助宛 天保八年二月	一通	六八
本町分御田地讓り渡申証文之事 名主証印 讓り主田中太郎左衛門 馬町村久治郎宛 天保一一年二月	一通	六八
太郎左衛門方取請候証文之事 (田地御買上方三付) 分家田中太郎左衛門・糸屋三郎兵衛・糸屋太四郎 御本家田中徳太郎右衛門宛 天保一三年正月	一冊	三三四
御田地讓受三付出錢上納方御請証文(本町次左衛門) 年寄三郎・名主善六・組頭徳兵衛宛 弘化三年二月	一通	六八
大山本町分畑地讓渡申証文之事 讓主新左衛門 大山本町組石方 嘉永元年一〇月	一通	六八
荒町分御畑地讓渡申証文之事 讓主重吉 銅屋町九郎右衛門宛 嘉永四年三月	一通	六八
本町分御田地讓渡申証文之事 与頭証印 売主 起右衛門 新五郎宛 西二月	一通	六九
現今御田畑讓調 本町組 明治六年一月	一冊	三三〇
屋敷地		
讓渡申屋鋪証文之事 讓主善太郎 仁吉宛 弘化四年五月	一通	七三
大山阿良町分屋敷讓渡証文之事 讓主新町百姓 大山阿良町方・栃屋村・柳厚村石方宛 嘉永六年七月	一通	七四
田畑屋敷讓此度改出シ帳(明治カ)	半帳	三三三
菱津分雜木山讓渡申証文之事 菱津村讓主紋兵衛 押止組村々御役人中宛 嘉永五年一〇月	一通	六九

質入

質入証文

大山本町分田畑年季質入証文之事 売主野具屋小三郎 靄岡三百町平田太郎右衛門宛 文化八年二月

田畑質入加印扣 (名主) 田中安兵衛 弘化三年二月

大山荒町分御畑地質入証文之事 年寄三郎証印 畑地質入主与平治 本町齊藤助内宛 弘化四年正月

(本町多七方妻借用金二重遣発覚三付返金方訴状) 訴主四兵衛・肝煎連印 年寄三郎・名主善六・同長三郎宛 弘化四年六月

大山村本町分御田畑年季質入証文之事 年寄三郎証印 御田畑質入主鯨ヶ岡平田多次右衛門 米出村肝煎・長人中宛 嘉永元年二月

御田畑年季質入諸証文反別写 讓主田中八郎兵衛 阿部太郎左衛門宛 安政三年一月

大山本町分御田地三ヶ年季讓渡証文之事 御田地讓主鶴ヶ岡荒町中野治郎兵衛 馬町村徳左衛門宛 文久三年一〇月

慶応三年卯方年季質入証文調 米出村御田地質入主与惣兵衛・親類・添役・肝煎・年寄 風間幸右衛門宛 慶応三年

西郷組広岡村分御田地三拾年季讓渡申証文之事 扣 御地讓主留吉 肝煎甚助宛

京田通西郷組坂野辺新田村分御田畑年季質入証文之事 組頭九郎兵衛他長人・肝煎連印 柿崎孫兵衛宛 天保六年八月 一通 七六

中川通横山組坂野辺新田分御田畑年季質入証文之事 (二拾五年季) 組頭・長人・肝煎連印 柿崎孫兵衛宛 天保六年八月 一通 七三

林野

林守

(御林守御立替三付取立方願) 願人九十郎・長人・肝煎連印 年寄三郎・名主長三郎宛 嘉永二年二月 一通 七五

高割出錢指引覚 (山守給他) 割元 本町組宛 辰二月 一通 一〇九七

請山

株山借受申証文之事 扣 御立会見分絵図共 大山村馬士・百姓惣代・肝煎 大長人助左衛門・同新右衛門・肝煎由兵衛・杖突新十郎宛 慶応二年六月 三通 七四

覚 (去々辰年御林立枯木御拂代金受取証文) 川端御役所 大山村名主宛 午三月 (天保五年九) 一通 四六

御私領馬町村地方 御預所湯野浜村永借地 小沼地一件控 (入会地草荊一件) 大滝三郎 安政二年六月 半帳 一冊 二四六

母狩山入会稼職山口明三付立会之上稼場御配分願 御預地三ヶ村連印 川端御役所宛 安政三年二月 飯一冊 二四四

大山村御林三而御林番人苗木又は枝等伐取禁止達書并大山村民請印帳 川端御役所 大山年番名主宛 文久三年三月一六日 横長美 一冊 三三八

大山村御林山并村内町々往還筋絵図面 元治二年四月 8x12 一鋪 二六二

雜木山代金請取手形 美津村半右衛門 大山堰守与惣右衛門宛 子一〇月 一通 三五九

(勘右衛門ワゴ三而杉木撰伐願) 願人四郎右衛門他七人・山先連印 年寄三郎・名主善六・同長三郎宛 未(弘化四年カ) 四月 一通 七〇六

貢租・上納金

検見

本田分法立(石盛法) 一通 二五九

凡例(地稅表) 半帳 仮一冊 二七

検見仕法

検見御用(御検見誓詞・神文他) (明和六年) 弘化元年 半帳 一冊 一八五

検見入用

覚(検見之節諸入用書上) 喜兵衛 割元衆中宛 未八月 一通 六三

覚(御検見之節分入用書上) 大山宿忠次郎 割元衆中宛 未八月 一通 六六

覚(検見之節諸入用書上) 久七・作兵衛 割元衆中宛 未八月 一通 六三九

覚(検見之節蠟燭代書上) 重吉 作兵衛宛 未八月 一通 六四〇

上野平開発三付見取田仰付願 友吉他惣百姓・五人組頭・組頭・肝煎・萩原平吉宛 寛政七年二月 一通 二四二

年貢割付

割付

卯御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村大貫次右衛門 天保一四年一〇月 一通 四四八

午御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村山川権之助・吉川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化三年一月 一通 四四九

未御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村小川権之助・吉川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化四年一月 一通 四五〇

申御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村小川権之助・吉川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・相良文右衛門 嘉永元年一月 一通 四六一

酉御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村小川権之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永二年一月 一通 四六二

戌御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村小川権之助・古川与三兵衛・山内嘉右衛門・長坂市右衛門・黒谷新兵衛 名主・組頭・長百惣 嘉永三年一月 一通 四六三

亥御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村 中村右門・小川権之助・山内嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永四年二月	一通	四六四	巳御成箇可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 小川権之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化二年十一月	一通	四六三
子御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村 中村右門・小川権之助・山内嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永五年二月	一通	四六五	午御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 小川権之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化三年十一月	一通	四六四
丑御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村 加藤今右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永六年一月	一通	四六六	未御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 小川権之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門・相良文右衛門 弘化四年十一月	一通	四六五
辰御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・安政三年一月	一通	四六七	申御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 小川権之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉衛門・相良文右衛門 嘉永元年一月	一通	四六六
巳御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政四年二月	一通	四六八	酉御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 小川権之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永二年一月	一通	四六七
午御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政五年二月	一通	四六九	戌御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 小川権之助・古川与三兵衛・山内嘉右衛門・長坂市右衛門・黒谷新兵衛 嘉永三年十一月	一通	四六八
申御年貢可納割附之事 出羽国田川郡大山村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏 万延元年一月	一通	四七〇	亥御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 中村右門・小川権之助・山内嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永四年二月	一通	四六九
年々仮免状控 年寄三郎 弘化三年九月	一冊	一〇九	子御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 中村右門・小川権之助・山内嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永五年二月	一通	五〇〇
寅仮免状 出羽国田川郡大山村	一通	三三〇	丑御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 加藤今右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永六年一月	一通	五〇一
戌仮免状 出羽国田川郡大山村 砂押村戌仮免状 繼証文	一通	四七一	寅御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永七年二月	一通	五〇二
亥仮免状 出羽国田川郡大山村	一通	六五九			
○砂押村					
卯御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村 大貫次右衛門 天保一四年一〇月	一通	四九三			

卯御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村  
氏家仲右衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛 安政二年十一月 一通 五〇三

辰御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村  
氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政三年十一月 一通 五〇四

巳御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村  
氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政四年十一月 一通 五〇五

午御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村  
氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政五年十一月 一通 五〇六

申御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村  
氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 万延元年十一月 一通 五〇七

酉御年貢可納割附之事 出羽国田川郡砂押村  
氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 文久元年十一月 一通 五〇八

寅辰免状 出羽国田川郡砂押村  
亥辰免状 出羽国田川郡砂押村 一通 五〇九

○丹波興屋村

卯御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村  
大貫次右衛門 天保一四年一〇月 一通 五〇九

巳御成箇可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村  
小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化二年十一月 一通 五〇〇

午御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村  
小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化三年十一月 一通 五〇一

未御年貢可納割附之事 丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門・相良文右衛門 弘化四年十一月 一通 五〇三

申御年貢可納割附之事 丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・相良又右衛門 嘉永元年十一月 一通 五〇三

酉御年貢可納割附之事 出羽国田川郡新興屋村  
小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門 嘉永二年十一月 一通 五〇四

酉御年貢可納割附之事 丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永二年十一月 一通 五〇五

戌御年貢可納割附之事 丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・山内嘉右衛門・長坂市右衛門・黒谷新兵衛 嘉永三年十一月 一通 五〇六

亥御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村  
中村右門・小川權之助・山内喜右衛門・黒谷新兵衛 嘉永四年十一月 一通 五〇七

子御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村  
中村右門・小川權之助・山内喜右衛門・黒谷新兵衛 嘉永五年十一月 一通 五〇八

丑御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村  
加藤今右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永六年十一月 一通 五〇九

卯御年貢可納割附之事 丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛 安政二年十一月 一通 五〇〇

辰御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村  
氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政三年十一月 一通 五〇一

巳御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政四年一月	一通	五二	巳年大山組諸金納御割賦写帳 吉川喜右衛門・大山組拾々村年番佐藤善右衛門 寛延二年八月	美帳	一册	三
午御年貢可納割附之事 丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政五年一月	一通	五三	(辰巳)兩年御年貢割賦取立 大山村他式々村	半帳	一册	六九
申御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 万延元年一月	一通	五四	大山本町分論田古畑村々小前割附覚帳 本町組 文政四年五月	横長美大	一册	一七六
酉御年貢可納割附之事 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 文久元年一月	一通	五五	大山本町分論田古畑高割帳 田中八郎兵衛 文政五年一月	横長美大	一册	一七三
戌御年貢可納割附之事 丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏 文久二年一月	一通	五六	大山村本田新田高分并上納米割賦取調帳 本町組・安良町組分 慶応四年六月	半帳	一册	一〇二
仮免定 出羽国田川郡新興屋村	一通	五七	卯高入取免寄	半帳	一册	四
○ 枋屋村			六明取免寄	半帳	一册	三
戌御年貢可納割附之事 出羽国田川郡枋屋村 小川権之助・古川与三兵衛・山内嘉右衛門・長坂市右衛門・黒谷新兵衛 嘉永三年一月	一通	五九	本田取免調帳(御取免寄)	半帳	一册	一四四
丑御年貢可納割附之事 出羽国田川郡枋屋村 加藤今右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永六年一月	一通	五七	○			
申御年貢可納割附之事 出羽国田川郡枋屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 万延元年一月	一通	五四	京田組・西御組・加茂組高并免相	半帳	一册	三七
枋屋村年々御割附控 年寄三郎 戊年	一通	二九	新々田取免寄	半帳	一册	三
未飯免状 出羽国田川郡枋屋村	一通	六三	○			
枋屋村年々御割附控 年寄三郎 戊年	一通	二九	浮役免			
未飯免状 出羽国田川郡枋屋村	一通	六三	本田浮役調	半帳	一册	四
枋屋村年々御割附控 年寄三郎 戊年	一通	二九	卯高入浮役寄	半帳	一册	五〇
未飯免状 出羽国田川郡枋屋村	一通	六三	新々田浮役調寄	半帳	一册	五二
枋屋村年々御割附控 年寄三郎 戊年	一通	二九	六明浮役寄	半帳	一册	五四
未飯免状 出羽国田川郡枋屋村	一通	六三	○			

明治七年両組貢米浮役小役米取立法調 本町 半帳 一冊 一五三  
明治七年

本田渡米并貢・浮米書上 美帳 一冊 一六五四

田畑石盛并本米法抄書 文政二年一月 横美大半 一冊 一九三〇

諸 役

国 役

○川々御普請入用

覚(越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四四  
古川与三兵衛 大山村名主宛 辰(天保三年九) 一〇月二〇日

覚(越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四七  
小川權之助 大山村名主宛 巳(天保四年九) 一〇月二三日

覚(越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四八  
小川權之助 大山村名主宛 巳(天保四年九) 一〇月二三日

覚(去申年越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四三〇  
古川与三兵衛 大山村名主宛 酉(天保八年九) 九月一九日

覚(去申年越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四九  
古川与三兵衛 大山村名主宛 酉(天保八年九) 一〇月二八日

覚(去申年越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四三  
古川与三兵衛 大山村名主宛 酉(天保八年九) 一〇月二八日

○

去丑年越後国川々御普請御入用金請取手形 一通 八九〇  
氏家仲右衛門 大山村名主 寅一〇月二八日

去寅年越後国川々御普請御入用金請取手形 一通 八九四  
加藤今右衛門 大山村名主 卯一〇月二八日

去卯年越後国川々御普請御入用金請取手形 一通 八九九  
氏家仲右衛門 大山村名主 辰一〇月二八日

去辰年越後国川々御普請高役上納金受取手形 一通 九〇二  
加藤今右衛門 大山村名主 巳一〇月

大山村去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形 一通 九〇七  
川端御役所 名主 午一〇月二八日

去申年越後国川々御普請御入用金請取手形 一通 九一六  
川端御役所 大山村他名主 酉一〇月二八日

去酉年越後国川々御普請御入用金受取手形 一通 九一七  
小川權之助 大山村名主 戌一〇月二八日

去戌年越後国川々御普請御入用金請取手形 一通 九三  
中村右門 大山村名主 亥一二月二八日

○

国役金上納三付受取手形 大貫次右衛門手附松山 一通 二七  
象太郎大山村 寅一一月五日

○砂 押 村

覚(越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四九  
古川与三兵衛 砂押村名主宛 辰(天保三年九) 二月一〇日

覚(越後国川々御普請御入用金請取手形) 一通 四三  
小川權之助 砂押村名主宛 申(天保七年九) 一〇月二八日

○	去丑年越後国川々御普請御入用金請取手形 氏家仲右衛門 砂押村名主 寅一〇月二八日	一通	八九三	去辰年越後国川々御普請高役上納金受取手形 加藤今右衛門 丹波興屋村名主宛	一通	九〇三
	去寅年越後国川々御普請御入用金請取手形 加藤今右衛門 砂押村名主 卯一〇月二八日	一通	八九七	丹波興屋村越後国川々御普請御入用金請取手形 川端役所 名主宛 午一〇月二八日	一通	九〇八
	去卯年越後国川々御普請御入用金受取手形 氏家仲右衛門 砂押村名主 辰一〇月二八日	一通	九〇二	去未年越後国川々御普請御入用金請取手形 小川權之助 丹波興屋村名主宛 申一〇月二八日	一通	九〇六
	去辰年越後国川々御普請高役上納金受取手形 加藤今右衛門 砂押村名主 巳一〇月	一通	九〇五	去戌年越後国川々御普請御入用金請取手形 中村右門 丹波興屋村名主宛 亥一〇月二八日	一通	九一二
	砂押村越後国川々御普請御入用金請取手形 川端役所 名主 午一〇月二八日	一通	九〇〇	丹波興屋村分去酉年越後国川々御普請御入用金受取手形 小川權之助 大山村名主宛 戌一〇月二八日	一通	九〇〇
	去巳越後国川々御普請御入用金請取手形 川端役所 砂押村名主宛 午一〇月二八日	一通	九〇六	国役金上納二付受取手形 大貫次右衛門手附松山 衆太郎 丹波興屋村宛 寅一〇月五日	一通	一一七
	去酉年越後国川々御普請御入用金受取手形 小川權之助 砂押村名主宛 戌一〇月二八日	一通	九〇五	○ 柝屋村分		
	去戌年越後国川々御普請御入用金受取手形 中村右門 砂押村名主宛 亥一〇月二八日	一通	九〇三	覚(去申年越後国川々御普請御入用金請取手形) 古川与三兵衛 柝屋村名主宛 酉(天保八年九)一〇月二八日	一通	四三三
	○			去丑年越後国川々御普請御入用金受取手形 氏家仲右衛門 柝屋村名主宛 寅一〇月二八日	一通	八九三
	国役金上納二付受取手形 大貫次右衛門手附松山 衆太郎 砂押村宛 亥一〇月五日	一通	二七八	去寅年越後国川々御普請御入用金請取手形 加藤今右衛門 柝屋村名主宛 卯一〇月二八日	一通	八九六
	○ 丹波興屋村分			去卯年越後国川々御普請御入用金受取手形 氏家仲右衛門 柝屋村名主宛 辰一〇月二八日	一通	九〇〇
	去丑年越後国川々御普請御入用金請取手形 氏家仲右衛門 丹波興屋村名主宛 寅一〇月二一日	一通	八九一	去辰年越後国川々御普請高役上納金受取手形 加藤今右衛門 柝屋村名主宛 巳一〇月	一通	九〇四
	去寅年越後国川々御普請御入用金受取手形 加藤今右衛門 丹波興屋村名主宛 卯一〇月二八日	一通	八九五	柝屋村越後国川々御普請御入用金請取手形 川端役所 名主宛 午一〇月二八日	一通	九〇九
	去卯年越後国川々御普請御入用金受取手形 氏家仲右衛門 丹波興屋村名主宛 辰一〇月二八日	一通	八九九			

去戌年越後国川々御普請御入用金請取手形  
中村右門 栃屋村名主宛 亥二月二八日 一通 九四

○諸村

下小中村去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端御役所 名主宛 午一〇月二八日 一通 九二

友江村去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 名主宛 午一〇月二八日 一通 九三

下川村去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 名主宛 午一〇月二八日 一通 九三

文安京田村去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 名主宛 午一〇月二八日 一通 九四

西野山村去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 名主宛 一〇月二八日 一通 九五

柳原新田去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 名主宛 午一〇月二八日 一通 九六

湯之浜村去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 名主宛 午一〇月二八日 一通 九七

梶尾明神領去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 下川村名主宛 午一〇月二八日 一通 九八

金峯山領去巳年越後国川々御普請御入用金請取手形  
川端役所 下小中村名主宛 午一〇月二八日 一通 九九

覚(国役金他上納金差引書上) 栃屋村名主三藏・同六右衛門 大滝直之助宛 文久三年一月 一通 一〇三

小役金

○割付

大山本町組本田御年貢小役代米割付帳 文化三年一月 横長美大 一冊 一七五

大山本町組本田御年貢小役代米割付帳 文政二年一月 横長美大 一冊 一七五

大山本町組 六明・新々 田御年貢小役代米割付帳 文政三年一月 横長美大 一冊 一七六

大山本町組本田御年貢小役代米割付帳 文政三年一月 横長美大 一冊 一七五

○

本町組年々小役法立帳 文政三年一月 横長美 一冊 四三

六明新々田年々小役法立帳 本町組 文政四年一月 横長美大 一冊 一七〇

亥御年貢 丹波并新々田猪山札・本田畑方 取立巻 六明新田卯入帯刀 本町組 天保一〇年一月 横長美大 一冊 一七四

(御年貢米并小役代米取立帳) (天保一四年) 横長美大 一冊 一七五

午御年貢米取立巻人立帳 本町組 弘化三年一月 横長美大 一冊 一七五

未御年貢并小役代米取立巻人立帳 本町組 弘化四年一月 横長美大 一冊 一七六

申御年貢并小役代米取立巻人立帳 本町組 嘉永元年一月 横長美大 一冊 一七七

酉御年貢并小役代米取立老人立帳	本町組	嘉	横長美大	一冊	一七〇	本町組小役金錢請拂帳	田中新五郎・佐藤与左衛門	文化七年二月	横長美	一冊	三四四
永三年二月	本町組	嘉	横長美大	一冊	一七〇	本町組小役金錢請拂帳	渡会格弥・今藤兵四郎	文化八年二月	横長美	一冊	三四五
戌御年貢并小役代米取立老人立帳	本町組	安	横長美大	一冊	一七〇	本町組小役金錢請拂帳	行持大滝藤左衛門・石井久三郎	文化九年二月	横長美	一冊	三四六
午御年貢并小役代米取立老人立帳	本町組	文	横長美大	一冊	一七一	本町組西小役金拂受帳	行司加藤專之助・佐藤与左衛門	文化一〇年二月	横長美	一冊	三四七
戌御年貢米并小役代米老人取立帳	本町組	文	横長美大	一冊	一七一	本町組小役金錢請拂帳	田中新五郎・石井久三郎	文化一一年二月	横長美	一冊	三四八
亥御年貢米并小役代米老人取立帳	本町組	文	横長美大	一冊	一七三	本町組小役金錢請拂帳	田中太郎左衛門・佐藤与左衛門	文化一二年二月	横長美	一冊	三四九
久三年正月	本町組	元	横長美大	一冊	一七五	本町組小役金錢請拂帳	渡会格弥・佐藤德兵衛	文化一三年二月	横長美	一冊	三五〇
子御年貢米并小役代米老人取立帳	本町組	元	横長美大	一冊	一七五	本町組小役金并請拂帳	行司大滝藤左衛門・石井久三郎	文化一四年二月	横長美	一冊	三五二
治元年一月	本町組	元	横長美大	一冊	一七五	本町組小役金錢請拂帳	田中俊太郎・百姓代德兵衛	文政元年二月	横長美	一冊	三五三
○小役金錢請拂帳	本町組	元	横長美大	一冊	一七五	本町組小役金錢請拂帳	渡会格弥・百姓代与左衛門	文政二年二月	横長美	一冊	三五三
本町組小役并請拂帳	年内金遣口・金錢請拂方	横長美	一冊	三七	本町組小役金錢請拂帳	田中安兵衛・百姓代久三郎	文政三年二月	横長美	一冊	三五四	
田中八郎兵衛・石井久三郎	享和元年一月	横長美	一冊	三八	本町組小役金錢請拂帳	行司田中太郎左衛門・德兵衛	文政四年二月	横長美	一冊	三五五	
本町組小役并請拂帳	大滝藤左衛門・佐藤与左衛門	享和二年一月	横長美	一冊	三三九	本町組小役金錢請拂帳	渡会格弥・百姓代与左衛門	文政二年二月	横長美	一冊	三五三
本町組小役并請拂帳	中里四郎右衛門・佐藤長作	享和三年一月	横長美	一冊	三三九	本町組小役金錢請拂帳	田中安兵衛・百姓代久三郎	文政三年二月	横長美	一冊	三五四
本町組小役金并請拂帳	田中新五郎・佐藤与左衛門	文化二年一月	横長美	一冊	三四〇	本町組小役金錢請拂帳	行司田中太郎左衛門・德兵衛	文政四年二月	横長美	一冊	三五五
本町組小役金并請拂帳	大滝藤左衛門・石井久三郎	文化三年一月	横長美	一冊	三四一	本町組小役金錢請拂帳	渡会格弥・百姓代与左衛門	文政五年二月	横長美	一冊	三五六
本町組小役請拂帳	行司加藤專之助・同今藤兵四郎	文化五年二月	横長美	一冊	三四二	本町組小役金錢請拂帳	行司大滝藤左衛門・百姓代石井久三郎	文政六年二月	横長美	一冊	三五七
本町組已小役金請拂帳	行司田中太郎左衛門・同石井久三郎	文化六年一月	横長美	一冊	三四三						

本町組小役金錢請拂帳 衛 文政七年十二月	行司田中八郎治・徳兵衛	横長美	一冊	三五八				
本町組小役金錢請拂帳扣 藤徳兵衛 文政七年十二月	行司田中八郎治・佐藤	横長半	一冊	三五九				
本町組小役金錢請拂帳 三五郎 文政八年十二月	行司田中太郎左衛門・	横長美	一冊	三六〇				
本町組小役金錢請拂帳 三郎 文政九年十二月	渡会藤四郎・百姓代久	横長美	一冊	三六一				
本町組小役金錢請拂帳 兵衛 文政一〇年十二月	行司大滝藤左衛門・徳	横長美	一冊	三六二				
本町組小役金錢請拂帳 三五郎 文政一〇年十二月	行司田中八郎治・齊藤	横長半	一冊	三六三				
本町組小役金錢請拂帳 三五郎 文政一一年十二月	行司田中八郎治・齊藤	横長美	一冊	三六四				
本町組小役金錢請拂帳扣 藤三五郎 文政一一年十二月	行司田中八郎治・齊藤	横長半	一冊	三六五				
本町組小役金錢請拂帳 三郎 文政一二年十二月	渡会藤四郎・百姓代久	横長美	一冊	三六六				
本町組小役金錢請拂帳 郎 天保二年十二月	田中八郎治・齊藤三五	横長美	一冊	三六七				
本町組小役金錢請拂 月	行司八郎治 天保三年一二	横長美	一冊	三六八				
戊寅米両組割合并浮役小役取立割法帳		横長半	一冊	六六				
取立								
金納直段付								
去丑御年貢諸金納皆濟直段附仕訳帳 文化三年九月	本町組	横長美	一冊	三六九				
去寅御年貢諸金納皆濟直段附仕訳帳 文化四年九月	本町組	横長美	一冊	三七〇				
去辰御年貢諸金納皆濟直段附仕訳帳 行司田中太郎左衛門 文化六年十一月	本町組	横長美	一冊	三七一				
去巳御年貢諸金納皆濟直段附仕訳帳 佐藤善右衛門 文化七年八月	本町組	横長美	一冊	三七二				
去午御年貢諸金納皆濟直段附仕訳帳 文化八年八月	本町組	横長美	一冊	三七三				
○								
当亥御年貢石代金納直段 亥十一月			一通	三六五				
亥五ヶ所平均直段書上 兼子寿吉 鈴木庄兵衛			一通	三六六				
覚(地主米直段并御請取遣方ニ付) 湯野浜村 宗左衛門 大山本町名主庄兵衛宛 卯五月			一通	三六七				
村々立入帳								
御年貢米村々立入帳 本町組 文政一〇年		横長半	一冊	一五一				
亥御年貢米村々立入帳 本町組 天保一一年二月		横長半	一冊	一四四				
去寅御年貢米村々立入帳 本町組 天保一四年三月		横長半	一冊	一四六				

去卯御年貢米村々立入改帳	本町組	天保一五年三月	横長半	一冊	二四七	取立帳							
辰御年貢米村々立入改帳	本町組	弘化二年三月	横長半	一冊	二四六	本町分卯高人新田御年貢取立帳	米出村肝煎与惣兵衛	天保一三年一二月	横長半	一冊	三七		
去巳御年貢米村々立入改帳	本町組	弘化三年三月	横長半	一冊	二四九	表田御年貢取立帳	(作徳米預帳共)	鷺田村支配人作右衛門	芳賀七右衛門宛	天保一三年一二月	横長半	一冊	三三六
未御年貢金銭立入帳	本町組	組頭徳兵衛宛	弘化五年一月	横長半	一冊	三三〇	去寅御年貢米取立并差引余米しらべ帳	過米覚共	本町組	天保一四年三月	横長半	一冊	三三一
御年貢米書上							大山本町分古畑屋敷御年貢取立帳	古畑市与惣兵衛	天保一五年一二月	横長半	一冊	四三	
大山村両組去寅御年貢米仕訳帳	本町組扣	天保一四年六月	横長半	一冊	三三三	大山本町分古畑御年貢取立覚帳	肝煎与惣兵衛	弘化二年五月	横長半	一冊	四〇二		
覚(大山古畑分・本町分納米書上)	野興屋名主弥治兵衛	大山名主鈴木庄兵衛宛	子四月	一通	八八九	皆濟目錄							
辰出方・納方・入方米書上	久三郎	辰二二月		一通	八八六	○本町組							
本町組方入方并本町組江立方・入方米書上				一通	八四九	去酉御年貢米永皆濟目錄	本町組	佐藤善衛門	文化一二年八月	横長美	一冊	三七四	
大山本町分納米渡り口書上	小京田村	卯九月		一通	二〇二	去戌御年貢米永皆濟目錄	本町組	佐藤善右衛門	文化一二年六月	横長美	一冊	三七五	
御蔵詰本町組持分書上				一通	八五〇	去丑御年貢米永皆濟目錄仕訳帳	本町組	水口紋兵衛・佐藤善右衛門・田中徳右衛門・田中八郎兵衛	本町組長百姓中宛	文政元年六月	横長美	一冊	三七六
庭場入帳													
亥年御年貢米取立庭場入帳	本町組	天保一〇年一月	横長美	一冊	四〇七								
寅御年貢米庭場入帳	本町組	天保一三年一月	横長美	一冊	四〇八								
辰年御年貢米取立庭場入帳	本町組	天保一五年一月	横長美	一冊	四〇九								
巳御年貢米取立庭場入帳	本町組	弘化二年一月	横長美	一冊	四一〇								

去寅御年貢米永皆済目録仕訳帳 本町組 水口  
紋兵衛・田中徳右衛門・田中八郎兵衛 本町組長百  
姓中宛 文政二年六月 横長美 一冊 三七七

去卯御年貢米永皆済目録仕訳帳 本町組 文政  
三年六月 横長美 一冊 三七六

大山本町分古畑当亥御年貢米皆済一紙 論田村  
古畑支配善次郎 大山本町名主庄兵衛宛 子(天保  
一一)正月 一通 一四一

大山本町分古畑寅御年貢米皆済一紙 論田村支  
配善治郎 大山本町名主庄兵衛宛 寅一二月 一通 一四一

○大山村

卯御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 大(貫  
次右衛門 天保一五年六月 一通 一四七

辰御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 小川權  
之助・古川与三兵衛・長坂文次郎・山岸嘉右衛門  
弘化二年一月 一通 一四三

巳御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 小川權  
之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門  
弘化三年六月 一通 一四四

午御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 小川權  
之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門  
弘化四年六月 一通 一四五

未御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 小川權  
之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門  
相良文右衛門 嘉永元年六月 一通 一四六

申御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 小川權  
之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門  
嘉永二年六月 一通 一四七

酉御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 小川權  
之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・  
黒谷新兵衛 嘉永三年六月 一通 一四七

亥御年貢皆済目録(嘉永四年分) 出羽国田川郡  
大山村 中村右門・小川權之助・山内善右衛門・黒  
谷新兵衛 嘉永五年六月 一通 一四九

子御年貢皆済目録(嘉永五年分) 出羽国田川郡  
大山村 中村貫藏・小川權之助・服部伊兵衛・白井  
久兵衛 嘉永六年六月 一通 一四〇

丑御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 加藤金  
右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永  
七年六月 一通 一四一

寅御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲  
衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛 安  
政二年六月 一通 一四二

卯御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲  
右衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛  
安政三年六月 一通 一四三

辰御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲  
右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安  
政四年六月 一通 一四四

巳御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲  
右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安  
政五年六月 一通 一四五

午御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲  
右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助・高  
橋省助 安政六年六月 一通 一四六

未御年貢皆済目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲  
右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助・高  
橋省助 万延元年六月 一通 一四七

申御年貢皆濟目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 文久元年六月	西御年貢皆濟目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏 高橋省助 文久二年六月	戌御年貢皆濟目録 出羽国田川郡大山村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏 文久三年六月	天保四己六月去辰御年貢米永皆濟目録仕訳帳 本町組 天保四年六月	卯御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 大(貫) 次右衛門 天保一五年六月	辰御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化二年一月	巳御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化三年六月	午御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化四年六月	未御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・相良文右衛門 嘉永元年六月	申御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門 嘉永二年六月
一通	一通	一通	横長美 仮一冊	一通	一通	一通	一通	一通	一通
四八六	四八九	四九〇	四五五	五〇九	五二〇	五二一	五三三	五三三	五四四
西御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門・黒谷新兵衛 嘉永三年六月	戌御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 中村右衛門・小川權之助・山内喜右衛門・黒谷新兵衛 嘉永四年六月	亥御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 中村右衛門・小川權之助・山内喜右衛門・黒谷新兵衛 嘉永五年六月	子御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 中村貫藏・小川權之助・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永六年六月	丑御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 加藤今右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永七年六月	寅御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・金井国之助 安政二年六月	卯御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛 安政三年六月	辰御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政四年六月	巳御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政五年六月	午御年貢皆濟目録 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・高橋省助 安政六年六月
一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通
五五五	五五六	五五七	五五八	五五九	五二〇	五二二	五三三	五三三	五四四

申御年貢皆済目録 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 文久元年六月 一通 五三六

子御年貢皆済目録 出羽国田川郡砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・高橋省助 文久二年六月 一通 五三七

戊御年貢皆済目録 砂押村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏 文久三年六月 一通 五三八

○丹波興屋村

卯御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 大(貫)次右衛門 天保一五年上六月 一通 五三九

辰御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化二年十一月 一通 五四〇

巳御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化三年六月 一通 五四一

午御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂又次郎・山岸嘉右衛門 弘化四年六月 一通 五四二

未御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門 嘉永元年六月 一通 五四三

申御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門 嘉永二年六月 一通 五四四

西御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門 嘉永三年六月 一通 五四五

戊御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 中村右門・小川權之助・古川与三兵衛・山内喜右衛門・黒谷新兵衛 嘉永四年六月 一通 五五六

亥御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 中村右門・小川權之助・山内喜右衛門・黒谷新兵衛 嘉永五年六月 一通 五五七

子御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 中村貫藏・小川權之助・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永六年六月 一通 五五八

丑御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 加藤今右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永七年六月 一通 五五九

寅御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛 安政二年六月 一通 五六〇

卯御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・金井国之助・服部伊兵衛 安政三年六月 一通 五六一

辰御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政四年六月 一通 五六二

巳御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助 安政五年六月 一通 五六三

午御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・今井国之助 安政六年六月 一通 五六四

未御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助・高橋省助 万延元年六月 一通 五六五

申御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・山岸嘉右衛門 文久元年六月 一通 五五

西御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏・高橋省助 文久二年六月 一通 五六

戊御年貢皆済目録 出羽国田川郡丹波興屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・中村貫藏・宮坂敬藏宛 文久三年六月 一通 五七

○栃屋村

申御年貢皆済目録 出羽国田川郡栃屋村 小川權之助・古川与三兵衛・長坂市右衛門・山岸嘉右衛門 嘉永二年六月 一通 五六

戊御年貢皆済目録 出羽国田川郡栃屋村 中村右門・小川權之助・古川与三兵衛・山内喜右衛門・黒谷新兵衛 嘉永四年六月 一通 五七

丑御年貢皆済目録 出羽国田川郡栃屋村 加藤伊右衛門・中村貫藏・服部伊兵衛・白井久兵衛 嘉永七年六月 一通 五七

午御年貢皆済目録 出羽国田川郡栃屋村 氏家仲右衛門・加藤今右衛門・宮坂敬藏・金井国之助・高橋省助 安政六年六月 一通 五七

年貢納拂

請取

亥年御年貢米代納金銭請取控帳 本町組 天保一〇年二月 横長半 一冊 四八

寅御年貢米代納受取控 本町組 天保一三年一二月 横長美 一冊 四九

○請取通

大山村丑御年貢金納請取通 金井国之助分 丑 一月(天保一二年九) 一通 四三

丹波興屋村丑御年貢金納請取通 金井国之助分 丑 一月(天保一二年九) 一通 四三

砂押村丑御年貢金納請取通 金井国之助分 丑 一月(天保一二年九) 一通 四四

○請取手形

覚(御給米請取手形) 直次 組方御役人中宛 丑七月二日 一通 六七

覚(御年貢米之内代納受取手形) 本町組 湯野濱名主宗左衛門宛 卯五月三日 一通 六四

覚(納米受取手形) 大豆屋源吉 中山仁吉宛 辰一月二七日 一通 六四

覚(白米受取手形) 市次郎 彦五郎宛 辰(弘化元年) 二月三日 一通 八五

覚(安良町藏廻し分他年貢米請取手形) 佐竹 本町御役人衆中宛 辰二月二九日 一通 八三

覚(古畑年貢受取手形) 与惣右衛門 本町組御役人衆中宛 巳二月 一通 八四

覚(御年貢米受取手形) 友江村組頭八右衛門 本町組御役人中宛 午正月二三日 一通 六五

覚(納米受取手形) 大豆屋源吉 八太郎宛 一月二四日 一通 八五

覚(与兵衛納米分他受取手形) 柳原与兵衛 一通 八七

覚(長左衛門納米他受取手形) 一通 八六

記(納米請取手形) 米屋甚内 大滝直伎宛	一通	一〇四	覚(楮山札米・馬町長次郎納米預り手形) 安良組 本町組宛 巳正月	一通	八六
○預り手形			覚(納米預り手形) 友江村組頭八右衛門 馬町 組御役人中宛 巳正月	一通	八三〇
覚(御年貢米邑々納預証文) 友江村他 組頭 三五郎 佐藤善右衛門宛 文政二年二月	一通	一〇五	覚(馬町清兵衛納米預り手形) 安良町組 本 町組宛 巳正月五日	一通	八六
(馬町孫八納米預り手形) 安良町組 本町組宛 子正月	一通	八七	覚(矢野九兵衛分太次兵衛納米預り手形) 下川村役人代七右衛門 大山役人田中安兵衛宛 巳 四月一五日	一通	八七一
覚(宗右衛門納米預り手形) 名主与次兵衛 鈴木庄兵衛宛 三月九日	一通	八九	覚(馬町清兵衛納米預り手形) 安良町組 田 中安兵衛宛 巳一月	一通	八五五
覚(御年貢米預り手形) 湯野浜名主与次兵衛 鈴木庄兵衛宛 四月一三日	一通	八六	覚(納米預り手形) 安良町組行司長三郎 本町 組御役人中宛 巳二月六日	一通	八三三
覚(かも八郎左衛門納米預り手形) 安良町組 本町組宛 卯三月二日	一通	八五	覚(御年貢米預り手形) 安良町組行司長三郎 田中安兵衛宛 巳二月六日	一通	八六六
覚(納米預り手形) 大豆屋源吉 下ノ八太郎宛 辰二月三日	一通	八三	覚(西町久治納米預り手形) 安良町組 田中 安兵衛宛 巳二月	一通	八五八
覚(勘三郎納米預り手形) 安良町組 本町組 宛 辰二月	一通	八三	覚(馬町村長右衛門納米預り手形) 安良町組 田中安兵衛宛 巳二月	一通	八四四
覚(轉木三四郎納米預り手形) 安良町組 本 町組宛 辰二月	一通	八三	覚(与惣右衛門納米預り手形) 友江村組頭八 右衛門宛 巳二月	一通	八六九
覚(本町徳兵衛納米預り手形) 安良町組 本 町組宛 辰二月	一通	八四	覚(去巳御年貢米預り手形) 柳原新田名主茂 兵衛 本町組御役人中宛 午四月	一通	八五
覚(粕塚治兵衛納米預り手形) 安良町組 本 町組宛 辰二月	一通	八五	覚(馬町孫八納米預り手形) 安良町組 田中 安兵衛宛 午二月一七日	一通	八六八
覚(西町八兵衛納米預り手形) 安良町組 本 町組宛 辰二月	一通	八六	覚(加茂八郎左衛門納米預り手形) 安良町組 田中安兵衛宛 午二月三日	一通	八五一
覚(玄米本町分粕塚権九郎方預り手形) 佐 竹市次郎 本町御役人衆中宛	一通	八六			

御年貢代納金手形 德兵衛 大滝直伎宛 未二二月三〇日	御蔵詰米配方・渡し方書上 本町組・柳原村・栃尾村・あら町組・友江村分 作兵衛 鈴木庄兵衛 子三月一〇日	覚(御蔵納米廻し方二付) 下川齊藤庄兵衛 鈴木庄兵衛宛 亥二月	覚(忠七納米預り手形) 名主与次兵衛 鈴木庄兵衛宛 亥二月二〇日	覚(德兵衛納米請取手形) 名主与次兵衛 宮野下村伊兵衛宛 亥二月一三日	御年貢馬町長右衛門納米預り手形 友江村名主三右衛門 本町鈴木庄兵衛宛 亥二月二八日	浦町丑次郎納米預り手形 あら町組 本町組宛 亥二月	御年貢納米預り手形 西野山村名主浅右衛門 弥右衛門宛 亥二月	覚(多七納米預り手形) 名主俊次 本町組宛 亥二月	覚(治兵衛納米預り手形) 名主俊次 本町組宛 亥二月	覚(勘三郎分治兵衛納米預り手形) 名主俊次 本町組宛 亥二月	御年貢納米預り手形 西野山村名主浅右衛門 弥右衛門宛 亥二月	覚(地主納米御蔵納手形) 下川名主庄右衛門 鈴木庄兵衛宛 子二月	小八郎納大和分御蔵納預り手形 齊藤庄右衛門 鈴木庄兵衛宛 子二月	預り手形之事 (湯之浜村宗左衛門分御蔵納二付) 西野山村名主浅右衛門 大山本町鈴木庄兵衛宛 子三月	覚(御蔵米預り手形) 柳原新田名主茂兵衛 本町鈴木庄兵衛宛 寅二月	覚(寅御年貢米御蔵納分書上) 下川村名主重内 大山本町名主庄兵衛宛 卯二月	覚(御年貢米御蔵預手形) 下川村名主重内 名主庄兵衛宛 卯五月	覚(御年貢米御蔵預手形) 役人七右衛門 大山御役人田中安兵衛宛 弘化二年巳四月六日
一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通
八七	八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七七	七六	七五	七四	七三	七二	七一	七〇	六九

御預所午御物成米春大坂御詰米蔵ノ請証文 田川郡大山三ヶ村 御預所御出役石塚要蔵宛 弘化三年一二月	本田渡口米	本田残米	屋敷分米書上 西側分	本田苧稻 生米共 畑田成	蔵納	蔵納手形	覚(地主納米御蔵納手形) 下川名主庄右衛門 鈴木庄兵衛宛 子二月	小八郎納大和分御蔵納預り手形 齊藤庄右衛門 鈴木庄兵衛宛 子二月	預り手形之事 (湯之浜村宗左衛門分御蔵納二付) 西野山村名主浅右衛門 大山本町鈴木庄兵衛宛 子三月	覚(御蔵米預り手形) 柳原新田名主茂兵衛 本町鈴木庄兵衛宛 寅二月	覚(寅御年貢米御蔵納分書上) 下川村名主重内 大山本町名主庄兵衛宛 卯二月	覚(御年貢米御蔵預手形) 下川村名主重内 名主庄兵衛宛 卯五月	覚(御年貢米御蔵預手形) 役人七右衛門 大山御役人田中安兵衛宛 弘化二年巳四月六日
一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通	一通
八六	八五	八四	八三	八二	八一	八〇	七九	七八	七六	七五	七四	七三	七二

覚(宮下大和守御藏納米預り手形) 下川役人 七右衛門 大山役人安兵衛宛 巳二月一九日	一通	八三	覚(去寅御年貢米差引書) 大山本町立方并入 方 漆嶋村五郎右衛門 大山本町名主庄兵衛宛 卯 五月一七日	一通	八五五
覚(御藏納米預り手形) 安良町組行司長二郎 田中安兵衛宛 巳一月二一日	一通	六五四	覚(去巳御年貢米差引) 漆嶋村五郎右衛門 大山本町名主安之丞宛 午五月	一通	八六四
御年貢米差引			大山本町分御年貢差引	一通	八四〇
覚(御年貢米差引書上) 安良町組 本町組宛 酉閏四月五日(天保九年九)	一通	八七四	記(兵三郎他納米改差引書上) 大滝直伎 五 十嵐名兵衛宛 亥三月三〇日	一通	二〇七
大山三ヶ村丑御年貢金納差引帳 天保一三年六 月	一冊	四二	記(納米差引ニ付) 丹波興屋村 肝煎徳兵衛宛 西二二月	一通	二二九
覚(御年貢米差引書) 大山本町古畑分・大山 本町方分 野興屋村組頭貞吉・名主名兵衛 大山本 町名主彦兵衛宛 天保一四年五月一九日	一通	八五三	記(納米諸掛り差引書出) 大山・柳原・千安 村	一通	二四八
覚(去辰年御年貢米差引書) 古畑分・本町分 野興屋村名主名兵衛 大山御役人衆中宛 弘化二 年六月三日	一通	八五三	大山村初勘定帳追出并初口訳之調 天保八年三 月	一冊	二四五
覚(去辰御年貢米差引書) 漆嶋村長百姓与次 兵衛 大山御役人衆中宛 巳六月三日	一通	八五四	拂積俵拂代取立		
覚(大山本町組分御年貢差引) 作兵衛 大山 組御役人衆中宛 巳二二月	一通	八四三	巳納午拂積依拂出大代納小代納請取立方附米 拂出帳 組頭三五郎・行司新五郎 文化七年一二 月	一冊	三八三
覚(御年貢米差引) 柳原新田名主長左衛門 本 町鈴木庄兵衛宛 子三月	一通	八七〇	御年貢米午納未拂積表拂代納取立帳 行司藤左 衛門 文化八年	一冊	三八四
御年貢納預り差引御勘定書 下川齊藤八右衛門 鈴木庄兵衛宛 子三月	一通	八六八	去西御年貢戌拂積俵拂代納取立帳 組頭三五郎 文化二一年一二月	一冊	三八五
覚(御年貢差引勘定書) 名主茂兵衛 鈴木庄 兵衛宛 五月二〇日	一通	八六三	戌御年貢米亥拂代納積俵目録 行司田中太郎 左衛門・組頭三五郎 文化二二年一月	一冊	三八六
覚(去寅御年貢米差引書) 漆嶋村五郎右衛門 大山本町名主庄兵衛宛 卯正月	一通	八五八	丑御年貢積俵拂代納取立帳 組頭三五郎 文化 一四年二月	一冊	三七九

寅御年貢米積俵代納取立行司元江渡方帳 本町組 文政元年二月	横長美	一冊	三六〇	覚(本町立札米受取手形) 佐竹や市次郎 門前傳十郎宛 巳二月二一日	一冊	六六一
去丑御年貢御藏積表并代納取立金銭諸指引覚 組頭三五郎 文政元年二月	横長美	一冊	三六一	立札代金受取証文 田中安兵衛・田中太郎左衛門 鈴木庄兵衛宛 戌十一月二日	一通	三三九
卯御年貢米代納取立積俵請拂帳 本町組 文政二年一〇月	横長美	一冊	三三二	○		
立札米				覚(打米受取手形) 佐竹市次郎 八十郎宛 辰二月三日	一通	八二七
本町組立札売方扣帳 文政二年一〇月	横長美大	一冊	一八三七	覚(玄米・打米受取手形) 佐竹屋 嘉助宛 二月四日	一通	八二九
立札米代取立覚 亥一〇月晦日		一通	八六五	覚(玄米受取手形) 佐竹屋 藤右衛門宛 辰二月四日	一通	八三〇
○受取				覚(打米受取手形) 佐竹屋 馬町彦五郎宛 辰二月五日	一通	八三八
覚(本町立札御米代金請取) 佐竹市次郎 田中安兵衛宛 三二月九日		一通	六五二	不納米		
覚(本町立札米受取手形) 市次郎 清九郎屋敷四郎右衛門・源兵衛宛 巳二月一〇日		一通	六五九	御年貢不納米取立帳 (文化三年―文政四年分) 本町組 文化七・八年	横長美大 二冊	一七五五
覚(本町立札米受取手形) 市次郎 米出久三郎宛 巳二月二日		一通	六六〇	(御年貢古不納請取調帳) 天保一二年四月三日町平田太郎右衛門分不納改覚 天保一二年五月	横長半 一冊	三〇八
覚(本町立札米受取手形) 市次郎 中野治郎右門宛 巳二月一六日		一通	六五六	去卯年御年貢米不納取調帳 本町組 天保一五年三月	横長半 一冊	一〇一八
覚(本町立札米受取手形) 市次郎 うら町辰之助宛 巳二月一七日		一通	六六三	去卯年御年貢米不納取立手控 本町組 天保一五年三月	横長半 一冊	三〇九
おほえ(本町蔵立札米受取手形) (佐竹) 安次郎 (うら町) 辰之助宛 一二月一八日		一通	六七〇	去辰年御年貢不納取調帳 本町組 弘化二年三月	横長半 一冊	三二三
覚(本町立札米受取手形) 市次郎 うら町辰之助宛 巳二月二一日		一通	六七七			
覚(本町立札打米受取手形) 市次郎 本町与助宛 巳二月二二日		一通	六七七			

去辰年御年貢米不納取立帳	本町組	弘化二年三月	横長半	一冊	四二	御廻米雜用見込割覚	本町組・あら町組	砂押・丹波分	三通	二九五		
去巳御年貢不納取調帳	本町組	弘化三年三月	横長半	一冊	三四	覚(本町専之助分さし引廻米預り手形)	名主俊作	鈴木庄兵衛宛	一通	八七一		
去巳御年貢不納取調帳	本町組	手扣	弘化三年三月	横長半	一冊	三五	与内米					
鈴木謙太郎不納調	文久三年			一通	一〇九	与内米調	入作方作徳米明細調	本町組	添役權	半帳		
彦助不納金取立ニ付受取方依頼書状	鈴木庄兵衛	田中八郎治宛	一二月二九日	一通	三三三	次郎・肝煎徳兵衛・大滝直之助	慶応三年四月		半帳	一〇六		
御年貢不納年賦証文之事	弥三郎畑地	納主市兵衛	本町組御役人衆中宛	安政二年二月	一通	一〇四	明治五年申与内米書上扣	大山村本町分肝煎佐藤徳兵衛	明治五年八月	半帳		
御年貢米取立違不足一件ニ付差出証文	(菖蒲沼村庄右衛門所持分)	野興屋村三役人	大滝三郎・名主安左衛門宛	安政五年二月	一通	一〇六	明治七年与内米書上扣	大山村之内本町組分	第一二区大山村肝煎佐藤徳之助	年寄大滝直伎	明治七年一〇月二二日	半帳
(米札預り金正貨方差引覚)	大滝直之助	喜四郎宛	已正月	一通	六五	明治六年西与内米書上扣	大山村本町分	大山村本町組肝煎佐藤徳兵衛	癸酉(明治六年)	一月	半帳	
廻 米						明治七年大山村両組合与内米書上	明治七年一〇月二二日		半帳	一冊	一五五	
覚(御年貢米之内御廻米高書上)	天保一〇年			一通	三〇一	与内米	明治九年二月十六日調	明治九年二月	半帳	一冊	一五五	
天保十年亥十一月改勘定(御擬米・御廻米之内可引分書上)	天保一〇年十一月			一通	三〇二	○						
亥御廻米村々石数控	年寄三郎	嘉永五年三月	半帳	一冊	一〇五	覚(本町徳兵衛分他札替手形)	鈴木源吉	田中安兵衛宛	四月晦日	一通	八三三	
御廻米御請取手形(包紙共)	大山村分	大貫次右衛門手代小林宇兵衛	卯四月一日	一通	七九	石方拂渡方扣	安兵衛扣	天保八年一二月	横長半	飯一冊	二七五	
江戸御廻米受取手形	丹波興屋村分	大貫次右衛門手代小林宇兵衛	卯四月一日	一通	七〇	覚(専助他方納米柳原へ御立願)	柳原新田名主茂兵衛	名主大山本町庄兵衛宛	寅一二月二八日	一通	八五七	
江戸御廻米請取手形	砂押村分	大貫次右衛門手代小林宇兵衛	卯四月一日	一通	七三	覚(庄兵衛立替分書上)				一通	八三九	

上納金

上納金

大山安良町組上納金 天保一三年二月一弘化三年一月

(卯六月十七日上納分書上) 大山村分

六月上納分書上 大山・砂押・丹波分

覚(石代金四月上納分持参方) 枋屋村肝煎六兵衛 大山本町大滝直之助宛 西三月二日

記(年賦上納金壬申年分請取手形) 直次郎大滝直伎宛 西一月

用立金

金井国之助様江御用立金連名帳 六ヶ組年番増川七ヶ村年寄名主文六他連印 安政六年二月

金国(金井国之助) 年々利足勘定扣帳 年番文久二年二月

本町石方用金預り覚案 年寄 文政一二年

覚(紋兵衛渡先納金他諸入用さし引入込改) 名主与次兵衛 大滝三郎宛 卯一二月

石方代金請取手形 八郎兵衛代安兵衛 本町組行司衆中宛

無尽金

駒七無尽二番会

無尽賄入目書出 上田屋作兵衛 大滝直伎宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四三

覚(五月晦日無尽賄入目) 作兵衛 大滝直伎宛 西一月 一通 一四一

記(無尽賄入目) 作兵衛 上宛 六月二五日 一通 一三七

記(繁栄講賄入目請取) 作兵衛 大滝直之助宛 戌一月 一通 一四五

記(無尽賄入目請取) 作兵衛 大滝直之助宛 戌二月 一通 一二三

無尽金貸方断り願書状 泉屋半兵衛 大山大滝杉太郎宛 二月一日(明治) 一通 一四八

潤栄会 明治一六年四月發起 田中太郎左衛門 明治一九年一月三〇日 半帳 一四四

村

村政

御用留

御用留 老 大山村 天保一五年八月 半帳 一冊 五

御用留 第三 大山村 弘化二年四月 半帳 一冊 五七

御用留 第四 弘化三年二月 半帳 一冊 五八

\*尾花沢行鶴岡出立諸雜用日記 大滝若五郎 弘化三年閏五月

横半半 一冊 二七九

\*尾花沢出立雜用控 羽田六兵衛 弘化三年閏五月

横半半 一冊 二七六

草案 安政二年五月

半帳 一冊 二二三

村定

演説(家内・親類和睦等村定) 扣 大山会所 丙午(弘化三年九)

一冊 二〇五

村役人

御預所村々御扶持方御渡方ニ付取調書 午閏五月(弘化三年九)

半帳 一冊 二三四

〇称譽状

大山村本町組百姓代三五郎村入用減方精勤ニ付称譽銀申渡 申二月

一通 二六一

村入用減方精勤ニ付称譽銀申渡 大山村本町組・荒町組六名 申二月

一通 二六六

施米割賦其外取調万端骨折候ニ付称譽金被下状 大山村安良町肝煎重兵衛・銅屋町肝煎善左衛門・本町肝煎傳左衛門 申二月

一通 二八九

村方江救方差出厚意ニ付御称譽品被下状 大山村八郎兵衛 申二月

一通 二九〇

肝煎共江引統施米取扱方諸事骨折候付御称譽金被下状 大山村百姓代吉治郎・外取・小走四人 申二月

一通 二九一

村方江施米金差出厚志ニ付御称譽被下状 大山村本町百姓八郎兵衛他 酉一二月

一通 二九二

施米取扱方并割賦其外取調万端骨折候付御称譽被下状 大山村年寄大滝三郎・同大滝直之助他 酉二月

一通 二九三

承諾書(総代事務退任ニ付) 明治一〇年九月

一通 二〇九

明治廿一年度西田川郡大山村老村共有物処分方法臨時會議案決議録 大滝直之助 明治廿一年

一通 二一〇

補欠選挙会当選者票数書上 北部・南部 御藤与次郎・南部阿部太郎左衛門死亡之為 明治二九年七月

半帳 一冊 二一八

引継目録

御用書物引渡目録 元年寄清三郎弟富之助 年寄三郎宛 弘化三年九月

横長半 一冊 三六七

御用書物引渡目録 元役人安兵衛 年寄三郎宛 弘化三年九月

横長美 一冊 三六八

覚(御用書物引渡目録) (弘化三年九)

横長半 一冊 三六九

簞笥入村文書引継ニ付目録并受取方依頼状 善六 年寄三郎宛 午九月(弘化三年九)

一通 二四五

御用たんす入村方引継文書目録 (弘化三年九)

一通 二四八

覚(村引継文書目録受取方) 役人代惣治郎・幸五郎・長三郎 年寄三郎宛 弘化三年九月

一通 二四七

覚(村引継帳面受取手形) 名主長三郎 年寄三郎宛 弘化三年九月

一通 二六三

覚(村引継帳面受取手形) 組頭惣治郎 年寄三郎宛 弘化三年九月

一通 二六四

覚(村引継帳面受取手形) 長百姓弥三郎 年  
寄三郎宛 弘化三年九月

治 安

博奕一件(取計方伺書并申渡書) 天明八年  
弘化四年 半帳 一冊 二六〇

覚(隠鉄炮預り切手) 大山村本町与平治倅元  
三郎所持分 川端御役所 大山村名主宛 巳一〇月  
一〇日(弘化三年) 一通 七五

羽州大山村百姓与平次倅元三郎隠鉄炮所持居  
候三付吟味御仕置伺書 坂井左衛門尉御預所役人  
大山庄大夫 弘化三年一月 半帳 一冊 三三

御注進書并御受証文都而願書江加印扣 第三  
名主長三郎 嘉永五年 半帳 一冊 二二

自 害

自害人荒町繁蔵諸書付入 御出役 高橋利右衛門  
文久元年一月 佐藤順太 一通 七九

覚(自害人あら町繁蔵療治届) 大山村医師  
道善 西(文久元年)一月 一通 七〇

大山村繁蔵自害届書 扣 新興屋村普門院・  
名主 川端御役所宛 西(文久元年)一月 一通 七〇

繁蔵自害始末御吟味二付返答口上書 名主・  
年寄奥印 新興屋村普門院 御出役高橋利右衛門・  
佐藤順太宛 文久元年一月 一通 七二

繁蔵自害始末御吟味二付返答口上書 名主・  
年寄奥書 繁蔵兄荒町象太郎・五人組合・肝煎  
御出役高橋利右衛門・佐藤順太宛 文久元年一月  
一通 七三

御見分書 大山村荒町兄象太郎・五人組・肝煎・  
普門院・名主・年寄 御出役高橋利右衛門・佐藤  
順太宛 文久元年一月 一通 七四

(総穩寺旦那繁蔵埋葬届書)扣 大山村祐性院  
総穩寺御役寮宛 西(文久元年)十一月 一通 七二

大 山 騷 擾

○ 御 仕 置

(御預地一件留書) 大山騷立二件共 明和六年  
天保一五年 半帳 一冊 二七〇

村方御預ヶ人書上(大山騷立二件) 大森善治郎・  
木村敬蔵宛 天保一五年一月 一通 二八五

逼塞并押込申渡之節尾花沢手代方村役人心得  
方申来状 閏五月(弘化三年) 一通 二九三

出羽田川郡大山村騷立一件御仕置御受書 牧  
野大和守様御役所ニ於テ被仰渡 弘化三年五月 美帳 一通 二五八

出羽国田川郡大山騷立一件御仕置扣 弘化三年  
閏五月 横長美大 一冊 二八三

閏五月六日立人書上 (寺僧・二番組・三番組)  
閏五月(弘化三年) 三通 二九五

覚(荷物預り状) 高橋利右衛門 大山村役人宛  
閏五月三日(弘化三年) 一通 二九三

壬五月十三日御呼出し人書上 長三郎 安之丞・  
惣治郎・幸五郎宛 壬月一四日(弘化三年) 一通 二九四

大山騷立三付所拂被仰付候本町元取締役徳右  
衛門親類并組合連印御請一札 親類安兵衛他町  
長人・町肝煎 年寄三郎他名主・組頭・長百姓宛  
弘化三年一〇月 一通 二六六

大山村騷立一件ニ付中追放被仰付候曲物町百姓履取清吉組合・肝煎御請一札 組合・肝煎年寄三郎他名主・組頭・長百姓宛 弘化三年一〇月	欠所金受取扣 欠所人庄兵衛他 (弘化三年)	大山村安良町弥左衛門外七人欠所田畑家屋敷・家財共御拂代金請取証文 川端役所 大山村名主宛 申一〇月(嘉永元年)	庄兵衛以下五人之者騷立一件ニ付御仕置被仰付酒造方御赦免口上書 源左・直之助 酒方定年番衆中宛 申一〇月(嘉永元年)	大山騷擾後始末一件書状 光憲 信君宛 正月	大山一件ニ係ル内密書状 阪幾 井白身宛 正月一三日	大山騷擾一件後始末内密書状 榊樹屋 井花老君・白橋舎子・身潔舎子宛 正月一三日	藤左衛門・清三郎欠所一件	大山村元年寄藤左衛門・清三郎欠所一件	尾花沢・東根・紫橋・寒河江各代官・御元ノ御手代名書上	借用仕候金子証文之事写共 (酒造金) 田中八郎兵衛 奥印 借主大滝藤左衛門 西海三郎治・村井千太右衛門宛 文政一一年一月	借用仕候金子証文之事 質入主藤左衛門 西海三郎治・村井千太右衛門宛 文政一一年一月	年季讓渡申証文之事 写共 売主与左衛門与治兵衛宛 天保一〇年五月	家屋敷質入金子借用証文之事 借主清三郎・親類直之助 長兵衛・幸五郎宛 天保一二年二月
一通	一通	一通	一册	一通	一通	一通	一通	一通	一通	二通	一通	二通	一通
三三七	三三八	三四〇	三三四	三三六	三三九	三三九	八〇三	八〇三	八〇三	六五五	七六六	七六七	七六八
覚(寅年利足金請取手形) 木町幸五郎 安良町清三郎宛 寅一二月(天保一三年)	覚(卯年利足金受取手形) 本町長三郎 安良町清三郎宛 卯一二月(天保一四年)	覚(辰年分利足請取手形) 本町幸五郎 安良町清三郎宛 辰一二月(天保一五年)	家屋敷質入金子借用証文 写共 借主清三郎母・女房・弟・親類直之助 長三郎・幸五郎宛 弘化二年一〇月	逼塞并押込申渡之節心得方達書 出役方 閏五月(弘化三年)	大山村元年寄藤左衛門・清三郎・百姓弥平治田畑取調書 酒井左衛門尉御預所出羽国田川郡大山村弥平治・藤左衛門・清三郎組合・親類石井勝之進様御手代岡野英三・宮内左右衛門 閏五月(弘化三年)	大山村年寄藤左衛門家財其外御見分書 酒井左衛門尉御預所出羽国田川郡大山村元藤左衛門組合・親類・役人代 岡野英三・宮内左右平宛 閏五月一五日(弘化三年)	大山村元清三郎家財其外御見分書 酒井左衛門尉御預所出羽国田川郡大山村元清三郎組合・親類・役人代 石井勝之進様御手代岡野英三・宮内左右平宛 閏五月一五日(弘化三年)	差紙(欠所人巨細取調方ニ付)扣 役所 証文加印親類直之助宛 午閏五月(弘化三年)	覚(借用金返済方取調書上) 藤左衛門 直之助宛 壬五月二九日(弘化三年)	覚(借用金返済ニ付請取方願) 長三郎 直之助宛 六月六日			
一通	一通	一通	二通	一通	一册	二册	一册	一通	二通	一通			
七九〇	七九一	七九二	七九九	八〇六	七九三	七五四	七五五	八〇七	八二三	八二三			

覚(藤左衛門質入分引渡方ニ付) 扣 賢次郎・直之助 西海三郎右衛門・村井与左右衛門宛 弘化三年六月一〇日	一通	八〇九	(本組出立人数書上) 八月晦日	横長半	飯一冊	四五五
口上(反畝合書損ニ付認直し取計方) 光菱 大人宛 一五五日	一通	八二〇	塩野町立免扣(跡立分共) 九月二八日	横長半	飯一冊	四五六
清三郎分田畑・屋敷質入分取調書	一通	七九六	(塩野町御差立一件中立替金書上) 天保一五年	横長半	飯一冊	一五九
藤左衛門所持之分若柳村田畑書上	一通	七九七	覚(塩の町罷越人数書上) 鍛冶町・堂町分 辰九月	横長半	飯一冊	四五二
(藤左衛門屋敷・家財取調書上)	一通	七九八	塩野町へ出立人数書上(七ツ町) 一〇月二六日	横長半	飯一冊	四五三
(藤左衛門田畑・屋敷質入分書上)	一通	七九九	小前御差立ニ付越後塩之町行人数書上 西町分 一〇月二六日	横長半	飯一冊	四五七
覚(藤左衛門分家財書上)	一通	八〇〇	塩野村差立覚(差立人足書上) 柏塚 辰一〇月二六日	横長半	飯一冊	四四四
清三郎質入屋敷高・家財書上	一通	八〇一	(銅屋町・片町差立人数書上) 一二月二六日	横長半	飯一冊	四四五
(元年寄藤左衛門・清三郎欠所被仰付ニ付家屋敷・酒造稼質入申立願) 扣 元年寄藤左衛門・清三郎組合 石井勝之進様御手代岡野永三・宮内左右平宛 弘化三年壬五月	一通	八〇五	塩野町先差立人数書上 辰一〇月二六日	横長半	飯一冊	四四六
覚(藤左衛門・清三郎・弥平治所持分田畑書上)	一通	八〇八	大工町・檜物町差立人数書上 辰一〇月二六日	横長半	飯一冊	四四九
藤左衛門欠所之為所持田畑質入ニ付札方承知請書状扣 御名面黒谷折兵衛 大井勝之進様御手代桑田孝三郎宛 六月四日	一通	八二二	轉木町差立人数書上 大山役場 肝煎・長人中宛 辰一〇月二〇日	横長半	飯一冊	四四七
弥平治田畑取調書上	一通	八三三	塩野町江御差立先登面附他(染屋町分) 辰一〇月三〇日	横長半	飯三冊	四五〇
覚(安良町百姓弥平次欠所一件田畑所持分書上) 扣 酒井左衛門尉御預分出羽国田川郡大山村元弥平次組合・役人代 石井勝之進様御手代岡野英三・宮内左右平宛 閏五月(弘化三年)	一通	八〇四	塩野町江御差立一件 辰一〇月晦日	横長半	飯一冊	四四八
越後国塩之町御差立一件	一通	八〇三	(十月晦日出立人数書上) 木町・七ツ町分 一〇月晦日	横長半	飯一冊	四五三
(塩野町江御差立一件) 辰八月(天保一五年)	一通	一五五	塩野町行覚(出立人数書上) 一〇月晦日	横長半	飯一冊	四五四
			今般塩の町行被仰出候ニ付十五才五六十壹才迄人数調書(弘化元年カ)	横長半	飯一綴	一七九九

今度越後国塩野町江御差立三付六拾已下拾五才  
迄書上申候 銅屋町・片町 辰年(弘化元年九)

横長半 一冊 一八〇〇

塩野出立連名 (弘化元年九)

横長半 一通 一八〇一

覚(塩野町出立三付人数書上) (弘化元年九)

横長半 一冊 一八〇二

出 入

正米一件(下荒俣村五郎右衛門・五吉・九助・  
作平・久治郎・元右衛門・勝左衛門御吟味口  
書(大庄屋隠米一件) 天保五年三月

半帳 一冊 四四三

あら町作兵衛江糶株并諸道具付讓渡代金滯一件  
願書 大山本町治右衛門 年寄三郎・名主善六・  
同長三郎宛 申九月(天保七年)

一通 一〇三三

伊勢屋治郎右衛門方五日町長七江相懸候預米  
濟方一件御吟味御請証文 伊勢屋治郎右衛門・  
五日町長七 公事方御役所宛 天保九年四月

一通 二八四

口上之覚(伊勢屋治郎右衛門・三井屋弥吉一  
件取扱方御断願) 林太郎吉・奥井榮十郎他御米  
宿四人 御役所宛 九月三日(天保九年)

一通 二八五

口上之覚(伊勢屋治郎右衛門仲買弥吉掛り合  
之儀御断三付) 奥村榮十郎・林太郎吉 御役所  
宛 二月(天保九年九)

一通 二八六

(公事場出役可仕哉伺) 御徒目付 米宿人 四  
月五日

一通 二八七

(御徒目付伺出三付申達方) 松平武右衛門 石  
川権兵衛 四月五日

一通 二八八

平形村与之右衛門大山村ニ而行倒候内濟一札  
与之右衛門親類阿部村弥右衛門 大山村御役人中宛  
嘉永四年正月

一通 七五五

久右衛門過言三付託一札 枋屋村久右衛門 村中  
宛 嘉永四年正月

一通 七五五

長治郎口論不埒一件証証文 本町長治郎 吉屋  
与太郎・木村屋庄之助・寒河江平右衛門宛 嘉永七  
年正月

一通 七五三

七ツ町利右衛門村方地面之家作并土藏取壊一  
件三付差出一札 七ツ町利右衛門 大山御役場  
安政六年二月

一通 一〇四四

野興屋村ニ而米出村久三郎争論一件詫状 米出  
新田久三郎・野興屋村三役人 大山大滝直之助・羽  
根田与次兵衛・播磨京田村年番名主安兵衛宛 万延  
元年八月

一通 七五六

野興屋村ニ而久三郎打擲争論一件御沙汰方口上  
書 米出新田久三郎悴藏治郎・長人・肝煎運印 大  
滝直之助・羽根田与治兵衛宛 万延元年八月

横長半 飯一冊 七五九

覚(久三郎手当金請取手形) 久三郎悴藏治郎  
大滝直之助・羽根田与次兵衛宛 万延元年八月

一通 七六〇

新吉と半左衛門混合整候一札 願人半左衛門  
大滝直之助・羽根田与次兵衛・名主八右衛門宛 文  
久元年一月

一通 七六一

本町傳左衛門別家やすの不法ニ付混合歎願書  
願主傳左衛門老母・親類 大滝三郎・直之助・羽  
根田与治兵衛 文久二年正月

一通 七五九

大豆屋謙太郎ト兼子謙六・酒田秋田町善次掛  
合一件記 大滝直之助 文久三年三月

一通 二四三

兼子健六方借用米金返濟方相滞方御札三付答  
書 大山本町(大豆屋)謙太郎 文久三年五月

半帳 一冊 二四四

安良町市之丞妹竹多儀新町勘三郎衣類質入二付内熟一札 市之丞 大滝直之助・羽根田与次兵衛・名主八右衛門宛 元治元年八月 一通 七五〇

新町勘三郎親内縁之妻竹多儀家内衣類質入二付内済証文 勘三郎 大滝直之助・羽根田与次兵衛・名主八右衛門宛 元治元年八月 一通 七五三

○

佐藤弥平治病中ニ付金子讓渡候遺書 木町佐藤弥平治 矢馳村茂助 一通 二二〇

親族之營業保護スルノ証 店主花沢由藏 田中茂三郎・小林善次郎宛 明治一四年 半帳 一冊 二二四

秋田町故浦役伊助家財取調書 肝煎宗助 戊九月 一通 二五二

酒田秋田町米仲買善治方ニ付御札ニ付御答書(米売付差金滯出入ニ付) 大山村本町謙太郎 亥五月 美帳 一冊 七七八

遊行上人

先触状(遊行上人就巡国修行一泊ニ付) 於久保田御城下 遊行上人役者修領軒 羽州大山町御役人 中宛 嘉永二年七月五日 一通 二六八

遊行上人一泊記 大山役場 年寄三郎 嘉永二年八月 半 一冊 二六三

遊行上人御一泊諸入用控 (嘉永二年八月) 横長半 一冊 二六四

遊行上人御一泊ニ付御献立 (嘉永二年八月) 横長半 一冊 二六六

専念寺鹿絵図(遊行上人御一泊ニ付) (嘉永二年八月) 67×112 一鋪 二六七

遊行上人御休泊諸入用郡中高割帳 由利郡小砂川村・田川郡大山村 嘉永二年十一月 横長半 一冊 二六五

\*遊行上人通行ニ付郡中割申渡 川端役所 年寄三郎宛 (嘉永二年) 十一月朔日 一通 一〇一三

幼稚園

幼稚園開設請願 大山小学校長藤山豊 学務委員大滝直之助宛 八月二二日 一通 一六〇一

大山小学校附属幼稚園規則保育課程表 一通 一六〇二

大山小学校附属幼稚園ノ施設ニツキテ 一通 一六〇三

村況

村明細

出羽国田川郡大山村銘細帳 老百姓喜右衛門・彦兵衛・八郎兵衛・庄次郎・組頭茂兵衛・安兵衛・名主市郎左衛門・善右衛門 元文元年九月 美帳 一冊 一

出羽国田川郡大山村差出明細帳 名主善右衛門・同喜右衛門・組頭九左衛門・源右衛門・年寄八郎兵衛・惣百姓代 宝曆一一年 美帳 一冊 二

出羽国田川郡大山村差出明細帳 名主善右衛門・市郎左衛門・組頭・老百姓 子八月(享保一七年) 美帳 一冊 一八六

出羽国 田川郡・飽海郡 村々様子大概書 酒井左衛門尉殿御預所 由利郡 半帳 一冊 五

高反別差出

出羽国田川郡大山領大山村高反別村差出帳 田川郡大山村名主善右衛門・市郎左衛門 小野惣左衛門様始而御役所宛 享保九年五月 美帳 一冊 三

羽州田川郡大山村高反別村差出帳 田河郡大山  
 村名主市郎左衛門・善左衛門・与惣安兵衛・茂兵衛・  
 老百姓 小林又左衛門様御役所宛 享保一三年正月  
 美嶽 一冊 四  
 羽州田川郡大山領大山村高反別村差出帳 名  
 主善右衛門・同市郎左衛門・組頭次郎左衛門・助左  
 衛門・老百姓 松山彦太夫様御役所宛 正徳  
 美大 一冊 五

村 入 用

郡 中 割

覚(御役所入用郡中割方ニ付) 大山宿会所  
 大山三ヶ村宛 卯二月 一通 六四  
 覚(書役料取立方ニ付) 割会所 大山三ヶ村宛  
 卯二月 一通 六四  
 覚(郡中割出方書上) 名主閏六・作兵衛 宿  
 三右衛門宛 卯三月一七日 一通 六四  
 覚(郡中割諸入用札方ニ付) 作兵衛 名主庄  
 兵衛宛 卯三月二一日 一通 六四  
 郡中割組当金覚 わり元 本町組・あら町組宛  
 卯二月 一通 二七  
 大山三ヶ村へ割返金覚 わり元 本町組・あら町  
 組宛 卯二月 一通 二七  
 郡中高割金覚 郡中会所 大山三ヶ村組宛 巳二  
 月五日 一通 二七  
 覚(割当金請取手形) 割元 本町組宛 巳閏  
 五月二日 一通 一〇五  
 矢沢諸入用改御出銭書上 割元 大山四ヶ組・  
 栃尾村組宛 巳五月一六日 一通 一〇五

両組他諸入用割覚 割元 本町組宛 巳七月  
 大直(大滝直之助)分諸入用目覚  
 雑用取立之節酒肴代金請取手形 三五郎 本町  
 組割元御衆中宛 巳十一月二日 一通 二六  
 覚(諸入用組割金請取) 割元 本町組宛 午  
 一〇月 一通 二七〇

覚(一組割他持寄金書上) 羽根田与次兵衛  
 大滝直之助宛 未一〇月 一通 一〇七  
 覚(本町・丹波・あら町・砂押割当分)  
 覚(酒代上納分書上) 糸屋安兵衛 御割元中  
 宛 午一〇月 一通 六四

記(作兵衛納并地券賄割代金等差引勘定) 割  
 元 本町・あら町宛 戌四月 一通 一〇三  
 記(一組高割・稲荷社・学校費・作兵衛賄法  
 割等書上) あら町・本町組宛 戌二月一一日 一通 二二六  
 記(鳥越仕直し分出金方) 割元 大山村・砂  
 押村宛 戌七月二九日 一通 二二二

○湯 立 割  
 湯立割覚(本町高当) わり元 本町組宛 辰  
 五月一六日 一通 一〇八  
 本町組高割り湯立割覚 割元 本町組宛 辰六月  
 八日 一通 一〇八

覚(湯立代金請取手形) 与惣右衛門 本町御  
 役人衆中宛 巳七月 一通 一〇七  
 (御藏片付并湯立入目金請取手形) 作兵衛  
 一組御役人衆中宛 巳七月 一通 一〇五

湯立不足金立替金覚 音羽や源兵衛 作兵衛宛 巳七月	一通	一〇五三	去辰村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・村役 人連印 御預地御役所宛 弘化二年二月二日	横長美	一冊	一六三
風祭割金覚 割元 本町宛 未七月八日	一通	一五九四	去巳村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・村役 人連印 御預地御役所宛 弘化三年二月	横長美	一冊	一六三
風祭湯立割金覚 割元 本町組宛 未七月八日	一通	一五六六	去午村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 弘化四年三月	横長美	一冊	一六四
六月一六日本町湯立賄入目覚 作兵衛 上様宛 未七月	一通	一五九三	去未村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 弘化五年二月	横長美	一冊	一六五
覚(湯立割・追割ニ付) 割元 本町組宛 西五月 二日	一通	一〇五五	去申年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 嘉永二年二月	横長美	一冊	一六六
植付湯立割覚 割元 本町組宛 西六月一二日	一通	一〇六八	去酉年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 嘉永二年二月	横長美	一冊	一六六
湯立割覚 わり元 本町組宛 西七月一四日	一通	一〇六九	去戌村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 嘉永四年二月	横長半	一冊	一六七
記(七月一六日湯立賄入目) 作兵衛 大滝直 伎宛 西八月	一通	一〇八六	去子年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 嘉永六年二月	横長半	一冊	一六九
記(湯立割代金書上) 割元 本町組宛 西八月 八日	一通	一〇七七	去午年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 安政六年二月	横長半	一冊	一七〇
記(湯立割請取手形) 割元 本町組宛 戊七月 二三日	一通	一一三六	去未年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 安政七年二月	横長半	一冊	一七三
記(風祭湯立割請取手形) わり元 本町組宛 戊八月	一通	一一三五	去未年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 安政七年二月	横長半	一冊	一七三
村入用帳						
○大山村						
去寅村入用帳 (大貫次右衛門役所見届印有)	一冊	一〇六〇	去未年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 安政七年二月	横長美	一冊	一七三
羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓代・長百姓・名主・ 締方連印 大山御役所宛 天保一四年三月	一冊	一〇六〇	去未年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 安政七年二月	横長美	一冊	一七三
去卯村入用帳 (大貫次右衛門見届印有) 羽州 田川郡大山村 惣百姓・百姓代・長百姓・年寄・名 主・取締方連印 大山御役所宛 天保一五年三月	一冊	一〇六一	去未年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓 代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所 宛 安政七年二月	横長半	一冊	一七二

去申年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 万延二年二月 横長半 一冊 一七三

去酉年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 文久二年二月 横長半 一冊 一七四

去戌年村入用帳 羽州田川郡大山村 惣百姓・百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 文久三年二月 横長半 一冊 一七五

○丹波興屋村

去寅村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓・百姓代・名主連印 大山御役所宛 天保一四年三月 横長美 一冊 一七六

去卯村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・名主連印 大貫次右衛門大山御役所宛 大貫次右衛門役所証印 天保一五年三月 横長美 一冊 一七七

去辰村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 兼帶大山村役人連印 御預地御役所宛 弘化二年二月 横長美 一冊 一七八

去巳村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 兼帶大山村役人連印 御預地御役所宛 弘化三年二月 横長美 一冊 一七九

去午村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代連印 御領地御役所宛 弘化四年三月 横長美 一冊 一八〇

去未村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 弘化五年二月 横長美 一冊 一八一

去申年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 嘉永二年二月 横長美大 一冊 一八二

去酉年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 嘉永三年・四年二月 横長半 二冊 一八三  
三三五

去子年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主与次兵衛連印 御預地御役所宛 嘉永六年二月 横長半 一冊 三三六

去午年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 安政六年二月 横長半 一冊 一八四

去戌年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 文久二年二月 横長半 一冊 一八六

去酉年村役入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 文久三年二月 横長半 一冊 一八五

去未年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 羽根田与次兵衛証印 安政七年二月 横長半 一冊 一八七

去未年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 安政七年二月 横長半 一冊 一八八

去申年村入用帳 羽州田川郡丹波興屋村 百姓代・長百姓・組頭・名主・年寄連印 御預地御役所宛 万延二年二月 横長半 一冊 一八九

○砂押村

去寅村入用帳 羽州田川郡砂押村 惣百姓・名主俊司連印 大貫次郎右衛門様御役所宛 天保一四年三月 横長美 一冊 三三〇

去卯村入用帳 (大貫次右衛門御役所見届印) 羽州田川郡砂押村 惣百姓・長百姓源右衛門・名主俊司連印 大貫次右衛門様御役所宛 天保一五年三月 横長美 一冊 三三一

去辰村入用帳 羽州田川郡砂押村 惣百姓・砂押村兼帶大山村役人三五郎他連印 御領地御役所宛 弘化二年二月 横長美 一冊 三三三

去巳村入用帳 羽州田川郡砂押村 惣百姓・砂押村兼帶大山村役人三五郎他連印 御預地御役所宛 弘化三年二月	横長美	一冊	三三三	去酉年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主 文久二年二月	横長半	一冊	三三三
去午村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主長三郎・年寄三郎連印 御預地御役所宛 弘化四年三月	横長美	一冊	三四	去戌年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主羽根田与治兵衛・年寄大滝直之助連印 御預地御役所宛 文久三年二月	横長半	一冊	三四
去未年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主長三郎・年寄三郎連印 御預地御役所宛 弘化五年二月	横長美	一冊	三五	○その他			
去申年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主長三郎・年寄三郎連印 御預地御役所宛 嘉永二年二月	横長美	一冊	三六	諸人用書出			
去酉年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主長三郎・年寄三郎 御預地御役所宛 嘉永三年二月	横長半	一冊	三七	本町より荒町へ立分酒方借用利足米書上 荒町行司清三郎・本町行司格弥 文政五年四月	横長半	一通	一〇四二
去戌年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主長三郎・年寄三郎他連印 御預地御役所宛 嘉永四年二月	横長半	一冊	三八	石方金銭請拂諸扣帳 行事八郎治・同徳兵衛代納取立御藏御藏入用他 文政六年二月	横長半	一冊	三九
去子年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主長三郎他連印 御預地御役所宛 嘉永六年二月	横長半	一冊	三九	本町組石方金銭請拂 行事(田中) 太郎左衛門 文政一三年	横長美	一冊	四〇五
去未年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主羽根田与治兵衛・年寄大滝直之助同大滝三郎 御預地御役所宛 安政七年二月	横長半	一冊	四〇	天保九戌年同十亥年式々年共名主庄兵衛殿より通ひにて請取金并二ヶ年行司安之丞方へ通二而渡し方籠扣写 天保九年・同一〇年	横長半	一冊	三八
去未年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主羽根田与治兵衛・年寄大滝直之助同大滝三郎 御預地御役所宛 安政七年二月	横長半	一冊	四〇	本町組石方金銭受取帳 田中太郎左衛門 鈴木庄兵衛 天保一〇年二月	横長半	一冊	四〇六
去申年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主羽根田与治兵衛・年寄大滝直之助同大滝三郎 御預地御役所宛 万延二年二月	横長半	一冊	四一	本町組石方金銭請拂諸扣帳 請拂惣差引 田中太郎左衛門控 天保一〇年二月	横長半	一冊	四一
去申年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主羽根田与治兵衛・年寄大滝直之助同大滝三郎 御預地御役所宛 万延二年二月	横長半	一冊	四二	庄兵衛方へ相渡分 金子并諸帳面共 徳右衛門庄兵衛宛 寅二月(天保一三年)	横長半	一通	一四六七
去申年村入用帳 羽州田川郡砂押村 百姓代・長百姓・組頭・名主羽根田与治兵衛・年寄大滝直之助同大滝三郎 御預地御役所宛 万延二年二月	横長半	一冊	四三	覚(かし代他諸代金書上) 布袋屋金兵衛 初掛り御役人羽根田喜右衛門宛 丑(天保一二年)二月	横長半	一通	二八八

覚(諸代金書上)ミつや喜兵衛 穀方所御用所夫 金兵衛宛 丑(天保一二年) 二月二日	一通	二八九	覚(栃屋村出利足金受取手形) 大山石井源右 衛門 大滝三郎宛 卯二月二九日	一通	一〇四八
覚(初諸勘定賄諸人用他) 布袋屋金兵衛 初 御世話方羽根田喜右衛門宛 丑(天保一二年) 一二月	一通	二五〇	賄料入目差引覚 作兵衛 本町組御役人衆中宛 辰二月	一通	一〇八五
覚(初蔵屋根風痛ニ付諸人用書上) 作兵衛 初御世話方羽根田喜右衛門宛 丑(天保一二年)	一通	二五一	覚(大山附酒屋中ノ御肴料受取手形) はりま 村名圭三右衛門 田中安之丞宛 巳二月二日	一通	一一〇八
本紙小訳覚 (単切減粉等貸方) 羽根田喜右衛 門 寅(天保一三年) 二月	一通	二六五	材木代金書出 中沢村治郎助 大山大庄屋様宛 未五月	一通	一五六六
卯年御買もの通 御印 秋野与四郎 大滝直之 助宛 天保一四年二月	一冊	三五七	諸貸付・立替米代金差引書出覚 安良町組 本 町組宛 未六月	継一通	一五九七
大山村本町組用金八郎兵衛預居候ニ付及催促 候一条 年寄三郎 (嘉永元年四月)	一冊	二二三	覚(初御出役・賄諸入目請取手形) いつみや 久七 御割元中宛 未七月	一通	一〇三二
覚(八郎治送金分他年賦金改) 糸屋太郎左衛 門 申二月(嘉永元年カ)	一通	一〇〇六	覚(初御出役之節賄酒代金請取) いつみや忠 次郎 初蔵御割元中宛 未七月	一通	一〇三〇
覚(去壬五月分諸賄代金請取手形) 作兵衛 御役人衆中宛 巳六月(安政五年カ)	一通	一〇八一	居風呂たか掛代金御立替覚 佐藤 大滝様宛 未七月	一通	一五八二
買米札増立替手形 加蔵儀三郎 大滝直之助宛 第一五年二月	一通	一五七	大工扶持作料書出覚 大工仁吉 上様宛 未七月	一通	一五六四
馬宮布代金覚 大滝龍助 大滝三郎宛 寅四月	一通	一〇五三	初出役入用御割合覚 小走や兵衛 大滝直之助宛 未二月	一通	一五八〇
覚(大工扶持作料并材木代金ニ付) 大工仁吉 本町組御役人衆中宛 卯ノ八月	一通	一〇七〇	小羽并杉皮代金書出 作兵衛 御役人衆中様宛 未二月	一通	一五八一
覚(秤代取立ニ付) 安良町他六ヶ町入分 名主 与次兵衛 大滝三郎宛 五月二五日	一通	一〇四九	覚(諸利足書出) 質屋惣代年番丹治郎・三郎右 衛門 御役場宛 未二月	一通	九九〇
覚(秤不納町々取立金他諸人用金受取手形) 名主与次兵衛 大滝三郎宛 卯二月	一通	一〇七四	十月十八日本町組御年貢計リ賄入目覚 作兵衛 本町組役人衆中宛 未二月晦日	一通	一五八五
覚(利足金請取手形) 羽子田与次兵衛 大滝 三郎宛 卯二月二九日	一通	一〇四七			

餅米搗立代金請取手形 搗屋長七 上田屋作兵衛宛 酉六月	一 通	一〇七九	覚(登り道中雜用他諸入目書上) 弥三郎 御役人衆中宛 六月	一 通	一〇七三
記(小豆代金三付) 搗屋傳六 上田屋作兵衛宛 酉六月	一 通	一〇八〇	覚(酒田湊詰入用金請取手形) 千安京田村名主五右衛門 大山年寄三郎宛 七月二十五日	一 通	一〇六七
記(二月廿九日餅搗手傳衆賄酒とも他) 作兵衛 大滝直伎宛 酉八月	一 通	一〇三九	貫目方御礼渡方覚	一 通	一五九二
記(五月七日地檢調賄入目) 作兵衛 大滝直伎宛 酉八月	一 通	一〇四〇	村 借		
記(餅米代金請取手形) 米屋幸吉 上田作兵衛宛 酉八月	一 通	一〇六七	米金貸方并借入覚帳 本町組 文政元年六月	一 冊	四四一
火防夫諸人費請取手形 有沼又次郎 上本町頭取衆中宛 酉八月(明治一八年)	一 通	一五四七	金子借用申証文之事(虫損) 年行司格弥・組頭三五郎 田中徳右衛門宛 文化一三年四月	一 通	六〇九
記(炭代金請取) 作兵衛 火工多平治宛 戌二月二〇日	一 通	二四七	借用申金子証文之事(本町組石方入用金) 渡会格弥・田中徳兵衛 田中八郎兵衛宛 天保二年三月	一 通	二三六
記(本町組御年貢計り賄入目代金請取手形) 作兵衛 御役人衆中宛 戌二月	一 通	二四六	借用申金子証文之事(本町石方へ貸金) 渡会格弥・田中徳兵衛 田中八郎兵衛宛(虫損大) 天保二年	一 通	五九九
記(鳥越割高金請取) 割元 本町・あら町宛 戌五月	一 通	二四一	借用申金子証文之事 大山役人齊藤三五郎他五名連印 田中徳右衛門宛 天保一五年二月	一 通	六一一
記(駄賃他渡し方差引) あら町・本町組肝煎徳兵衛宛 戌六月一九日	一 通	二三四	借用申金子証文之事(御年貢金入用三付) 大山村本町組行司佐藤徳兵衛 石井久三郎・役人田中安兵衛 書物屋門吉宛 弘化二年四月	一 通	六五
記(酉六月方戌七月迄酒肴賄代) 戌七月	一 冊	九四	借用申金子証文之事(御年貢金差支三付) 大山本町組年行司佐藤徳兵衛他四名連印 田中徳右衛門宛 弘化二年五月	一 通	六六
記(各組立替金請取) 割元 本町組宛	一 通	二五〇	借用申金子証文之事 大山石方年行司齊藤三五郎他二名連印 穀師勘助宛 弘化三年正月	一 通	六四
記(新丁行賄代) 作兵衛 大滝直伎宛 亥二月	一 通	二二八	借用仕金子証文之事 本町組年行司石塚与惣右衛門他七名連印 田中徳右衛門宛 弘化二年二月	一 通	六二〇
持出し金差引扣(羽六帳合之分他) 羽田六兵衛他 横長半	一 冊	四三			
覚(柳原助人足并鳥海山代参入用受取手形) 本町組御役人衆中宛	一 通	一〇三三			

覚(栃屋村卯年利足請取手形) 滝三郎宛 安政二年二月二十九日	八郎兵衛 大滝	一通	一〇七
未御年貢(金返納之分御渡被下受取申事 大山村・砂押・丹羽興屋村年寄・名主・組頭・長百姓連名 川端御役所宛 嘉永元年八月)		一通	七三
栃屋村借金皆済取調御届書 年寄大滝三郎・名主羽根田与次兵衛 川端御役所宛 文久元年二月十七日	半帳 一冊	一冊	一四六
村方永々仕法立之儀ニ付懇願 片桐敏明 八月十七日	半帳 一冊	一冊	七七
金錢請拂			
本町組金錢請拂諸扣 行司田中八郎治 天保四年一二月	横長半 一冊	一冊	一九
本町組金錢受拂差引帳 天保三年九月	横長美大 一冊	一冊	一九
本町組金錢受拂差引相改帳 行司田中八郎治・田中太郎左衛門・名主鈴木庄兵衛 天保五年一〇月一九日	横長半 一冊	一冊	一九三
本町組金錢受拂差引改下書帳 天保六年二月	横長半 一冊	一冊	一九四
本町組金錢受拂差引改下帳 午六月廿日方受拂之分 名主鈴木庄兵衛 天保五年一二月	横長半 一冊	一冊	一九五
(金錢受拂差引帳) 天保八年・天保九年	横長半 一冊	一冊	一九六
(金錢受拂差引帳) 天保九年・天保一〇年	横長半 一冊	一冊	一九七
(本町組金錢受拂差引帳) 天保一一年二月	横長半 一冊	一冊	一九八
(本町組金錢受拂差引帳) 天保一二年二月	横長半 一冊	一冊	一九九
(本町組金錢受拂差引帳) 天保一三年二月	横長半 一冊	一冊	二〇〇
(本町組金錢受拂差引帳) 天保一四年二月	横長半 一冊	一冊	二〇一
(金錢請拂) 天保一五年二月			
本町組金錢受拂差引帳 天保一五年・弘化二年一二月	横長美 一冊	一冊	二〇三
正月方 迄金錢出入調 田中八郎兵衛 元治二年五月十四日	横長半 一冊	一冊	二九六
雜用割			
辰雜用割請取手控帳 本町組 弘化二年二月	横長半 一冊	一冊	三〇五
本町組卯雜用割取立差引残扣帳 大山 弘化二年二月	横長半 一冊	一冊	三〇六
去辰雜用受拂帳 本町組 弘化二年二月	横長半 一冊	一冊	三〇七
本町組辰雜用割帳 大山 弘化二年二月	横長美 一冊	一冊	四〇四
覚(御藏垣ノ割当金) 作兵衛 本町組御役人 衆中宛 巳二月		一通	八四三
覚(出方くみわり) 作兵衛 本町組御役人 衆中宛 巳二月		一通	八四四
覚(田元橋所々松板代書上) 三五郎 本町組 割元御衆中宛 巳二月二三日		一通	八四六
四月十九日役所江上納十八日南町迄相渡可申事 大山村・砂押村・丹波興屋村分		一通	八八五
覚(諸掛リノ高書上)		一通	八五一
村費			
民費調 大滝扣 明治七年七月	半帳 一冊	一冊	二六一

西田川郡大山村外七ヶ村戸長役場区一村限巻人別個数調帳 西田川郡大山村外七ヶ村戸長白井重遠 明治二〇年九月

一通 二五

元大山村老村共有物当時村会決議ヲ執行売拂代金決算報告 大山町助役出村重遠 元大山町議員大滝直之助宛 明治二四年一月一四日

一通 二〇五

記(学校入費他村割金差引) あら町組 本町組宛 亥一月

一通 二三四

諸職

酒造

○

江戸廻酒類願立記(大山村酒一件留日記) 下上 大滝三郎 安政四年正月同五年

半帳 一冊 二八五

江戸廻酒類願立記(江戸表へ罷登候酒造人惣代羽根田与次兵衛方来状之写他) 下中 大滝三郎 安政四年五月同七月

半帳 一冊 三八六

大山酒造人江戸廻願立不申付趣ニ付取究申達状 安政四年一二月

二通 二三三

鑑札

羽州大山村欠所酒造鑑札取計方何書 御名家来 大山庄大夫 御勘定所宛 弘化五年三月

半帳 一冊 三五

大山村庄兵衛他欠所酒造人鑑札上ヶ切御下知ニ付鑑札受取手形 川端御役所 大山村名主宛 申五月三日

一通 二二三

売付

覚(三笠山酒一〇〇樽売付端書) 齊藤屋三五郎 秋野与四郎取次駒七宛 丑六月一〇日

一通 九六四

売付申端書之事(三笠山一五〇樽分) 齊藤屋三五郎 秋野与四郎取次駒七宛 寅正月二日

一通 九六三

売附申端書之事(三笠山一〇〇樽分) 齊藤屋三五郎 秋野与四郎取次駒七宛 寅正月二日

一通 九六三

覚(酒売付差金受取手形) 加茂屋長三郎 秋野与四郎宛 寅正月二日

一通 九六五

覚(酒売附端書) 惣代羽州大山石井源右衛門 秋野与四郎口入駒七宛 寅正月二日

一通 九六六

酒代金受取手形 桜井伊左衛門 秋野与四郎宛 寅正月二日

一通 九六七

酒代金受取手形 庄内大山橋屋亥之七 蘭口駒七宛 寅正月二日

一通 九六八

売立酒代指金受取手形 阪口屋喜兵衛 秋野与四郎世八人駒七宛 寅正月二日

一通 九六九

買付

米売渡申手形之事(買附手形) 拂田村名主与左衛門 辻興屋村道端老宛 安政二年八月

一通 九七六

差出申証文之事(酒買入代金借用手形) 借主辻興屋村道端 大豆屋謙太郎宛 安政二年九月

一通 九七七

口上覚(辻興屋村道端屋江売附米引当墨附証文) 押田村名主与左衛門 大山大豆屋謙太郎宛 卯(安政二年) 九月

一通 九七八

酒買入代金借用一件写 柳田村名主墨付証文添 辻興屋村道端 大山大豆屋謙太郎宛 安政二年九月

半帳 飯一冊 一六三

口上覚(辻興屋村道端老酒代金勘定方日限二付) 拂田村引請主与左衛門 大山鈴木謙太郎宛  
安政二年一月

諸職 仲間  
○鍛冶仲間

酒仲間買調書 (内藤龜右衛門出) 酒元江返し  
分共 (明治一一年九)

代替三付大山鍛冶仲間堅又御請証文 写 鶴ヶ岡鍛冶町市兵衛・播磨国京田村鍛冶善右衛門 大山惣大工治右衛門宛 安永二年七月

一通 七三

酒造米請取証文之事 菊屋勝右衛門他六名 秋野与四郎宛 天保一一年

鍛冶仲間堅又御請証文 角田二口村願主東右衛門 惣大工頭治郎右衛門宛 寛政四年八月

一通 七四

酒取組代金請取手形 加茂屋幸助 秋野与四郎口入駒七宛 寅正月二二日

大山鍛冶仲間締方議定御請一札 尾花村茂助 大山組鍛冶頭儀兵衛 惣仲間宛 安政五年一月

一通 七五

千寿丸八五郎宛金子請取手形 辰八月二三日

○質屋・蠟燭・醬油他  
茶屋無人宿給仕女召抱渡世願 片町・浦町茶屋安兵衛 御役場宛 弘化四年九月

一通 七六

○酒造組合

明治廿七年度西田川郡大山町酒造組合経費收入支出決算報告 明治二八年

覚(質屋中持株書上) 御役場宛 弘化四年二月

一通 七九

明治廿八年度西田川郡大山町酒造組合経費收入支出決算報告 明治一八年

(質屋株讓受三付仲間持株願) 質屋権治郎他五人 年寄三郎・名主長三郎宛 嘉永三年八月

一通 九八

明治二十九年西田川郡大山酒造組合経費歳入出豫算議案 明治三〇年五月

大山蠟燭株仲間願書(新規開業差止方) 長吉以下十三株人 年寄大滝直之助他名主・組頭・長百姓宛 文久三年五月

一通 七三

新船入用控 船頭岩吉 安政三年五月

醬油株式制限願 大山村造醬油屋才兵衛他九軒連印 大滝直之助他丁役衆中宛 明治二年二月

一通 一〇六

新船入用控 船頭岩吉

興行物席立三付締方願 卯二月川端役所付札 大山村名主与治兵衛・年寄三郎 川端御役所宛 卯一二月

一通 七六

巖障丸合船調書

冥加寸志  
寸志金之覚(質屋中冥加寸志納方願) 質屋惣代市兵衛 年寄大滝直之助・同羽根田与治兵衛宛 子(嘉永五年) 九月

一通 九〇

冥加寸志

<p>覚(染屋中冥加寸志上納願) 染屋惣代岩五郎 大滝直之助・羽根田与次兵衛宛 子九月</p> <p>覚(油屋中冥加寸志上納願) 油屋惣代与左衛門・同喜代治 大滝直之助・羽根田与次兵衛宛 子九月</p> <p>覚(茶屋中冥加寸志願) 茶屋惣代吉藏 大滝直之助・同羽根田与次兵衛宛 子九月</p> <p>覚(船持肴屋中冥加寸志願) 惣肴屋代又治郎佐五兵衛 大滝直之助・羽根田与治兵衛宛 子九月</p> <p>覚(醬油屋中冥加寸志願) 醬油屋惣代佐左衛門 大滝直之助・羽根田与治兵衛宛 子九月</p> <p>覚(蠟燭屋中冥加寸志願) 蠟燭屋惣代長吉・傳左衛門 大滝直之助・羽根田与次兵衛宛 子九月</p> <p>寸志金之覚(風呂屋冥加寸志願) 風呂屋与左衛門 年寄大滝直之助・同羽根田与治兵衛宛 子九月</p>	<p>○直段 付</p> <p>白米小売直段・買入直段被仰付請書 本町搦屋長左衛門・与次兵衛 大山御役場宛 弘化三年一月</p> <p>白米小売直段・買入直段被仰付請書 向町五郎兵衛他・肝煎連印 大山御役場宛 弘化三年一月</p> <p>白米小売直段・買入直段被仰付請書 本町搦屋長七他肝煎連印 大山御役場宛 弘化三年一月</p> <p>白米小売直段・買入直段被仰付請書 銅屋丁搦屋五七 大山御役場宛 弘化三年一月</p> <p>白米小売直段・買入直段被仰付請書 安良町搦屋甚之助他 御役場宛 弘化三年一月</p>	<p>一通 九一</p> <p>一通 九二</p> <p>一通 九三</p> <p>一通 九四</p> <p>一通 九五</p> <p>一通 九六</p> <p>一通 九七</p> <p>一通 七二</p> <p>一冊 七三</p> <p>一通 七〇</p> <p>一通 七三</p> <p>一通 七四</p>	<p>貸借</p> <p>恩借</p> <p>恩借仕候金子証文之事 借金郷宿丁子屋門吉 大山組他村々御年番名主衆中宛 嘉永元年十一月</p> <p>木町権七恩借方不勘定三付詫差出一札 権七 坂口喜兵衛・羽田六兵衛宛 嘉永四年四月</p> <p>御恩借申金子証文之事 借主惣治郎 大滝三郎宛 嘉永七年十二月</p> <p>御恩借申金子証文之事 書役三右衛門 両組御役人中宛 文久三年七月</p> <p>○ 拝借米金</p> <p>拝借仕金子証文之事 借主繁藏 年寄三郎宛 嘉永二年二月</p> <p>繁藏拝借金茶屋五軒方掛金之内小右衛門不足三付四軒分半割証文 名主与右衛門 大滝三郎宛 卯二月(安政二年)</p> <p>拝借仕金子之事 拜借主横目吉藏 大滝三郎・羽根田与治兵衛宛 安政六年十二月</p> <p>拝借証文之事 拜借主成就院・定学院 大滝三郎・同直之助宛 安政七年正月</p> <p>御米拝借証文之事(馬士貸米) 馬士平成他四名・馬士行司・問屋連印・年寄大滝直之助 名主羽根田与治兵衛宛 文久二年十二月</p> <p>○ 拝借仕金子証文之事 拜借主吉藏・繁藏・与五郎 大滝三郎・羽根田与治兵衛宛 申一〇月</p>	<p>一冊 二四六</p> <p>一冊 二四六</p> <p>一冊 二四六</p> <p>一通 六三</p> <p>一通 六五</p> <p>一通 六九</p> <p>一通 一〇八</p> <p>一通 六六</p> <p>一通 六四</p> <p>一通 七四七</p> <p>一通 五九七</p>
---	---	---	---	--

(拝借米願) 定學院 大滝三郎・大滝直之助・羽根田与治兵衛宛 安政六年二月	一通	六〇二	借用申金子証事(五拾兩之利足金請取)(佐竹)市次郎 本町組三五郎宛 嘉永五年十二月	一通	六〇四
(拝借米願) 成就院大六 大滝三郎・大滝直之助・羽根田与治兵衛宛 安政六年二月	一通	六〇三	借用申米証文之事 善阿弥村借主主金藏 天神堂村藤左衛門宛 嘉永七年八月	一通	六〇〇
借用証文			差出申証文之事(差入田地年季讓一件) 大山本町四郎右衛門 本町御村役人中宛 安政三年二月	一通	六〇一
本町組石代帳他借入金・貸金扣 田中徳右衛門調之 天明五年	一冊	四〇一	借用申金子之事 糸屋太郎左衛門 大滝三郎宛 安政二年十二月	一通	六〇七
御金借用申証文之事 本町作右衛門 田中八郎兵衛・佐藤善右衛門・組頭三五郎宛 文政元年九月	一通	六〇八	借用申金子証文之事 借主与七郎 本町組御役人衆中宛 安政四年正月	一通	六〇八
文政二年卯三月仕服料覚(作右衛門借金勘定方) 鷺畑村作右衛門 手向池ノ中町七右衛門宛(文政七年九)	一冊	一七六八	差上申年賦証文之事 借主与七郎 大滝三郎・本町組御役人中宛 安政五年七月	一通	五九六
文政三年辰三月仕服料覚(作右衛門借金一件) 鷺畑村作右衛門 手向池ノ中町七右衛門宛 西七月(文政八年九)	一冊	一七六七	隼之助殿取替金惣調 大滝直之助 文久三年二月	一冊	四三四
借用申金子証文之事 田中八郎兵衛奥印 借主勘三郎 羽根田喜右衛門宛 文政九年十二月	一通	七五五	清六家賃取調帳(清六江立替物惣調書) 大滝直之助 元治元年七月	一冊	四三五
借用申金子証文 借主秋山惣右衛門 秋野与四郎宛 弘化二年三月	一通	六三六	預金四年賦返済証券 裏書明治二〇年皆済 本人内藤龜右衛門 越本政七宛 明治二二年九月	一通	二九四
借用申金子証文之事 借主惣治郎 大滝三郎宛 嘉永三年十二月	一通	六七	金子借用証券 借主西田川郡加茂村猪沢菊 嶺田傳兵衛・今井久右衛門 秋野善助・加茂村一同宛 明治一三年七月	一冊	四三八
改添証文之事 大和少輔孫(嘉永元年九)	一通	六六六	建家并酒造器械書入金円借用証 借主大屋禎吉 兼子孫一郎宛 明治一四年十二月	一冊	四三七
御預所鷺畑村作右衛門貸金一件願 芳賀七右衛門 御役所宛 嘉永二年十二月	一冊	一七六九	土蔵第一番書入金円借用証書 借主西田川郡加茂村大屋禎吉 兼子孫一郎宛 明治一四年十二月	半帳	四四〇
差入申年賦証文之事扣 鷺畑村作右衛門 手向芳賀七右衛門宛 嘉永三年七月	一通	二一六〇	金円借用証券之事 借主西田川郡加茂村大川藤十郎 加茂村緑町佐藤龜藏宛 明治一五年二月	半帳	四三九
為取替表付手形之事 枳屋村久右衛門 名主彦右衛門・長百姓六兵衛村中宛 嘉永四年二月	一通	七五五			

金田借用通帳 新穂真藏宛 明治四〇年二月	横美半	一冊	三五三	金子貨渡不申ニ付消印扣 粕塚村長作 年寄三郎 他 嘉永二年五月	一通	二〇〇
借用手形事 善四郎 三右衛門宛 辰六月八日	一通	六〇〇	鷺畑村作右衛門二重質等不埒一件御訴ニ付答 書 鷺畑村作右衛門 大山村年寄三郎・鷺畑村名主 新左衛門宛 嘉永三年六月	一通	二五九	
借用証文事 差添人善四郎 名ぬし三右衛門宛 七月朔日	一通	六三三	(酒屋多七よりの借用金二重濟一件ニ付願書) 大山村願人作左衛門 年寄三郎・名主与治兵衛宛 嘉永六年二月	一通	五九五	
借用証文之事 善四郎 三右衛門宛 四月廿一日	一通	六三三	喜惣兵衛経吉一件金子請取手形 下川村長百姓・ 名主 大山大滝三郎・羽根田与治兵衛宛 万延年 四月	一通	三六三	
貸金 出入			夫食米代金押滞出入一件御尋ニ付返答書 羽州 庄内領田川郡加茂浦秋野与四郎 盛岡御奉行所宛 子年	半帳	一冊	一〇四
○盛岡領山田釜石両湊貸懸一件			吟味手続 (治郎右衛門一件三付) 四月	一通	一冊	二六八
奥州盛岡領山田釜石両湊貸懸一件之記 上 大	半帳	一冊	菜種油直段申上候事 染や町油屋伊右衛門他九名 ・肝煎連印 御役場宛 弘化三年十一月	一通	一冊	七六九
滝三郎光憲記 天保一年九月	半帳	一冊	○			
奥州盛岡領山田釜石湊貸懸一件之記 中上 大	半帳	一冊	為取替証文之事 (会津国産之塗物売捌引受方 ニ付) 引受人庄内大山大滝直之助・羽田六兵衛 宗原半六郎宛 文政九年十一月	一通	一冊	七六一
滝三郎光憲記 天保一年七月〜八月	半帳	一冊	鑑 札			
奥州盛岡領山田釜石両湊貸懸一件之記 中中	半帳	一冊	枇札 (彦兵衛) (御私料所々改所ニ而見届而可相通 候) 文化二年十一月	木札	一枚	一九二九
大滝三郎光憲記 天保一年一〇月〜十一月	半帳	一冊	造醬油稼株鑑札 大山御役場 大山本町鈴木謙太 郎宛 安政五年二月	木札	一枚	一九二八
奥州盛岡領山田釜石両湊貸懸一件之記 下上	半帳	一冊				
大滝三郎光憲記 天保一年二月〜天保二年	半帳	一冊				
奥州盛岡領山田釜石両湊貸懸一件之記 下中	半帳	一冊				
大滝三郎光憲記 天保二年一月〜一〇月	半帳	一冊				
奥州盛岡領山田釜石両湊米代金貸懸一件之略	半帳	一冊				
大滝三郎光憲記 天保二年三月	半帳	一冊				
奥州盛岡領山田釜石両湊貸懸一件之記附録	半帳	一冊				
大滝三郎光憲記 天保二年	半帳	一冊				
盛岡日記 (盛岡領山田釜石両湊貸懸一件)	半帳	一冊				
大滝三郎光憲 天保一年〜二年	半帳	一冊				

鶴岡米穀取引所 (大山支庫)

會計

○  
 筆笥他引継書類受取書 鶴岡米穀取引所倉庫懸り  
 書記山内正率 大滝直之助宛 明治三十二年一月  
 一通 一六七

○  
 収支決算  
 自明治卅一年六月十九日 大山支庫諸入費調 大  
 至同 卅二年六月十九日 鶴岡米穀取引所理事長笹原  
 清吉宛 明治三十二年一月  
 一通 一六五

○  
 自明治卅一年六月十九日 大山支庫諸入費調 大滝  
 至同 卅二年六月十九日 鶴岡米穀取引所理事長笹原  
 清吉宛 明治三十二年一月  
 一通 一六四

○  
 自明治卅二年六月二十一日 大山支庫諸入費調  
 至同 卅三年十一月五日 鶴岡米穀取引所理事長笹  
 原清吉宛 明治三十二年一月  
 一通 一六三

○  
 三拾一年度前半期用度決算調 大山支庫 理事  
 大滝直之助宛 明治三十二年六月  
 一通 一六二

○  
 三拾貳年度前半期収入決算調 大山支庫 理事  
 大滝直之助宛 明治三十二年六月  
 一通 一六一

自卅零年十二月九日 用度決算 大滝直之助 明治  
 至卅二年六月十九日 三十二年六月  
 一通 一六二

用度支拂高 三十二年自七月至十月 大山支庫  
 大滝直之助宛 明治三十二年一〇月  
 一通 一六一

記入費調記 大山倉庫係佐藤弥平治 鶴岡米穀取  
 引所理事大滝直之助宛 明治十九年十二月  
 一通 一六〇

大山支庫諸入費元金受取証 大滝直之助 鶴岡  
 米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治十九年十二月  
 一通 一五九

諸入費元入金支出書上 大山支庫 明治三〇年  
 七月  
 一通 一五八

諸入費請取証 大山倉庫佐藤弥平治 理事大滝直  
 之助宛 明治三〇年十一月  
 一通 一五七

諸入費之内金子請取証 佐藤弥平治 大滝直之  
 助宛 明治三二年一月  
 一通 一五六

諸入費之内金子請取証 佐藤弥平治 理事大滝  
 直之助宛 明治三一年二月  
 一通 一五五

諸入費元入金受取証 大滝直之助 鶴岡米穀取引  
 所宛 明治三二年六月  
 一通 一五四

諸入費元入金受取証(八月十七日仮払分) 大滝  
 直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治三二  
 年六月  
 一通 一五三

明治卅二年前半手当受取証 水口弥五兵衛  
 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治三二年六月  
 一通 一五二

諸入費殘金書出 自明治卅二年六月至十月 大滝  
 直之助 佐藤弥平治宛 明治卅二年一月  
 一通 一五一

諸入費・改装費支払過金書上 大滝直之助 鶴  
 岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治三二年一月  
 一通 一五〇

○  
卅年七月一日ヨリ手数料書上他 大山支庫大滝直之助 鶴岡米穀取引所宛 明治三〇年二月

一通 一六五

○  
大山支庫修繕費残額請取証 大滝直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治二九年二月  
改装費之内元入金受取証(繰替拂分) 大山支庫にて大滝直之助 鶴岡米穀取引所笹原清吉宛 明治三〇年一月

一通 一六四七  
一通 一六四九

証(大山支庫卅九年十一月ヨリ入米手数料領収)

○年七月 鶴岡米穀取引所 大山支庫大滝直之助宛 明治三〇年七月

一通 一六三

改装費元入金受取証(田中勘兵衛立替分) 大山支庫大滝直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治三一年一月

一通 一六五〇

○年七月

証(卅二年前半期分入米取扱手数料済方) 鶴岡米穀取引所 大山支庫宛 明治三二年六月

一通 一六三

改装費諸人費支拂帳 株式会社鶴岡米穀取引所大山支庫 明治三二年一月

一通 一六三六

### 改装

#### 改装・修繕費

二十九年十一月ヨリ改装料受取証 鶴岡米穀取引所 大山支庫大滝直之助宛 明治三〇年一月

一通 一六五

改装費之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥平治 大滝直之助宛 明治二九年二月

一通 一六七

改装料受取証 鶴岡米穀取引所理事長 大山支庫大滝直之助宛 明治三二年一月

一通 一六三

大山支庫事務所新築費之内金子受取証 大山町佐藤弥平治 鶴岡米穀取引所理事大滝直之助宛 明治三〇年一月

一通 一六七

大山倉庫修繕費之内金子請取証 大滝直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治二九年一月

一通 一六四

大山支庫事務所新築費残金受取証 大山支庫にて佐藤弥平治 鶴岡米穀取引所大滝直之助宛 明治三〇年一月

一通 一六八

明治二九年度大山支庫ニ於ケル改装費繰替金受取証 大山支庫にて大滝直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治二九年一月

一通 一六四

改装費之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥平治 大滝直之助宛 明治三〇年一月

一通 一六七

大山倉庫卸掛修繕費受取証 大滝直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治二九年一月

一通 一六六

改装料之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥平治 理事大滝直之助宛 明治三〇年二月

一通 一六七

改装費之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥平治 理事大滝直之助宛 明治三〇年二月	一通	一六七四	手数料・保険料受取証 鶴岡米穀取引所理事長 笹原清吉 大山支庫大滝直之助宛 明治三二年一 月	一通	一六三六
改装費之内金子受取証 佐藤弥平治 大滝直之 助宛 明治三〇年三月	一通	一六七五	倉敷保管料受取証 鶴岡米穀取引所 大山倉庫宛 七月一九日	一通	一六九一
改装費之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥平治 理事大滝直之助宛 明治三〇年四月	一通	一六七六	諸入費		
改装費之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥平治 取引所理事大滝直之助宛 明治三〇年六月	一通	一六七七	繩・鞘仕入金之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥 平治 大滝直之助宛 明治二九年二月	一通	一六八一
証(改装金之内金子請取) 佐藤弥平治 理事 大滝直之助宛 明治三一年一月	一通	一六九〇	繩・鞘仕入金之内金子請取証 大山倉庫佐藤 弥平治 理事大滝直之助宛 明治三〇年一月	一通	一六八二
○			繩・鞘仕入金之内金子請取証 大山倉庫佐藤弥 平治 理事大滝直之助宛 明治三〇年一月	一通	一六八三
臨時費之内経費受取証 大山倉庫佐藤弥平治 理事大滝直之助宛 明治三〇年一月	一通	一六八四	大繩・小繩他受取証文(酒田・鶴岡方送り分) 鶴岡室町倉庫役中村祐次郎 大山支庫宛 明治三〇 年九月	一通	一六八八
臨時費之内金子受取証 大山倉庫佐藤弥平治 理事大滝直之助宛 明治三〇年五月	一通	一六八五	大繩・鞘代金請取証 大山倉庫係佐藤弥平治 室 町倉庫係中村祐治朗宛 明治三〇年九月	一通	一六九三
臨時費之内廊下堀共大工作料書出 大山倉庫佐 藤弥平治 大滝直之助宛 六月二四日	一通	一六八六	繩サヤ出入調(明治三十一年・三十二年度)	一通	一六九〇
三十二年度改装品残物調 大山支庫大滝直之助 明治三一年一〇月	一通	一六三〇	入米諸調		
倉敷料			大山倉入米届 調査係佐藤弥平治 明治三〇年六 月	一通	一六八六
倉敷料受取証 鶴岡米穀取引所 大滝直之助宛 明治三一年一〇月	一通	一六三六	明治廿九年度入米及諸調(自二九年一月至三 〇年一〇月) 明治三〇年二月	一通	一六七七
大山・馬町倉庫借り料受取証 大滝直之助 鶴 岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治三一年一二 月	一通	一六五一	明治二九年度入米及諸調扣 自二九年一月至 一〇年一〇月	一通	一六九〇

明治二九年度入米及諸調(自二九年一月至三〇年一〇月) 大山倉庫係佐藤弥平治 鶴岡米穀取引所理事大滝直之助宛 明治三〇年一〇月	一通	一六八	差図式倉荷証書用紙受取高 自卅一年十一月至卅二年十月 大山支庫にて大滝直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治三二年一〇月	一通	一六五
明治廿九年度入米及諸調 自廿九年十一月 入庫証發行高他 大山倉庫係佐藤弥平治 鶴岡米穀取引所理事大滝直之助宛 明治三〇年一〇月	一通	一六九	米 券		
自卅一年十一月 入庫米惣石数調 明治三二年 至卅二年十一月	一通	一六七	倉庫保管米之内米券領収証 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉 大滝直之助宛 明治三〇年五月	一冊	一六三
自卅一年十一月 残米出庫調 明治三三年 至卅三年十一月	一通	一六八	倉荷証書用紙收納証 大山倉庫發行済圍収分共 鶴岡米穀取引所 大山倉庫大滝直之助宛 明治三一年一二月	一通	一六四〇
三拾一年度産米預り高 自三十二年十月 大山支庫 理事大滝直之助宛 明治三二年三月	一通	一六四	飯預倉荷証書受取証 鶴岡米穀取引所 大滝直之助宛 明治三二年一〇月	一通	一六四
三拾一年度産米預り高書上 大山支庫 理事大滝直之助宛 明治三二年六月	一通	一六五	式等・三等米券受取証 鶴岡米穀取引所 大山支庫宛 明治三二年六月	一通	一六六
三拾老年度産米預り正米返調書并諸入費受取書 大山支庫 大滝直之助宛 明治三二年一〇月	半帳 一冊	一六三	式等米券受取証 鶴岡米穀取引所 大山支庫宛 明治三二年六月	一通	一六七
三拾老年度産米預出入調 大山支庫 大滝直之助宛 明治三二年一二月	半帳 一冊	一六一	○		
倉庫証券			甲種倉荷証券用紙受取高 自卅一年十一月 大滝直之助 鶴岡米穀取引所理事長笹原清吉宛 明治三一年一二月	一通	一六四
指図式			飯請取証(式等玄米加茂送米トシテ) 室町倉庫中村祐次郎 理事大滝直之助宛 明治三二年四月	一通	一六九
指図式倉荷証書發行帳 株式会社鶴岡米穀取引所大山支庫 三二年一二月	半帳 一冊	一六七			
差図式倉庫荷書用紙受取証 鶴岡米穀取引所 大滝直之助宛 明治三二年一〇月	半帳 一冊	一六五			

高田麦村分

立会名主願

(高田麦村困窮ニ付立会名主申付方何書) 御預地元ノ御代官 辰(安政三年) 六月	一通	共
(高田麦村兼帯名主清助) 立会名主願 兼帯名主清助 川端御役所宛 辰(安政三年) 六月	一綴	七
(余目七ヶ村組之内高田麦村難渋ニ付立会名主申立書) 兼帯名主清助・取扱与治右衛門・名主平藏 御預地御役所宛 辰(安政六年) 六月	一綴	七
地盤立一件(地震)		
高田麦村前名主嘉兵衛代潰家数之覚 兼帯名主清助 川端御役所宛 辰(安政三年) 六月	一通	三
高田麦村潰屋鋪当時村立籠絵図 安政三年	一枚	四
高田麦村極窮地盤立助力方書上帳 兼帯名主清助他 川端御役所宛 辰(安政四年) 八月	一冊	二六九
高田麦村地盤立ニ付入方正立揚米出金取調書 兼帯名主清助・取扱名主与次右衛門・同名主平藏 川端御役所宛 安政三年八月	一冊	八
地盤立在法取計方何書并先例共 御預地御元ノ御代官 辰(安政三年) 六月	一綴	七
高田麦村極窮地盤立金凡見積調 辰(安政三年) 六月	一冊	八

高田麦村難渋小前御高反別書上帳 高田麦村兼帯深川村名主清助・立会木川村名主与治右衛門・立会町村名主平藏 御預地御役所宛 安政三年六月	一冊	七〇
高田麦村百姓六軒高反別調帳 高田麦村兼帯深川村名主清助・立会木川村名主与治右衛門・立会町村名主平藏 御預地御役所宛 安政三年六月	一冊	七
高田麦村人作高反別渡口明細帳 高田麦村兼帯深川村名主清助・立会木川村名主与治右衛門・立会町村名主平藏 御預地御役所宛 安政三年六月	一冊	七
借財方		
高田麦村借財役判小前取調帳 高田麦村兼帯名主清助・取扱人木川村名主与治右衛門・同町名主平藏 御預地御役所宛 安政三年六月	一冊	七
高田麦村借財取調書 兼帯名主清助・取扱与治右衛門・同名主平藏 川端御役所宛 安政三年八月	一冊	八二
高田麦村極窮借財濟方取調帳 高田麦村兼帯名主清助・取扱人木川村名主与治右衛門・同町村名主平藏 御預地川端御役所宛 安政三年八月	一冊	七
今度高田麦村地盤立ニ付与内金助成金并御田地質地代金を以濟方取調之覚 川端役所 名主佐藤平藏・木川村名主与次右衛門・深川村名主清助宛 安政四年一二月	一冊	二六五
高田麦村極窮地盤立助成金三ヶ度出金方御請印形差上帳 高田麦村兼帯名主清助他 川端御役所宛 辰(安政四年) 一二月	一冊	二六六
金納米売附代金請取証文 高田麦村名主多左衛門他取次 酒田六ノ丁尾関又兵衛取次勝次郎宛 安政二年一二月	一通	八六

高田麦村金納米買附渡方願 油屋又兵衛・年番  
 小田屋治右衛門 長浜又平・山田太右衛門・渡部久  
 右衛門宛 辰(安政三年) 四月 半帳 仮一冊 五

高田麦村金納米売附候一件懸合書状 金井国之  
 助・服部伊兵衛 安倍傳太夫宛 五月・一〇月 横長半 一冊 七

高田麦村金納米買入米一件立替之儀ニ付懸合  
 書状 宮坂敬藏・金井国之助 安倍傳太夫宛 一  
 月 横長半 仮一冊 八

戸口

家数・人数

人数寄

大山村家数人数惣寄帳 村手扣 久三郎・惣治  
 郎・幸五郎 川端御役所宛 弘化三年 半帳 一冊 三

大山村家数人数惣寄帳 村扣 役人代久三郎・  
 宗治郎・幸五郎・長三郎・役人安兵衛 弘化三年 半帳 一冊 二

○人数書上

大山村町々人数書上控帳 一八組 天保一五年  
 一〇月 横長半 一冊 一八〇三

大山村 鍛冶町・向町・染屋町・西町 十五才  
 大工町・粕塚・檢物町・本町 六十才迄 書 横長半 一冊 一七二

上覚 大山村役人代安兵衛・惣治郎・幸五郎・久  
 三郎・徳兵衛 辰一〇月(弘化元年カ)

大山村 安良町・轉目木町・新町・片町 十五才  
 七ツ町・浦町・木町・銅屋町 六十才迄 横長半 一冊 一七〇  
 書上帳 大山村役人代安兵衛・幸五郎・惣治郎・  
 久三郎・徳兵衛 辰一〇月(弘化元年カ)

故西郷組之内中野京新田村他六ヶ村高・人数  
 書上 明治八年三月 半帳 仮一冊 一七四

大山 藏多 宗旨人別御改帳 役人宗次郎・幸五郎・  
 長三郎・安兵衛 川端御役所宛 弘化二年 半帳 一冊 一五

人別送手形

人別送り手形之事 百性兵吉弟勇吾一家 仙台領  
 奥州登米郡赤生津村肝煎善右衛門 御領羽州大山村  
 御役人中宛 安政二年七月 一通 二五三

仙台領百性勇吾一家人別請合一札 鶴ヶ岡天神  
 町辻播磨 大山村御役人中 安政二年七月 一通 二五四

人別送手形之事(辰蔵縁組ニ付) 新興屋村肝煎  
 弥兵衛 大山本町年寄大滝直之助宛 慶応元年五月 一通 二五五

本町専之助養子跡式相続ニ付改名届書 専之助  
 親類長三郎・幸五郎・幸助 年寄三郎・名主与治兵  
 衛宛 安政二年二月 一通 二五三

土木・普請

川普請 ↓ 国役

用水

用水患水吐門樋

○目論見

田川郡 大山村・砂押村 用水患水吐門樋目論見願  
友江村・馬町村  
願帳 田川郡大山村名主善右衛門・同喜右衛門他  
天野市十郎大山御役所宛 宝曆二年一月

美帳 一冊 一三五

田川郡 大山村・砂押村 用水患水吐門樋目論見願  
友江村・馬町村  
帳写 田河郡大山村名主善右衛門他 天野市十郎大  
山御役所宛 宝曆二年一月

美帳 一冊 一三六

田河郡 大山村・砂押村 用水患水吐門樋目論見願  
友江村・馬町村  
帳 大山村扣 宝曆三年六月

半帳 一冊 一三七

出羽国田河郡 大山村・砂押村 水門樋伏替御普  
請大積帳 天野市十郎大山御役所御下知 宝曆三  
年六月

半帳 一冊 一三八

羽劬田河郡 大山村・砂押村 立会用水門樋目論  
見帳 天野市十郎大山御役所宛 宝曆六年九月

半帳 一冊 一三九

○立会用水

大山村・砂押村 立会押留中門樋朽損ニ付願書  
友江村・馬町村  
留帳 天野市十郎大山御役所宛 宝曆六年一〇月

半帳 一冊 一四〇

出羽国田河郡 大山村・砂押村 組合用患水吐門  
友江村・馬町村  
樋臥替御普請出未形帳 御預地川端御役所 寛  
政三年七月

美帳 一冊 一四一

羽劬田河郡 大山村・砂押村 立会用水門樋目論  
友江村・馬町村  
見帳 大山村他名主・年寄・組頭・百姓代・御預地  
御役所宛 寛政六年九月

半帳 一冊 一四二

羽州田川郡 大山村・砂押村 立会用水門樋目論  
友江村・馬町村  
見帳 組合控 寛政六年九月

美帳 一冊 一四三

出羽国田河郡 大山村・砂押村 組合 用患水吐門樋  
友江村・馬町村  
伏替御普請出未形帳 出羽国田川郡大山村 御預地  
御役所宛 寛政一〇年

美帳 一冊 一四四

○伏替

押廻用要水吐樋伏替御入用金割当分受取手形  
友江村長百姓又兵衛・組頭伝藏・名主八右衛門  
大山村年寄三郎 嘉永三年六月

一通 一四〇

京田通第二区大山村用水落水門新替伏替御普  
請積書上帳 大山村肝煎・杖突・年寄・戸長 酒  
田県參事松平親懷宛 明治七年七月

美帳 一冊 一四一

記(大堀水行并沼田水行普請諸入目金請取)  
石田屋助藏 御用所宛 三月十一日

一通 一四二

大山村新々田大塚落患水落水門大破ニ付新規  
御普請願

半帳 一冊 一四三

西浦惠水落大さらい願 浦町肝煎喜八・長人  
御役場宛 酉二月 一通 一〇三

分水

八沢用水分水場所絵図 大山役場 郡奉行山内  
善右衛門裏書 明和元年六月 一枚 一六三

水沢谷地新田開発ニ付柵木御居分水願 付札共  
柵屋村百姓代・長百姓・名主 川端御役所宛 酉九  
月(天保八年カ) 二通 一〇二

井戸

通り井戸調帳 横長半 一冊 三三四

畑田成井溝敷割 あら町分 半帳 一冊 六六

用水組人足

四ヶ組人足割平均帳 嘉永六年一月 半帳 一冊 二〇四

四ヶ組人足平均帳 安政五年一月 半帳 一冊 二〇五

用水組人足平均帳 文久三年一月 半帳 一冊 二〇六

用水組人足平均帳 元治元年一月 半帳 一冊 二〇七

四ヶ組人足平均帳 慶応二年一月 半帳 一冊 二〇八

用水組人足平均帳 慶応四年一月 半帳 一冊 二〇九

水門

○水門入用

押留上水門諸品総入用控牒 嘉永元年六月 横長半 一冊 三五九

押し割入用帳 慶応三年五月 半帳 一冊 三二

押留材木代金請取手形 中沢村山師治郎助 大  
滝直之助宛 未一〇月二二日 一通 一五七五

押上水門建替割金書出覚 割元 本町組宛 未  
十一月六日 一通 一五七〇

記(大山村 砂押村 押し上水門割入用書上) (明治)  
半帳 一冊 二三四

立替代金御貸渡願 庄内加茂浦伊勢屋久太郎 肝  
煎徳兵衛・同藤右衛門宛 未六月 一通 一五七六

立替代金御貸渡願 かも久太郎 徳兵衛・藤右衛  
門宛 六月一四日 一通 一五八三

記(のまた水門普請材木入用金請取) 中沢村  
治郎助 御役所衆中宛 戊七月 一通 一三九

和合水門伏替掛り入用覚 徳兵衛 大滝直之助  
宛 辰一月 一通 一〇六五

記(物左衛門落水門普請材木代金請取) 中  
沢村郎助 御役所衆中宛 戊七月 一通 二四〇

記(沼田水門并六明分作事料) 石田や助蔵  
御用分大工仁吉宛 戊一月 一通 二二三

新々田落水門戸六明割分書出覚 一通 一五九〇

堰・樋

新堰取建

大山入会押留用水ニ付新堰取建願 扣 馬町村  
肝煎九郎右衛門・清兵衛・長人 文政三年九月 一通 二〇〇

和合堰割入用帳 馬町・本町・あら町分 慶応三  
年五月 半帳 一冊 三三

新種入用覚 米出村 大滝直伎宛 未六月	一通	一〇六	(両組・新規新堰割金書出覚 わり元 本町組宛 未七月)	一通	一五七
(馬町村 割合普請ケ所取調書上) 中ノ橋・和合堰 (慶応年間カ)	一冊	三三	増水新堰割金書出覚 割元 本町組宛 未一月	一通	一五七
京田通大山村・友江村組合用水新堰掛樋御普請積書上帳 過水・馬町組入白山下并十王堂町橋脇掛樋共ニケ所 明治四年七月	一冊	三九	両組・押上他堰割金書出 割元 本町組宛 未二月	一通	一五七
堰普請入用代金請取手形 菱津村庄右衛門 堰守与惣右衛門宛 辰二二月	一通	一〇九	○		
覚(堰代金請取手形) 野興屋村堰守長治 大山六明宛 巳六月六日	一通	一〇六	下堰増築立ニ付諸雑用并新堰潰地損料割当取立願 長百姓甚助・肝煎庄兵衛 鈴木庄兵衛宛 申一月	一通	一六九
覚(本町分堰下代金請取手形) 広忠兵衛 ミ	一通	一〇四	覚(小樋・大樋普請入目書上) 漆嶋村与次兵衛 大山年寄三郎宛 巳七月	一通	一〇五
○			樋梁代金書出覚 次郎助 大滝直之助宛	一通	一五九
本町分堰下代米御勘定願 広恩寺 未二二月	一通	一五九	記(新堰損掛樋板代金ニ付)	一通	一〇七
人足差引勘定帳(堰普請)	一冊	四〇〇	夏堰掛諸入費取立願 論田村肝煎勘兵衛 漆嶋村樋守与次兵衛宛 未七月	一通	一五七
○鳥越分			秋堰割金書出 野興屋村 漆嶋村与次兵衛宛 未一二月	一通	一五七
新堰鳥越割金書出 割元 大山村・砂押村宛 未六月	一通	一五八	堤入用・単切減粉分拝借方書上覚	一通	一四九
鳥越山間夫堀抜追割金 友江村八右衛門方迄出金願 割元 大山村・砂押村宛 未八月一七日	一通	一五九	六明新田		
記(鳥越手直し分割当) 本町・荒町分	一通	一三三	○普請入用		
堰割金書出			記(六明新田堰普請入目銀請取) 野興屋村堰守長蔵 甲戌二二月(文化二二年カ)	一通	一三三
(押上・両組他堰割金書出覚) 割元 本町組宛 未五月	一通	一五四	六明樋式丁か、り扶持作料書出 大工仁吉 上様宛 未三月	一通	一七四
			六明樋式丁か、り扶持作料請取手形 大工仁吉 上様 未二二月	一通	一七六

明表他堰代金覚 漆嶋村与次兵衛 大山・六明宛 未七月 一通 一五九

夏堰割金書出 野興屋村 六明新田宛 未六月 一通 一五七

秋堰割六明新田当り取立願 論田村肝煎勘兵衛 漆嶋村樋守与次兵衛宛 未二月 一通 一五八

明表土形納 (六明樋人足引他) 一通 一三七

記(戊夏六明新田掛入用金取立願) 論田村肝煎佐藤勘兵衛 漆嶋村樋守与次兵衛宛 戊六月 一通 一三三

覚(明表并いた代金請取) 漆嶋村与次兵衛 大山六明新田宛 戊六月 一通 一三七

記(六明樋普請用明依御勘定書上) 杖突八右衛門 大山村御役人中宛 戊一〇月三〇日 一通 一三六

記(明表代金請取手形) 屋形村菅原庄次郎 大山組杖突本間八右衛門宛 戊一〇月二十九日 一通 一三九

記(六明分大工扶持作料代金請取) 大工仁吉 戊一月 一通 一二五

六明普請入用材木代金請取覚 中沢治郎助 大工仁吉宛 三月一日 一通 一〇九

記(六明新田入目出金方二付) 野興屋村五川堰守谷治 明治七年四月 一通 一二〇

記(六明樋酒并湯立購入目代金請取) 作兵衛 上苑 戊八月 一通 一二八

記(大山村六明新田落水門他川行御普請二付) 杖突多吉・同八右衛門 村々御役人中宛 戊九月 (明治七年之) 一通 一〇八

覚(樋板・敷板代金請取) 中沢村治郎助 大山御役人衆中宛 酉二月 一通 一〇六

覚(六明大工扶持作料・堰割代金他請取手形) 德兵衛 大滝直之助宛 巳一月 一通 一〇三

道 橋

道橋普請

新々田諸雜用作道人足代并六明新田道橋普請 長百姓三之丞・庄兵衛・肝煎与惣兵衛 田中安之丞宛 天保一五年二月 一通 三五七

京田通大山村町中橋之御普請積書上帳 大山村肝煎・杖突・割役・年寄連判加判佐藤順太 御郡奉行所宛 明治二年二月 半帳 一冊 三三八

借用申金子之事(中野橋懸掛入用金他) 水口紋兵衛 渡会格弥・田中太郎左衛門 亥八月 一通 一三三七

第一大区六小区大山村川橋堤防官自取調帳 明治八年二月 半帳 一冊 一三三

〇

京田通大山村・友江村組合御城下街道耳附上置御普請積書上帳 大山・友江村肝煎・羽田与次兵衛・大滝直之助・加判佐藤順太 御郡奉行所宛 慶応四年一月 半帳 一冊 一三五

京田通大山村・友江村組合十王堂町橋脇掛樋御普請書上帳 友江村・大山村肝煎・年寄・加判佐藤順太 御郡奉行所宛 明治二年二月 半帳 一冊 一三七

御普請賦課法之儀二付布達 鶴岡泉令三嶋通庸代理鶴岡泉七等出仕吉田清英 各戸長宛 明治八年一〇月 一通 一三三

最上川堤防費三間幅以上道路及ヒ赤川修繕費  
課出 鶴岡県令三嶋通庸代理鶴岡県七等出仕吉田  
清英 各戸長宛 明治八年一〇月

○その他

天保八年西四月中私領林崎村肝煎立会ニ而古  
川形相改候絵図面 天保八年

石方新田開発人足控帳 大山本町組頭徳兵衛  
弘化四年一〇月

大山組諸御普請出来目録 下小中村他一五か村  
肝煎 佐藤順太・同直次郎・大山村羽根田与次兵衛・  
大滝直之助宛 慶応二年一二月

石方雑用掛出金控 大滝相太郎 明治二年三月

新々田諸人費 掛樋・道橋人費(明治力)

石方出銭差引方願 徳兵衛 大滝直之助宛 未五  
月

困 穀

粉 蔵

御貯粉御用留

御貯粉御用留 弘化二年一二月

大山組粉方取締懸被仰付候ニ付諸扣 大年寄田  
中徳右衛門・年寄大滝清兵衛 天保一二年一二月

拝借粉金上納方御内意申上書 町々肝煎治郎左  
衛門他一一名 田中徳右衛門・大滝清三郎宛

一通 三三

一鋪 一六八

一冊 三九

一冊 三三

一冊 三六

一通 二七五

一通 一五二

一冊 五

一冊 二九三

一冊 九四三

(粉取扱人留主故取調方差延願状) 下小中村  
名主六郎右衛門 大山名主庄兵衛宛 四月一日

大山村備粉出石申出ニ付連印申上状 大山村  
丑九月

初代金粉之備之儀受印差出方申達状 川端役所  
大山村外八ヶ村名主宛 二月一日

奉拝借候金子之事 出羽国田川郡大山村納庄屋善  
六 庄内御役所宛 弘化四年一〇月

御米拝借証文之事 平内以下村中連印 嘉永五年  
一二月

御貯粉蔵新築入用

大山粉御蔵目論見帳 水口紋兵衛・田中八郎兵衛・  
佐藤善右衛門 御元ノ所御代官所宛 文化一四年二  
月

田川郡大山村粉御蔵目論見帳 水口弥兵衛・田  
中八郎兵衛・佐藤善右衛門 御元ノ所・御代官所宛  
天保一四年二月

御貯粉蔵今度新造建之図 村扣 大山三ヶ村同  
郷八ヶ村組合 嘉永六年六月

御貯粉蔵新造ニ付拝借金願 下書共 御預所下  
小中村長百姓甚右衛門・組頭治兵衛・名主治郎七他  
川端御役所宛 嘉永六年六月

大山三ヶ村 組合御貯粉蔵目論見帳 村扣 御預  
所羽州田川郡下小中村名主治郎七他 川端御役所宛  
嘉永六年六月

大山三ヶ村 組合御貯粉蔵目論見帳 下書 大山  
同郷八ヶ村 村長百姓權八郎喜兵衛組頭惣次郎・徳兵衛名主与次  
兵衛・長三郎他 川端御役所宛 嘉永六年六月

一通 九三

一通 三九

一通 一四〇

一通 五九

一通 五九

一冊 五

一冊 三

一枚 九

二通 三

一冊 八

一冊 九

一冊 九

大山三ヶ村 組合御貯糶蔵諸人用拝借出来形帳 同郷八ヶ村 川端御役所奥印 羽州田川郡下中村名主七郎七他 御預所川端御役所宛 嘉永六年一〇月 美大	一冊	五五	糶蔵(普請入用金請取) 二月七日 作兵衛 上様宛 戌	一通	二四九
糶蔵新規建諸人用貸渡方申渡証文 大山三ヶ村 他八ヶ村宛 丑九月	一通	六五〇	記(板材入用代金請取) 亥一月 中沢村治郎助 上様	一通	二二二
御金拝借証文(大山郷組合御糶蔵新規建諸人用)	一通	五三	石塚要蔵方大滝三郎・羽田与次兵衛宛書状 (糶蔵取建三付) 三月六日	一通	九四
修覆 入用			糶蔵賄入用		
糶蔵痛所入目覚 作兵衛 糶蔵懸御役人衆中宛 巳七月	一通	二〇六	八ヶ村糶蔵賄料覚 作兵衛 御割元衆中宛 辰一 二月	一通	二〇八
覚(御蔵開入用代金請取手形) 与惣右衛門 本町組御役人衆中宛 巳二月(弘化元年)	一通	八四	いつみや久七請取手形 いつみや久七 栃屋村 御役人中宛 辰二月	一通	二〇九
大工六人扶持作料覚 大工仁吉 上田作兵衛宛 巳七月	一通	二〇七	覚(御蔵片付人足賃他三付) 与惣右衛門 本町 組御役人衆中宛 辰二月	一通	二〇三
糶蔵普請手間代覚 作兵衛 糶蔵御役人衆宛 辰 十一月	一通	二〇七	覚(惣左衛門蔵入用代金請取) ミつはしや長 右衛門 大工仁吉宛 戌一〇月	一通	二二四
新糶蔵板背負雇人足賃請取手形 与惣右衛門 御役人衆中宛 辰二月	一通	二〇五	記(惣左衛門蔵入用金請取手形) ミつ橋屋長 右衛門 大工仁吉宛 亥二月	一通	二二六
糶蔵普請入用代金覚 布袋屋重兵衛 糶蔵御役人 衆中宛 辰二月	一通	二〇六	金子請取覚 傳吉 久七宛 辰二月二七日	一通	二〇九
糶蔵大工賃請取覚 大工仁吉 上田作兵衛宛 辰 十一月	一通	二〇二	記(糶蔵困入費請取三付) 小林七右衛門 大 滝直伎宛 戌四月	一通	二二四
覚(糶蔵修覆材木代金請取手形) 中沢村治郎 助 大山大工仁吉宛 巳七月	一通	二〇三	記(糶蔵掛入目さし引御改) 為平 大滝直伎 宛 亥一月五日	一通	二二五
もみくら門かゝり大工扶持作料書出覚 大工仁 吉 上様宛 未九月	一通	一五六	糶蔵直し雇人足賃請取手形 与惣右衛門 御役 人衆中宛 辰二月	一通	二〇四
記(もみ蔵大工作料請取) 大工仁吉 上様宛 戌一月	一通	二二〇	記(割当并糶蔵掛金改方) 為兵衛 大滝直伎 宛 戌四月二日	一通	二四四

○ 粉方入用

粉方諸雜用代書上覚 左兵衛 田中徳右衛門宛  
とら五月 一通 六四

粉方入用覚 布袋屋金兵衛 大滝清三郎宛 寅四  
月 一通 六四

御蔵積入粉

大山御蔵積入粉書上帳 長百姓弥左衛門・名主  
庄兵衛・年寄大滝清三郎他 御元ノ所・御代官所宛  
文政一〇年四月 一冊 六三

大山御蔵積入粉書上帳 水口紋兵衛・田中八郎  
兵衛他 御代官所宛 文政一三年閏三月 一冊 六四

大山御蔵積入粉書上帳 長百姓八郎治・田中三  
郎治・名主庄兵衛・年寄大滝清三郎他 御代官所宛  
天保四年三月 一冊 六三

卯四月廿日粉米積入分書上 天保一四年四月 一通 六六

蔵入粉書上小前帳 名主俊二・庄兵衛 天保一三  
年六月 一通 六六

○

粉積立仕法扣 長百姓・組頭・名主・年寄 川端  
御役所宛 (天保九年カ) 一通 六九

覚(御私領方御下穀之内去寅年分正有粉改)  
天保一四年一月 一冊 六五

覚(八ヶ村納之内粉蔵方移シ本町蔵ニ入分)  
(天保一四年) 一通 六六

不足粉積立仕法 (弘化三年カ) 一通 六九

粉蔵改図

粉蔵改図(西戌古粉・新粉積立改) 天保一二年  
二月二日 一通 六三

粉蔵之図(単切・大単切・積立改) 掛り田中徳右  
衛門・同大滝清三郎・田中安之丞・羽根田善右衛門  
天保一三年一月二日 一通 六四

粉蔵之図(古粉・新粉積立改) 天保一三年二月  
二日 一通 六五

貯粉蔵辰詰戻粉積立之図 弘化二年六月五日  
貯粉蔵積改之図 安兵衛・長三郎・惣次郎 弘化  
二年二月二日 二通 六六

貯粉蔵改図(大山郷八ヶ村午未詰戻・大山村年賦  
詰戻分) 扣 大山村年寄三郎・名主善六他組頭・長  
百姓連印 弘化三年二月二日 一通 六六

貯粉蔵改図(大山村八ヶ村先納分・代金備之分)  
扣 大山村年寄三郎・名主長三郎・組頭・長百姓連  
印 嘉永元年二月二日 一通 六九

貯粉蔵改図(八ヶ村大山村先納分・代金備之分) 大  
山村年寄三郎・名主長三郎・組頭・長百姓連印 嘉  
永二年二月二日 一通 七〇

貯粉蔵改図(大山村先納分・代金備分) 大山村年  
寄三郎・名主長三郎・組頭・長百姓連印 嘉永三年  
二月二日 一通 七一

御貯粉蔵改図(大山村八ヶ村先納分・代金備分)  
大山村年寄三郎・名主長三郎・組頭・長百姓連印  
嘉永四年二月一日 一通 七二

貯粉蔵改図(大山八ヶ村先納分・代金備分) 大  
山村名主長三郎・組頭・長百姓 嘉永五年二月一  
五日 一通 七三

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・代金備分) 大山村名主長三郎・組頭・長百姓連印 嘉永五年二月一五日 一通 七〇四

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・代金備分) 大山村年寄三郎・名主与次兵衛・組頭・長百姓連印 嘉永六年二月一四日 一通 七〇五

新貯初藏積立図 大山村年寄三郎・名主与次兵衛・組頭・長百姓連印 嘉永七年二月一四日 一通 七〇六

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新貯初藏江正初直シ・代金備分) 大山村年寄三郎・名主与次兵衛・組頭・長百姓連印 嘉永七年二月一四日 一通 七〇七

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏正米直シ・代金備分) 大山村年寄大滝三郎・名主与次兵衛・組頭・長百姓連印 安政二年二月一四日 一通 七〇八

新貯初藏御積之図 大山村年寄大滝三郎・名主与次兵衛・組頭・長百姓連印 安政二年二月一四日 一通 七〇九

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏江正初直シ・代金備分) 大山村年寄大滝三郎・名主与次兵衛・組頭・長百姓連印 安政三年二月一四日 一通 七一〇

新藏積立図 大山村年寄大滝三郎・名主与次兵衛・組頭・長百姓連印 安政三年二月一四日 一通 七一一

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏江正初直シ・代金備分) 大山村年寄大滝三郎・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 安政四年二月一四日 一通 七一二

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏江正初直・代金備之分) 大山村年寄大滝三郎・同直之助・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 安政五年二月 一通 七一三

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏江正初直・代金備之分) 大山村年寄大滝三郎・同大滝直之助・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 安政六年二月一四日 一通 七一四

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏江正初直分) 年寄大滝三郎・大滝直之助・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 万延元年二月一四日 一通 七一五

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏江正初直分) 年寄大滝直之助・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 文久二年二月一四日 一通 七一六

貯初藏改図(大山村八ヶ村先納・新藏江正初直分) 年寄大滝直之助・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 文久三年二月一四日 一通 七一七

新藏初積立改 年寄大滝直之助・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 文久二年二月一四日 一通 七一八

新藏初積立改 年寄大滝直之助・名主羽根田与次兵衛・組頭・長百姓連印 文久三年二月一四日 一通 七一九

新藏積立改 元治元年二月一〇日 貯初藏積立図 寅五月八日改 一通 七二〇

貯 初

貯 初 調

初藏俵数積直シ改 天保一一年一月 一通 六九二

(大山村御貯初藏詰分取調書) 役所当番 水口弥兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一二年 一冊 三六

町々取立金粉積立覚 羽根田喜右衛門 初懸り田中徳右衛門・大滝清三郎宛 寅(天保一三年)三月	一通	二六四	古粉積立之内取出し御改調 辰四月	一通	一〇七
(余目村々御貯穀有粉改方願) 余目七ヶ村年番名主与吉 天保一四年正月	一通	六四	大山村郷蔵詰 大山村并同郷八ヶ村組合 戊二二月	一通	七六
午十二月十日初改 弘化三年二月	一通	一四三	覚(立替初改) 寅二月	一通	一三九
御貯初御蔵詰不足相立候ニ付取調積立仕法奉願候書付 不足粉積立仕法共 年寄三郎他 川端御役所宛 弘化三年二月	一冊	一〇二	御救粉		
粉調 午(弘化三年カ)	一通	一四一	下ヶ穀(御手擬被下米) 配当		
(粉直之儀代金備願立一件願書) 当御預所羽州田川郡栲屋村他組合村々連印 川端御役所宛 文久元年二月	一通	一〇七	覚(御手擬被下米御役所方御割賦写) 大山村・砂押村 (天保一〇年) 一〇月	一通	三〇三
出月積立仕立ニ付御改願書状 紋兵衛 三月二六日	一通	三三五	当亥違作ニ付御手擬被下米配当割賦帳 本町組 天保一〇年二月	一冊	二九五
覚(新古粉貯穀分書上) 大山村 御出役衆中宛 寅一月	一通	七三	当亥違作ニ付御手擬被下米配当割賦帳 本町組 預り丹波興屋村 天保一〇年十一月	一冊	二五六
記(三月一日粉積立ニ付贈入目書上) 作兵衛 大滝直伎宛 亥正月	一通	二二七	亥年落作ニ付御手擬被下米配当仕訳書 大山村長百姓専之助・石井源右衛門・名主俊治・鈴木庄兵衛 水口紋兵衛・田中安兵衛・羽根田庄右衛門宛 亥(天保一〇年) 一一月	一通	二九
○有 粉 調			○		
子十一月廿二日改候節正有粉 羽根田喜右衛門御代官所宛 子(天保一二年) 一一月	一冊	三七	拝借米千俵大山村々配当仕訳書(天保一〇年) 一一月	一通	三〇〇
(丑納本御貯粉大山村ニ正有粉書上) (天保一二年)	一冊	三九	(大山郷八ヶ村下ヶ穀・貯穀有粉改方願) 大山郷八ヶ村年番名主清兵衛・大山村三役人 大貫次右衛門様大山仮御役所宛 天保一四年二月	一通	七六
(大山村正有粉書上) (天保一二年カ)	一冊	三〇	(貯粉下穀取調覚) 丑(天保一四年) 二月	一冊	六二
子十一月廿二日改候節正有粉書上覚(大山郷蔵詰分) 羽根田喜右衛門 天保一三年二月	一冊	二六七			

御預所御下穀粉并百姓出穀粉未春迄郷藏預御  
請書 西野山村名主利左衛門他七ヶ村役人 石塚  
要藏宛 弘化三年二月 半帳 一冊 一〇三

酒井左衛門尉様方御下ヶ穀貯粉之内拝借寛  
横長半 飯一冊 二五七

取立

御貯粉代金町々取立仕訳帳 羽田喜右衛門 天  
保一一年二月 横長半 一冊 二六八

(粉金差上証文) 新町肝煎勘三郎 御役人中宛  
弘化二年二月 一冊 二六六

午十二月粉取立 午(弘化三年)  
横長半 一冊 一四九

粉金(町々貸付粉代金年賦取立入金等)  
横長半 一冊 九四六

○

覚(大山手傳粉濟方) 八ヶ村組年番名主六郎右  
衛門 大山御役人衆中宛 辰四月 一冊 九三九

大山町々救金引残粉金正拝借寛  
横長半 飯一冊 九四七

粉買入扣 あら町百姓他  
一冊 二〇九〇

御救願

片町半六郎病氣難洪三付御救米願 片町願人半  
六郎 年寄三郎・名主与次兵衛宛 寅七月 一通 七四七

銅屋村御救米拝借願書 願主勘四郎他三役人 大  
滝三郎・大滝直之助・羽根田与治兵衛宛 未九月 横長半 一冊 二九七

覚(御救米人数書上) 未九月 一通 二九六

金子民弥方田中徳右衛門宛書状(御拝借米願)  
六月(天保一二年九) 一通 二三三

役所当番方金子民弥宛書状(大山郷貸方之儀二  
付) 七月(天保一二年九) 一通 一三三

御拝借米書上

大山村備粉出石小前書上帳 御役所江書上之扣  
水口紋兵衛・田中八郎兵衛 佐藤善右衛門 御元  
所・御代官所宛 文化一四年九月 横長美 一冊 四〇三

覚(天保五年大山村出穀粉御役所方拝借仕写)  
天保一二年二月 三通 二五四

天保四年巳十月拝借分御粉拝借小前仕訳帳 木  
町・七ツ町 長人幸五郎・長三郎・名主俊司・庄兵  
衛 御預地御役所宛 寅(天保一三年)三月 横長美 一冊 二七六

粉拝借小前仕訳帳 粕塚町 長人長作・同権九郎・  
名主俊治他 寅(天保一三年)三月 横長美 一通 二七七

御粉拝借小前帳 檢物町・大工町 長人三郎兵衛・  
肝煎・名主俊司 御預地御役所宛 寅(天保一二年)  
三月 横長美 一冊 二七六

御粉拝借小前仕訳帳 轉目木町 肝煎孫左衛門・  
名主俊治・庄兵衛 卯(天保一四年)三月 横長美 一冊 二七九

御粉拝借小前仕訳帳 あら町 肝煎治郎左衛門・  
名主俊治・庄兵衛 御預地御役所宛 (天保一三年) 横長美 一冊 二八〇

御粉拝借小前帳 本町米出 名主俊治・庄兵衛  
寅(天保一三年)三月 横長美 一冊 二八一

御粉小前調帳 あら町組百姓 あら町組百姓代勘  
三郎・喜兵衛・名主俊治・庄兵衛 御預地御役所宛  
天保一三年三月 横長美 一冊 二八三

○

大山村御貯粉御蔵詰并拝借粉書上帳 長百姓与  
治兵衛 天保一二年六月 半帳 一冊 七

大山村御貯粉御蔵詰并拝借粉書上帳 長百姓与治兵衛・名主・年寄・惣代 御預地御役所宛 天保一三年六月	半帳	一冊	二五	天保四年已十一月御困粉金大山町々江貸渡方調帳 (天保四年已十月初金酒屋江預ヶ置分共大山町々人別割渡之覚) 天保一二年一月	横長美	一冊	二七〇
大山村御貯粉御蔵詰并拝借粉書上帳 長百姓・年寄・惣代名主・大年寄 御預地御役所宛 天保一三年六月	美帳	一冊	二三	公儀方御下穀之内貸付方調 天保一二年	半帳	一冊	一七三
大山村御貯粉御蔵詰并拝借粉書上帳 下書 長百姓・名主・年寄 御預地御役所宛 天保一三年六月	半帳	一冊	三七	御下穀之内貸付方調 [名主] 羽根田へ遣ス 天保一三年二月	半帳	一冊	一七三
御貯粉御蔵詰并拝借粉書上帳 下小中村・友江・柳原新田他九ヶ村三役人 大貫次右衛門手代加藤慎五郎宛 天保一三年一二月	半帳	一冊	九	御本領より御下穀御蔵詰之内貸付方調	半帳	一冊	一七四
○ 覚(下川村拝借粉高書上) 下川重内 天保一三年二月	一通	一冊	九三	覚(本御貯粉并色々貸付粉書上) (天保一二年カ)	横長半	一冊	三三
覚(八ヶ村組合拝借粉書上) 大山郷八ヶ村組合名主清兵衛 名主庄兵衛・俊治宛 卯(天保一四年)三月	一通	一冊	九〇	御預地郡中備金貸方明細帳 年番・惣代 大山惣代宛 天保一三年一月	横長半	一冊	二九七
覚(八ヶ村組拝借高書上) 卯(天保一四年)四月	一通	一冊	九三	御貯粉年賦仕訳帳 喜右衛門・親類・与治兵衛御預地御役所宛 天保一三年六月	横長美	一冊	二七三
御救米町々人数改帳 嘉永三年一月	横長半	一冊	二九	御貯粉年賦仕訳帳 大山鍛冶町紋兵衛・親類紋助・紋右衛門 御預地御役所宛 天保一三年三月	一通	一冊	二七四
貸付方調				大山村方拝借粉覚 大山村長百姓四郎右衛門・専之助 寅(天保一三年)六月	一通	一冊	二七五
覚(御困粉貸付方調) 天保九年	半帳	一冊	一七三	本町制当分粉金拝借高相違ニ付口上書覚 大山町々肝煎孫左衛門・丹治郎・善右衛門 粉懸り田中徳右衛門・同大滝清三郎宛 寅(天保一三年)二月	横長美	一冊	二六三
御困粉并貸付方調 天保一二年	半帳	一冊	一七〇	○ 天保四年已大凶作町々救方割合 (以内々平瀬林右衛門宅迄為見候書付之写) 天保四年	横長半	一冊	九四三
御貯粉年賦貸付調覚 天保一二年閏正月	半帳	一冊	二七	大山村御困粉年賦調帳 弘化二年九月	半帳	一冊	一〇〇

拝借証文

初諸方へ貸付証文取合式拾通入 天保一三年二月改

御貯初代金拝借仕候証文 栃屋村百姓代・五人組頭・長百姓・名主 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五七五

御貯初代金拝借証文之事 本町組百姓惣名代・長百姓・名主 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五七九

御貯初代金拝借証文之事 安良町百姓惣名代・長百姓・名主 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 子(天保一一年一二月)

一通 五八〇

御貯初代金拝借仕候証文之事 あら町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八一

御貯初代金拝借証文之事 本町組頭・長人・名主 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八二

御貯初代金拝借仕候証文之事 銅屋町・片町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八三

御貯初代金拝借仕候証文之事 大工町・檜物町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八四

御貯初代金拝借仕候証文之事 木町・七ツ町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八五

御貯初代金拝借仕候証文之事 轉木町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八六

御貯初代金拝借仕候証文之事 裏町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八七

御貯初代金拝借仕候証文之事 向町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八八

御貯初代金拝借仕候証文之事 染屋町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五八九

御貯初代金拝借仕候証文之事 新町五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五九〇

御貯初代金拝借仕候証文之事 柏塚村五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五九一

御貯初代金拝借仕候証文之事 米田村五人組頭・長人・肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一二月

一通 五九二

○

覚(拝借初請取証文) 下小中村他六ヶ村長百姓・組頭・名主・田中安兵衛・水口紋兵衛 田中徳右衛門・大滝清三郎宛 寅(天保一三年)五月

一通 五九三

覚(拝借初請取証文) 下小中村他長百姓・組頭・名主 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一二年六月

一通 五七六

子十月差引書覚(拝借米) 糸屋伊右衛門 大滝直之助宛 子一〇月

一通 一四九六

蔵米請取

御蔵米請取手形 友江村江貸付米 阿良町組 鈴木庄兵衛宛 天保一一年三月

一通 八七七

由利郡拝借初代米代請取ニ付手形差出願 水口紋兵衛 田中徳右衛門・大滝清三郎宛 丑(天保一二年) 二月  
一通 九七

覚(大山町々拝借粉金請取方ニ付) 大山町々肝煎 卯年  
横長半  
一冊 九四

覚(本町御蔵米受取手形) 市次郎 米出甚四郎宛 巳(二月)  
一通 六三

返納粉

御備初拝借十ヶ年賦返納願 町長八郎他肝煎・名主 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一月  
一通 七三

御備初拝借十ヶ年賦返納願 米出村長人三之丞・肝煎与惣兵衛 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一月  
一通 七三

御備初拝借十ヶ年賦返納願 栃屋村百姓代・長百姓・名主 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一月  
一通 七四

御備初拝借十ヶ年賦返納願 御代官所宛役人裏印 荒町・木町・本町・新町・裏町・向町・轉目木・染屋町・銅屋町・鍛冶町・粕塚町・大工町長人肝煎連印 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一月  
一通 七五

御備初拝借十ヶ年賦返納願 六ヶ町分 轉目木・染屋・裏町・銅屋町・向町・粕塚町肝煎長人連印 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一月  
一通 七三

御備初拝借十ヶ年賦返納願 安良・新・木・七ヶ町肝煎 水口紋兵衛・羽根田喜右衛門・田中安兵衛宛 天保一一年一月  
一通 七三

返納初代米拝借証文 栃屋村百姓代・長百姓・名主 羽根田喜右衛門宛 天保一二年六月  
一通 五七

返納初代米拝借証文之事 友江村百姓代・長百姓・組頭・名主 羽根田喜右衛門宛 天保一二年六月  
一通 五七

去寅二月初返納粉蔵積覚 八ヶ村組合分 天保一三年一月  
一通 九二

返納粉不足分村方粉納之節御立替願 八ヶ村組年番名主清兵衛 名主庄兵衛宛 卯三月(天保一四年)  
一通 九三

大山村組合粉蔵百姓出穀貯粉夫食拝借年賦返納御請書 羽州田川郡大山村他八ヶ村・由利郡村々 大貫次右衛門様大山御役所宛 天保一五年正月  
半帳  
一通 九

大山村返納粉扣帳 米出村他 天保一五年二月  
横長美  
一通 二五三

已返納粉取調帳 (田中) 安兵衛 弘化二年二月  
半帳  
一通 六〇

覚(大山町・由利郡村々返納分粉書上) 大山村 辰四月  
一通 一四九

覚(八ヶ村返納之分書上) 巳年  
一通 九四

去辰年返納粉 大山村役人 栃屋村御役人中宛 巳六月  
一通 九四

去卯返納粉指引改書 年番名主六郎右衛門 大山御役人中宛 辰四月  
一通 九八

覚(拝借粉返納粉蔵積ニ付) 年番名主重内 田中八郎兵衛・大滝清三郎・世話方金兵衛宛 寅(天保一三年) 二月  
一通 九三

大山村当年賦返納粉 口訳  
一通 一三七

救金余り之分預り候ニ付返済之差引写 水口紋兵衛 安良組墨井覺兵衛宛 天保四年二月  
一通 九三

大山村新町分保出金割合(明治)

半帳 仮一冊 一七六

運輸

荷物継送

馬士出入

諸荷物大山驛場ニ而繼立送方願書 名主・年寄・組頭奥書 大山村馬士年番・問屋連名 御預地御役所宛 文化一〇年一〇月

一通 一三三

御預所大山村御私領加茂村右両村馬士共商荷物継送之儀及爭論候處熟談内済為取替帳 扣共 加茂村惣代組頭・肝煎・年寄・大山村中惣代問屋・長百姓・組頭・内済取扱人錠持亥八郎奥書 文化一〇年一〇月

美帳 二冊 一三四

秋野仲右衛門・小松彦四郎連名書状(大山馬士共加茂山草茹一件三付) 鈴木庄兵衛宛 五月一日(文化一〇年)

一通 一三六

かも秋野仲右衛門殿・小松彦四郎殿兩人へさし遣候書状之写 秋野仲右衛門・小松彦四郎 五月一六日(文化一〇年)

一通 一三九

秋野仲右衛門・小松彦四郎連名書状(大山馬士共加茂山草茹一件并請山貸渡願) 鈴木庄兵衛宛 五月一九日(文化一〇年)

一通 一三七

加茂大山馬士共爭論一件ニ付永久無事之御仕法御定方願 大山馬士年番・宿問屋 鈴木庄兵衛・名主俊治宛 戊(文化一〇年) 九月

一通 一三五

覚(加茂・大山馬士共荷物継立出入一件下書)(文化一〇年九)

一通 一三八

覚(大山繼立荷物書上) (文化一〇年九)

一通 一三〇

馬士一件十ヶ年季之定故年季明為取替書ニ付請書状 田中八郎兵衛扣 文政五年

一通 一三三

内熟済口為取替手形之事(加茂・大山馬士共府送荷物之儀) 加茂村肝煎・大長人 大山年寄・名主宛 天保七年一〇月

一通 一三三

大山・加茂両村荷物継立之儀ニ付御請書扣(天保七年九)

一通 一三四

御料大山村御私領加茂村右両村馬士共商荷物継送之儀文化十四年六月天保十三寅年迄爭論右一件両村願書并熟和為取替之写 大山村 天保一四年八月

半帳 一冊 一三〇

大山村馬士方願ニ付取扱内熟取極書 友江村百姓惣代・長人・添訳・肝煎 大山村御役人宛 慶応二年六月

二通 七四〇

問屋藤右衛門・才吉兩人荷物取扱方混合ニ付取極念書 問屋才吉・藤右衛門・馬士惣代 村御役人宛 慶応三年一二月

一通 七四〇

馬士拜借米代納請取扣 弘化三年五月

半帳 一冊 一三九

馬

馬市

(本町馬市出御判願扣) 弘化二年七月

横長半 一冊 一三五

本町馬市出御判願扣 弘化三年七月

横長半 一冊 一三六

出御判申下候事 御預地大山村馬宿 川端御役所宛 午七月 一通 二七四

市馬売買

大山村市馬賣買代金書上帳年々扣 大山村 弘化二年七月 横長半 一冊 三三四

大山村馬売買代金書上帳 馬宿三五郎・善藏・大山村役人安兵衛 川端御役所宛 弘化二年七月 横長半 一冊 三三四

大山村馬市売買代金書上帳 馬宿 名主・年寄 連署 川端御役所宛 弘化四年七月 横長半 一冊 三三三

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿勘兵衛・三五郎・名主・年寄 川端御役所宛 嘉永元年七月 横長半 一冊 三三五

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 嘉永二年七月 横長半 一冊 三三六

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 嘉永三年七月 横長半 一冊 三三七

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 嘉永四年七月 横長半 一冊 三三八

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 嘉永五年七月 横長半 一冊 三三九

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿・名主与治兵衛 川端御役所宛 嘉永六年七月 横長半 一冊 三三〇

大山村市馬売買代金書上帳 (村渡分) 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 嘉永七年七月 横長半 一冊 三三一

大山村市馬売買代金書上帳 包紙共 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 安政二年七月 横長半 一冊 三三三

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 安政二年七月 横長半 一冊 三三三

大山村市馬売買代金書上帳 馬宿・名主・年寄 川端御役所宛 安政五年七月 横長半 一冊 三三四

御役錢

覚(女馬代金御役錢改) 卯(安政二年九) 一通 二一九

女馬代金御役錢改扣 安政四年七月 一通 二二〇

覚(女馬代金御役錢書上) 酉(文久元年九) 七月 一通 二二〇

覚(女馬代金御役錢書上) 文久二年七月 一通 二二〇

覚(女馬代金御役錢書上) (文久三年一月一日渡) 文久三年七月 一通 二二〇

覚(女馬代金御役錢書上) 酒井家番所江馬切手願書写 願人百姓庄九郎 会田伊右衛門大山御役所宛 明和三年五月、明和七年 一通 二二二

寺社

梶尾神社

社務

日勤簿 縣社梶尾神社社務所 明治二六年五月 半帳 一冊 二二三

日勤簿 明治二九年五月 一通 二二七

縣社梶尾神社旧境内上地官林下戻申請事件日誌 縣社梶尾神社社務所 明治三二年八月 半帳 一冊 二七九

縣社社司撰拵之儀ニ付願 (社司死去ニ付社掌菅原淑人推拵願) 縣社梶尾神社氏子惣代木村九兵衛他 山形県知事木下周一宛 明治二八年五月 一通 二七四

縣社社掌撰拵之儀ニ付願 氏子惣代木村九兵衛他 山形県知事木下周一宛 明治二八年五月 一通 二七五

社掌員數之儀ニ付願 梶尾神社々掌菅原淑人他 山形県知事木下周一宛 明治二八年五月 一通 二七六

會 計

梶尾社御寄附金受取申手形之事 願主宮野薩摩正 大山本町御役人衆中宛 弘化四年一二月 一通 二〇七

松尾社造替御寄附金請取覽 宮主成就院并世話方 本町御組方宛 嘉永五年九月 一通 二〇八

本社拝殿修繕費 明治二四年九月 半帳 一冊 一七〇

拝殿瓦葺棟修繕費 明治二五年四月 半帳 一冊 一七四

臨時費 (氏神祭禮費) 明治二五年三月 半帳 一冊 一七五

縣社梶尾神社御與渡ニ付有志金人名並支拂精算報告 梶尾社惣代人加藤長三郎・大滝直之助 大滝直之助宛 明治三二年九月 半・四半帳 一冊 二三六

○

受取証 (大麻作料代金) 宮大工魚住九右衛門 梶尾神社々務所宛 明治二四年九月 一通 二三三

大麻調製料代金受取証 宮野直憲 縣社梶尾神社會計御掛宛 明治二四年九月 一通 二三七

○ 祭 典 費

秋季皇靈祭・神嘗祭・天長節他諸祭典費書上 明治一四年九月〜明治一五年三月 半帳 一冊 一七〇

秋・春祭典費 明治一四年・一五年 半帳 一冊 一七〇

保 存 會

自廿二年十月 梶尾神社保存會利子調 明治二至廿三年十二月 半帳 一冊 二六九

明治廿年ヨリ梶尾神社永代保存會積立ニ付諸費報告 明治三二年一二月 一通 二三五

杉尾神社永代保存會報告并貸付金調 明治三二年一二月 一通 二三四

商議員會議費 (氏子惣代) 明治二四年九月 半帳 一冊 一七〇

縣社梶尾神社保存會不動產台帳 會計懸 明治二五年七月 半帳 一冊 二七一

○

縣社梶尾神社管理社會計懸及氏子主立臨時會出席簿 明治二五年 半帳 一冊 二七二

縣社梶尾神社通常會席ニ於テ投標 明治二五年七月 半帳 一冊 二八二

縣社梶尾神社保存會商議員半數改撰ニ付抽籤ヲ以テ定 留退任者名簿添 明治二六年八月 半帳 一冊 二八三

商議員銘并縣社梶尾神社保存會鑑督者銘 明治二六年 半帳 一冊 二八四

梶尾神社保存會商議員半數改撰ニ付撰拵通知狀并抽籤定 南 管理者木村九兵衛代理會計長大滝直之助 明治二七年四月 半帳 一冊 二八六

梶尾神社保存会商議員半数改撰ニ付撰拳通知  
状特 管理者木村九兵衛代理會計長大滝直之助  
明治二七年四月 半帳 仮一冊 一三三七

縣社梶尾神社保存会商議員半数改撰ニ付通知  
状扣 大山部 管理者木村九兵衛代理會計長大滝  
直之助 明治二七年四月 半帳 仮一冊 一三〇七

縣社梶尾神社保存会商議員半数改撰ニ付通知  
状扣 北部 管理者木村九兵衛代理會計長大滝直  
之助 明治二七年四月 半帳 仮一冊 一七〇八

梶尾神社保存会本証発行台帳 明治二七年八月  
委任状 (県社梶尾神社通常會議) 加藤儀三郎他  
七名 明治二七年八月 半帳 仮一冊 一三二五

代理委任状 (県社梶尾神社保存会通常會議)  
大滝竜弥他八名 明治二八年一月 半帳 仮一冊 一三二六

委任状 (縣社梶尾神社保存通常會議代理) 案文  
明治三〇年 半帳 仮一冊 一三四一

縣社梶尾神社保存会商議員半数改撰ニ付留退  
任者名簿他 明治三二年四月 半帳 一冊 一三六〇

委任状 (縣社梶尾神社保存会通常會議代理) 小  
林藤助他五名 明治三二年四月 半帳 仮一冊 一三四〇

承諾書 (梶尾神社保存会商議補欠員ニ付) 柴田  
三郎兵衛 撰拳掛長社司菅原淑人宛 明治三二年四  
月 一通 一三三七

承諾書 (梶尾神社保存会商議補欠員ニ付) 高橋  
喜兵衛 菅原淑人宛 明治三二年四月 一通 一三三六

承諾書 (梶尾神社保存会商議補欠員当撰ニ付)  
補欠員鈴木才吉 社司菅原淑人宛 明治三二年四月  
一通 一三三九

承諾書 (梶尾神社保存会商議補欠員当撰ニ付)  
太田伊三郎 社司菅原淑人宛 明治三二年四月  
一通 一三三〇

承諾書 (梶尾神社保存会商議補欠員当撰ニ付)  
安在与惣兵衛 菅原淑人宛 明治三二年四月 一通 一三三一

承諾書 (県社梶尾神社保存会商議補欠員当撰ニ付)  
佐藤長八 菅原淑人宛 明治三二年四月 一通 一三三二

承諾書 (県社梶尾神社保存会商議補欠員当撰ニ付)  
五十嵐宇右衛門 菅原淑人宛 明治三二年五月  
縣社梶尾神社商議員人名簿 特別名譽會員名簿  
共 半帳 一冊 一三三三

縣社梶尾保存会商議半数改撰 明治三二年四月  
一通 一三三〇

太々神楽  
梶尾神社太々御神楽人名調 明治二六年八月 半帳 一冊 一三六一

太々神楽案内状他費用請取証文 大滝直之助  
杉尾神社保存会會計宛 明治二四年九月 一通 一三二九

太々神楽費受取証文 打田広記 梶尾社会計掛  
宛 明治二四年九月 一通 一三三〇

記(太々神楽半紙代金受取) 打田広記 梶尾  
神社社務所宛 明治二四年九月 一通 一三三一

太々神楽祭典費 明治二四年九月 半帳 仮一冊 一七〇〇

記(太々神楽費茶飯・茶碗等領収証) 會計掛  
打田広記 梶尾神社社務所宛 卯(明治二四年)九  
月 一通 一三三三

記(太々神楽小使人足他諸入用代金受取証)  
大字馬町阿部熊藏 梶尾社会計掛宛 明治二四年  
九月 一通 一三三四

記(太々神楽諸入用代金受取) 打田広記 梶  
尾神社社会計掛宛 明治二四年九月 一通 一三三五

太々神樂魚代金請取証 宛 卯(明治二十四年)九月	さかなや丹七郎 打田	一通	二三六	羽州庄内寺社黒印記板書 白山大宝寺下山王宮 他	白山大宝寺下 山王宮	半帳	一冊	二〇七
太々神樂賄分受取証文 工藤丹重良 梶尾神社 社務所宛 明治二十四年九月	工藤丹重良 梶尾神社	一通	二三六	神功皇后機関造宮帳 人形入用他 慶雲寺 慶雲寺住職出自一件 天保一四年	文化三年二月 横長美	一冊	一冊	三七七
太々神樂賄分入用受取証文 菅原三郎 梶尾神社 社会計掛宛 明治二十四年九月	菅原三郎 梶尾神社	一通	二三九	慶雲寺・常禪寺庵境論一件双方絵図 天保一四年	天保一四年	33×38	四枚	一五九
太々神樂賄分(紙代金)受取証文 鈴木多吉 打田広記宛 明治二十四年九月	鈴木多吉	一通	二三〇	羽黒山大堂鍛冶願 寅一二月	寅一二月		一通	二〇九
清酒代金受取証文(太々神樂賄分) 酒造家九名代理大滝直之助 梶尾神社社務所宛 明治二十四年九月	酒造家九名代理大滝直之助 梶尾神社社務所宛	一通	二三三	供養塔建設願(善宝寺) (明治九)	(明治九)		一通	二四三
諸社寺				供養塔建設願之儀ニ付御添書類 (明治)	(明治)		一通	二四三
愛宕山				皇太神宮大麻拝受名前并御初穂調書 壬申八月 (明治四九)	壬申八月	半帳	一冊	二六三
愛宕山下芝居一条ニ付返答書状 安永三年七月	安永三年七月	一通	二四八	覚(町々去寅年御初穂神納ニ付) 卯五月	卯五月		一通	二七六
愛宕山下芝居興業ニ付訖書状 安永三年七月	安永三年七月	一通	二五二	蓬山和尚行金請取証文 二月	二月		一通	二八一
○				勝安寺所持畑並び地所立木伐取願 未一二月	未一二月		一通	二九六
愛宕山下作付之義ニ付返答書状 安永三年七月	安永三年七月	一通	二四九	鴻巣勝願寺御免勸化金請取手形 寅一二月	寅一二月		一通	二五八
返答遅参ニ付訖書状 安永三年七月	安永三年七月	一通	二五二	記(専念寺他納米預り手形) 三月	三月		一通	二六四
愛宕山八幡宮修覆成就ニ付御祈禱并神樂神子舞 御請書 弘化四年五月	弘化四年五月	一通	二〇六					
○安国寺								
安国寺御田地絵図 あら町分 文政二年四月	あら町分 文政二年四月	一枚	一六九					
安国寺畑絵図面		一枚	一六〇					

家

酒造

資金

秋野与蔵方古金貳百両拝借田中徳右衛門へ返  
濟一條

家屋鋪土蔵・酒株・酒道具差人之事 田中安  
兵衛・安之丞奥印 借主大滝直之助 秋野与四郎  
宛 天保一三年二月

(才覚調達金返濟方三付諸條件申付書状)  
与蔵(秋野) 三郎(大滝)宛 一月二三日

(貸金名儀認方并利足割之定方願状) 与  
蔵 三郎宛 二月二五日

田中徳右衛門方秋野与蔵宛御用立金三付書  
状 二月二五日

大滝直之助宛与蔵調達方三付書状 金子添  
二月二五日

金銭出入差引調(五ヶ年立替調) 大滝直之助 秋  
野与蔵宛 文久四年、明治二年正月

元治元子年方当丑七月迄才覚差引帳 大滝直之  
助 秋野与蔵宛 元治三年一月

金銭指引調 大滝直之助 秋野与四郎宛 慶応三  
年正月

酒造高

(大山村酒造高書上) 名主俊治・庄兵衛他村役  
人 大貫次右衛門様大山御役所宛 天保一三年六月

覚(造酒高改) 秋与(秋野与四郎) 大直(大滝  
直之助)宛 嘉永二年二月

指引覚(酒造高調) 秋野与四郎 大滝直之助宛  
文久元年二月

覚(酒造高差引調) 秋野与四郎 大滝直之助宛  
二月

覚(酒造高取調) 秋野与四郎 大滝直之助宛  
酉二月

製造法

酒類製造方法変更承認証 仙台稅務管理局長那  
那珂通文 大山町酒類製造主大滝直之助宛 明治三  
一年二月

酒類製造方法変更承認証 仙台稅務管理局長清  
宮質 大山町酒類製造主大滝直之助宛 明治三二年  
二月

清酒製造方法変更承認証 仙台稅務管理局長清  
宮質 大山町酒類製造主大滝直之助宛 明治三三年  
二月

造酒調

松前送酒石数樽調 大滝直之助 秋野与四郎宛  
嘉永五年二月

常盤井・延命酒樽数調書 大滝直之助宛 嘉永  
六年

造酒売酒調 大滝直之助 慶応二年

美帳

一冊 二四二

一通 九五二

一通 九七七

一通 九六六

一通 九六九

一通 二〇二

一通 二〇三

一通 二〇四

横長美

一冊 一八〇四

横長美

一冊 一八〇五

一通 一八〇七

造酒調(常盤井・延命酒) 御客船売共 大滝直之助 元治二年	一通	一八〇六	買付	酒買附調帳 利運金取調共 明治二年一月	一冊	一八二五
当五年売酒物調帳 大滝直之助 秋野与四郎宛 元治二年	一冊	一八〇九	酒買附指金残金取調 樽代残金拂方調共 明治一年一月	一冊	一八二三	
七月より九月迄樽調帳 幸暉丸・明神丸・幸玉丸分 大平治	二冊	一八二六 一八二七	蔵出			
明治十一年三月廿二日ヨリ五月一日迄酒樽調 明治十一年	一冊	一八一九	蔵出帳 製造主大瀧直之助 明治十三年一〇月	一冊	一八七	
酒調(亀右衛門買付分他) (明治十一年九)	一冊	一八二〇	古清酒蔵出帳 製造主大瀧直之助 明治三八年	一冊	一八七八	
覚(延命酒他出酒樽調) 喜七殿返酒松前仕切表 共 与惣兵衛 大滝直之助宛 卯二月	一冊	一八三三	清酒蔵出帳 製造主大瀧直之助 明治四一年	一冊	一八八九	
内藤龜右衛門出酒樽調 (明治十一年九)	一冊	一八三三	売上帳 製造主大瀧直之助 明治三二年	一冊	一八九五	
五郎左衛門出酒樽調 三月一三日一二月一三日	三冊	一八三三	売上帳 製造主大瀧直之助 明治三二年	一冊	一八九六	
五郎左衛門出酒樽再調 三月三日一八月三日	一冊	一八三四	売上帳 製造主大瀧直之助 明治三二年	一冊	一八九七	
幸暉丸他積入調(かも川他酒樽)	一冊	一八三五	売上帳 製造主大瀧直之助 明治三五年	一冊	一八九八	
仕入			古清酒売上帳 製造主大瀧直之助 明治三六年	一冊	一九一九	
造酒仕入帳 大滝直之助 明治二〇年一月	一冊	一七九六	古清酒売上帳 製造主大瀧直之助 明治四二年	一冊	一九〇〇	
造酒仕入帳 大滝直之助 明治二二年一月	一冊	一七九七	酒 粕			
造酒仕入帳 大滝直之助 明治二二年一月	一冊	一七九七	酒粕受拂帳 製造主大瀧直之助 明治四一年	一冊	一九〇〇	
造酒仕入帳 大滝直之助 明治二二年一月	一冊	一七九七	酒粕受拂帳 製造主大瀧直之助 明治四二年	一冊	一九〇一	
売付			仕込帳 製造主大瀧直之助 明治四一年	一冊	一九〇二	
酒売附帳 明治十一年一月	一冊	一八二三	原料品拂及麴製造帳 製造主大瀧直之助 明治四二年	一冊	一九〇三	
酒売買差引帳 明治十一年一月	一冊	一八二四				

白米受入

白米受入帳	製造主大瀧直之助	明治四一年	半帳	一冊	一三〇三
白米受入帳	製造主大瀧直之助	明治四二年	半帳	一冊	一三〇四
白米出入日記帳	大瀧直之助	明治四四年	半帳	一冊	一三〇三
白米出納日計帳	大瀧直之助	大正三年一〇月	半帳	一冊	一三〇四
白米出納日計帳	大瀧直之助	大正四年	半帳	一冊	一三〇五

検査

酩醪・清酒御検査帳	大瀧直之助	明治一三年	半帳	一冊	一三〇一
-----------	-------	-------	----	----	------

酒造代金指引

覚(酒造代金指引残金渡方)	庄内加茂秋野与四郎	大瀧直之助宛	安政四年二月	一通	九五三
亥年造酒代指引	秋野与四郎	大瀧直之助宛	元治二年三月	一通	九五〇
覚(酒造仕入指引改方)	秋野与四郎	大滝直之助宛	元治二年三月	一通	九五二
覚(貸金差引残金渡方ニ付)	秋野与四郎	大滝直之助宛	巳二月八日	一通	九五六
酒造米金差引調	秋野与四郎	大瀧直之助宛	未二月二七日	一通	九六〇
覚(酒造方諸入用差引改)	秋野与四郎	大滝直之助宛	酉一二月	一通	九六一
覚(御預金差引方ニ付)				一通	九五四

酒造代差引書上 大瀧直之助 秋野与四郎宛

家計

大福帳

大福帳	大瀧直之助	弘化二年、嘉永四年	横長半	一冊	一三六一
大福帳	大瀧直之助	(明治二五年一月)	横長美大	一冊	一七六六
大福帳	大瀧直之助	明治二七年一月	横長美大	一冊	一七七一
大福帳	大瀧直之助	明治二九年一月	横長美大	一冊	一七七三
大福帳	大瀧直之助	明治三二年一月	横長美大	一冊	一七七四
大福帳	大瀧直之助	明治三五年一月	横長美大	一冊	一七七五
大福帳	大瀧直之助	明治三六年一月	横長美大	一冊	一七七六
大福帳	大瀧直之助	明治三七年一月	横長美大	一冊	一七七七
大福帳	大瀧直之助	明治三八年一月	横長美大	一冊	一七八
大福帳	大瀧直之助	明治三九年一月	横長美大	一冊	一七九
大福帳	大瀧直之助	明治四〇年一月	横長美大	一冊	一七〇
大福帳	大瀧直之助	明治四三年一月	横長美大	一冊	一七一
大福帳	大瀧直之助	明治四四年一月	横長美大	一冊	一七二
大福帳	大瀧直之助	大正一一年一月	横長美大	一冊	一七三
大福帳	大瀧直之助	昭和三年一月	横長美大	一冊	一七四
大福帳	大瀧直之助	卯年一月	横長美大	一冊	一七五

他所大福帳

他所大福帳 大瀧直之助 (明治一八年一月カ) 横長美 一冊 一七九

他所大福帳 大瀧直之助 (明治一九年一月カ) 横長美 一冊 一七九

他所大福帳 大瀧直之助 明治三二年一月 横長美大 一冊 一七七

他所大福帳 大瀧直之助 明治三六年一月 横長美大 一冊 一七八

他所大福帳 大瀧直之助 明治三七年一月 横長美大 一冊 一七九

他所大福帳 大瀧直之助 明治四三年一月 横長美大 一冊 一七〇

他所大福帳 大瀧直之助 昭和六年一月 横長美大 一冊 一七一

萬金日記 大瀧直之助 二八年一月 横長美 一冊 一七四

(萬金日記) 大瀧直之助 諸買物書出 横長美 一冊 一七五

○明治九年分

木綿代金取立手形 秋三店 大瀧直之助宛 子一 一月二二日(明治九年) 一通 一四二

板代金請取手形 久五郎 大山新町大工末藏宛 子一 二月(明治九年) 一通 一四三

桶代金請取手形 桶屋惣七 大滝杉太郎宛 子一 二月(明治九年) 一通 一四四

呉服代金受取手形 木綿屋三郎右衛門 上本町大滝直伎宛 旧一二年(明治九年) 一通 一四三

油代金請取手形 油屋新七 大滝直伎宛 子年 (明治九年) 一通 一四六

(樽代金取立手形) 杉山五郎左衛門 大滝直伎宛 子一二月(明治九年) 一通 一四〇九

○明治一〇年分

酒代金并新潟口行運賃取立手形 阿達八十郎 大滝直伎宛 丑二月三日(明治一〇年) 一通 一四〇

錦出奈良茶受取手形 萬屋喜惣治 大瀧直之助宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四七

染代金受取手形 染屋松右衛門 大瀧直之助宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四〇

砂糖代金取立手形 菓子や重兵衛 大滝直伎宛 子二月(明治一〇年)

まゐり代金取立手形 大山八百屋 大滝直伎宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四四

肴代金取立書立 肴屋佐五兵衛 本町大滝直伎宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四七

呉服代取立書出 おふみや作右衛門 大滝杉太郎 丑二月(明治一〇年) 一通 一四九

金物代金書出 銅屋太治兵衛 大瀧直之助宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四二

肴代金書出 重助 本町大滝直伎宛 うし二月(明治一〇年) 一通 一四五

金物代金書出 銅屋専之助 本町大滝直伎宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四八

肴代金書出 肴や辰之助 本町酒屋直之助宛 丑二月(明治一〇年) 一通 一四九

かぢ代金書出 かぢや藤治兵衛(大瀧直之助宛) 一通 一四二



肴代金書出覽 肴屋儀助 大滝直之助宛 ところ一月(明治一一年)	一通	一四八	肴代金書出 田中太郎左衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇九
入衛代他諸品代金書出 地主屋惣兵衛 大滝杉太郎宛 寅二月(明治一一年)	一通	一四六	肴代金書出 明治一四年八月一二月 肴屋丹十郎 大滝直之助御取次衆中宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇三
かすり代金書出 九月二日分 近江屋作右衛門 大滝直之助宛 寅一〇月(明治一一年)	一通	一四〇	桶代金書出 (九月一二月) 桶屋嘉右衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇四
鯖代金書出 肴屋辰之助 本町大滝直之助宛 寅一〇月(明治一一年)	一通	一四一	肴代金書出 (二月分) 肴屋清右衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇六
○明治一四年分			板材木代金書出 田中太郎左衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇五
呉服代金并諸品代金書出 近江屋作右衛門 大滝直之助宛 明治(一四年二月)	一通	一五八	肴代金書出 (明治一四年九月一明治一五年一月) 肴や又次郎 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇一
ふち作料并諸品代金書出 太平治 大滝直之助宛 明治一四年八月六日	一通	一五七	肴代金書出 明治一四年八月一二月 肴屋丹十郎 大滝直之助御取次衆中宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇二
記(二月分) 概代金書出 大滝直之助 小林藤次郎宛 明治一四年八月	一通	一五二	桶代金書出 (三月一八月分) 桶屋嘉右衛門 大滝直之助宛 巳八月(明治一四年)	一通	一五〇三
記(一月分) 概代金書出 大滝直之助 嘉右衛門宛 明治一四年八月	一通	一五三	材木代金書出 田中太郎左衛門 大滝直之助宛 巳一〇月一八日(明治一四年)	一通	一五〇〇
肴代金書出 肴や五郎助 大滝直伎宛 巳一二月(明治一四年)	一通	一五七	人力代金書出 (二月一二月分) 人力や伊右衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇六
人力車代金書出 (八月一九月) 安野清兵衛 本町大滝直之助宛 巳二月(明治一四年)	一通	一五九	米搗ちん書出 米や吉兵衛 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇九
染代金書出 (八月一二月) 染屋兵藏 上本町大滝直之助宛 巳二月(明治一四年)	一通	一五三	染代金書出 染屋松右衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇〇
			八百物代金書出 (一〇月一十二月) 大山村本町八百屋五七 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇二

酢半樽代金書出 (二〇月二〇日分) あら町桶屋 清右衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五三	年賦金返済手形 松山末郎 大滝直之助宛 明治 一六年八月一五日	一通	一四四
石灰代金請取手形 石灰屋八兵衛 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五三	荒物代金勘定済手形 本町弥平治 本町大滝直之 助宛 未八月(明治一六年)	一通	一四五
金物代金書出 (一〇月一二月) 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五四	布代金書出 近江屋作右衛門 大滝直之助宛 未 八月(明治一六年)	一通	一四七
釘代金書出 大山西町材木屋見治郎 本町大滝直 次郎宛 午二月(明治一五年)	一通	一五五	帳面代他諸品代金請取手形 大藤 大直宛 未 八月(明治一六年)	一通	一四八
樽代金書出 (二月一二月分) 杉山五郎左衛門 大滝直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五六	布代金請取手形 六兵衛内 大直さま御内宛 八 月(明治一六年)	一通	一四九
桶代金書出 (八月一二月) 直之助宛 午二月(明治一五年)	一通	一五〇	石灰通入高書出 石灰屋八兵衛 大滝直之助宛 未八月(明治一六年)	一通	一四〇
○明治一六年分			肴代金書出 肴屋丹十郎 大直宛 未八月(明治 一六年)	一通	一四二
樽代金書出 桶屋嘉右衛門 多平治宛 四月五月 分(明治一六年)	一通	一四四	鍛冶代金書出 鍛冶や藤次郎 大滝直之助宛 未 八月(明治一六年)	一通	一四四
人力車代金書出 人力や茂右衛門 本町大滝直之 助嫁さま宛 未七月(明治一六年)	一通	一四七	とふろうみかき代請取手形 銅屋末吉 大滝直 之助宛 未八月(明治一六年)	一通	一四五
酢代金請取手形 丸屋才兵衛 大滝直之助宛 未 旧七月(明治一六年)	一通	一四七	桶扶持作料書出 桶屋嘉右衛門 大滝直之助宛 未八月(明治一六年)	一通	一四六
樽代金書出 太平治 桶や勘右衛門宛 八月一一 日(明治一六年)	一通	一四八	染代金受取手形 染屋松右衛門 大滝直之助宛 未八月(明治一六年)	一通	一四八
ふち作料書出 太平治 大滝直之助宛 未八月一 五日(明治一六年)	一通	一四九	車代受取覚 彦助 大滝直之助宛 未八月(明治 一六年)	一通	一四九
清酒納入ニ付御改書出 加藤浅三郎 大滝直之助 宛 明治一六年八月一五日	一通	一四三	鶴岡行車代書出 人力屋伊右衛門 大滝直之助宛 未八月(明治一六年)	一通	一五〇
染代金受取手形 源藏 大滝宛 八月一五日(明 治一六年)	一通	一四三	焼替代金書出 鈴木元兵衛 大滝直之助宛 未八 月(明治一六年)	一通	一五一

髮結代金書出 床師米藏 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	弁当箱代金書出 塗師太三郎 直之助宛 西七月 (明治一八年)
髮結代金書出 床 勘太郎 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	酢代金書出 丸屋才兵衛 大滝直之助宛 西旧七月 (明治一八年)
酢代金書出 万屋万五郎 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	焼印・鑄掛代金書出記 片町村田助十郎 大滝直之助宛 旧西七月(明治一八年)
肴代金書出 肴や又次郎 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	作料書出 (三月一六月) 太平治 大滝直之助宛 明治一八年八月二三日
塗代金書出 ぬりし惣右衛門 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	肴代金書出 肴屋五郎助 大滝直之助宛 八月 (明治一八年)
樽代金書出 新兵衛 桶屋嘉右衛門宛 未八月 (明治一六年)	三瀬村他人力車代金書出 (二月分) 人力車伊右衛門 大滝直之助宛 西八月(明治一八年)
焼酎代金請取手形 羽田六兵衛 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	樽代金書出 (五月一八月) 桶屋嘉左衛門 大滝直之助宛
材木代金書出 材木屋辰之助 直之助宛 未八月 (明治一六年)	桶代金書出 (二月一八月) 桶屋嘉左衛門 大滝直之助宛 西八月(明治一八年)
菓子代金受取手形 菓子や重兵衛 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	人力老丁代金書出 人力車清兵衛 本町大滝直之助宛 西八月(明治一八年)
そば代金書出口上 そばや徳治郎 大滝直之助宛 未八月 (明治一六年)	肴代金書出 (三月一八月) 丹十郎 大滝直之助宛 八月(明治一八年)
○明治一七・一八年分	
呉服代金書出 (未九月一申五月) 孫助 大滝直之助宛 七月三日(明治一七年)	土船運賃立替分書出 桜井謙三郎 大滝直之助宛 西八月(明治一八年)
竹代金書出記 (四月一六月) 竹屋彦兵衛 本町大滝直之助宛 西七月(明治一八年)	染代金書出 (六・七月分) 染や岩五郎 大滝直之助宛 西八月(明治一八年)
一文字鉄代金書出 かちや格兵衛 大滝直之助宛 西七月(明治一八年)	肴代金書出記 (二月一七月) 又次郎 大滝直之助宛 西八月(明治一八年)
	桶代金書出 大山邑下本町桶や金藏 大滝直之助宛 西八月(明治一八年)

鑄掛代金書出覚 銅屋末吉 大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一五五

葉代金書出 栗本葉室 大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一五八

半紙代金書出 鈴木三郎右衛門 大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一五一

そば代金書出 そばや徳治郎 本町大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一五三

桶代金書出記 (三月一八月) 杉山五郎衛門 大滝直之助宛 八月(明治一八年) 一通 一五四

肴代金書出 (三月一八月) 大山真田竹治郎 直岐宛 西八月(明治一八年) 一通 一五五

樽代金書出 (五月一七月分) 田川屋八郎治 大滝直之助宛 第一八年西八月 一通 一五五

染賃書出 (一月一七月) 大滝藤左衛門 大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一五七

肴代金書出 本町肴屋弥助 西八月(明治一八年) 一通 一五八

呉服代金書出 美のや助治 大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一五九

石灰代金書出 石灰屋八兵衛 大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一六〇

土蔵金具直し代金書出 かちや三左衛門 本町大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一六一

桶代金書出 桶や丹十郎 大滝直之助宛 西八月(明治一八年) 一通 一六二

小作

小作米滞り一件

茂右衛門所持田地作徳米滞一件覚 天保一一年 横長美 一冊 一七三

加茂村秋野茂右衛門方へ譲仕候御田地請返願 野中新田村小右衛門・名主与右衛門 御預地御役所宛 嘉永四年五月 横長美 一冊 一七四

口上之覚(加茂村茂右衛門方讓請候田地請返願三付) 秋野茂右衛門・同仲助 今野収助・留塚純蔵 亥一二月(嘉永四年) 横長美 一冊 一七四〇

加茂村茂右衛門方小作ニ預申候覚 御内々申上書(小右衛門田地請返願書) 野中村小右衛門 御役所人中 子二月(嘉永五年) 横長美 一冊 一七四三

野中新田小右衛門作徳米滞一件 年寄三郎 嘉永五年四月 横長美 一冊 一七四九

御預所野中村小右衛門小作米滞一件口上書 秋野茂右衛門・同仲助 大滝三郎宛 子七月(嘉永五年) 横長美 一冊 一七五三

御預所野中新田小右衛門方懸り合田地一件願書下ケ戻シ願 牧又兵衛・林東弥・彦坂佐太夫 今野収助・冨塚純蔵宛 一二月晦日(嘉永五年) 横長美 一冊 一七五三

野中村小右衛門小作米一件内濟御沙汰願 野中村小右衛門 彦坂佐太夫宛 一二月一六日 横長美 一冊 一七五七

覚(小作御田地御年貢米并揚米書上・仕入覚) 卯七月 横長美 一冊 一七八

年賦ニ請返シ度御田地之覚 加茂浦茂右衛門方へ讓渡田地一件 野中新田村小右衛門 横長美 一通 一七六

吉凶

祝儀

婚礼御祝儀受納帳 穂野与四郎 寛政八年一〇月 横長半 一冊 二二〇  
 御祝儀申受扣ひ おきの 寛政一二年二月 横長半 一冊 二二二  
 婚礼御祝儀控帳 附文化十五寅四月おとし婚礼二付御祝儀扣ひ 文化一四年四月 横長半 一冊 二二三  
 婚礼祝儀扣 万延元年六月 横長半 一冊 二二三

産婦見舞受帳 明治三二年一〇月 横長半 一冊 二三四  
 御歳暮指上ケ手形 徳兵衛 大滝直伎宛 午一二月 一冊 二五五

佛事

一翁宗入信吉百年忌 亥八月十五日 横長半 一冊 二三五

書状

本間孫兵衛大滝三郎宛御礼書状 七月七日 一通 二五四  
 拝借米取引ニ付書状 糸屋伊右衛門 大瀧直之助宛 子三月二日 一通 二四七  
 森茂右衛門書状(加茂ニ而拝借分ニ付) 森茂右衛門 大瀧直之助宛 子三月一日 一通 二四九  
 糸屋伊右衛門要用書状(加茂拝借米取引ニ付) 糸屋伊右衛門 大瀧直之助宛 子三月八日 一通 二四九

糸屋伊右衛門貴答要用書状 糸屋伊右衛門 大瀧直之助宛 三月一〇日 横長半・半 一冊 二五〇  
 二月十七日受取扣 掛取人上田作太郎 明治一四年二月 横長半・半 一冊 二五〇

本米江戸御蔵本納報告書状 羽田俊治 大滝藤左衛門・大滝清三郎宛 七月五日(天保一四年) 一通 二六〇

その他

大滝家屋敷図 49×36 一鋪 二六六  
 口上(父子共不快ニ付不参願) 竹岡徳兵衛 西海有松宛 七月五日 一通 二五六  
 ひかへ御帳(御刀脇指之覚) 石原源左衛門 御上使多賀外記宛 承応二年六月 半 一冊 二九八

中瀧流火術揚順覚 文政五年七月 横長半 一冊 二二七

菜園万覚帳 文政五年 横長美 一冊 二七三

推天保一四祭卯曆歩数 樸齋大滝光憲子章推算・男大滝光武子武合算 天保一四年 半帳 一冊 二七一

嘉永七歳甲寅之記(異国船渡ニ付) 嘉永七年正月一二月 半帳 一冊 二八三

鹿兒嶋候方御届書写(薩州当時法合家老他) 万延元年九月 半帳 一冊 二八三

布告五三号(身代限財産中質入ノ地所アリ、債主訴出サル節處分方) 明治八年四月 半帳 一冊 二八九

櫻の友(明治三年三月二五日東町恵比寿山麓ニ転住一件) 桜岡麓 苔園 明治三年 横長半 一冊 二九一

温海 地方美談編 温海村誌編纂囑托員清野鐵臣 村誌	半帳	一冊	二七六	家 日誌	大山滞在日誌 秋与(秋野与四郎) 明治三五年 四月二五日	横半半	一冊	一八四〇
お花との覚書(書籍貸出一件)	一通	一冊	二八二	大山寄留日誌 秋野与四郎 明治三六年	横半半	一冊	一八四一	
百姓古後記 写 藤嶋村種耕院 邦君殿下宛 丑 三月	半帳	一冊	一七〇	関西旅日記(大山より)	横四半	一冊	一八四三	
田氏纏一件再発記 大滝直之助 文久三年正月	半帳	一冊	二三三	(曾祖父秋野与四郎御用伺勤御尋ニ付返答書) 秋野与藏 十日町御役所森茂右衛門宛 慶応三年	一通	一冊	一九二	
秋野家文書				請山一札之事(加茂村山請山) 御立会絵図共 友江村長百姓・組頭・名主連印 加茂村大長人秋野 与四郎・同助右衛門・同仲右衛門・肝煎彦四郎・杖 突嘉右衛門宛 天保八年七月	二通	一冊	七三九	
村政				明治三十八年乙酉日誌 秋野与四郎 明治三八年 一月	半帳	一冊	一九四	
公用留 穉野与四郎重輝 明治四年正月	半帳	一冊	一六一	○貸借対照表				
公用留 第七大區九十小區区務所 明治一〇年七月	横半半	一冊	一六〇	貸借対照表(地盤金以外収入スヘキ金他) 秋野与 四郎 明治三六年一月	半帳	一冊	一三〇	
総代人勤中事務控 明治一〇年六月	横半半	一冊	一八五	明治廿七年十月ヨリ明治廿八年九月迄貸借対 照表 秋野与四郎・与作 監督秋野松藏・同大滝 直之助宛 明治三八年九月	半帳	一冊	一三〇八	
萬記載 加茂邑総代人 明治一〇年八月	横半半	一冊	一八五	明治廿九年拾月ヨリ全四拾年九月迄貸借対照 表 秋野与四郎 監督秋野松藏・大滝直之助宛 明 治四〇年九月三〇日	半帳	一冊	一三〇九	
議員勤中諸用留 秋野重輝 明治二二年二月	横半半	一冊	一八七	四十二年度 營業決算書(棚卸他) 明治四二年	半帳	一冊	一三二	
総代人入費仕拂帳 加茂邑 加藤如苞・新田義比 宛 明治一四年八月	横長半	一冊	一八五					
諸願伺								
第壹号 諸願伺届控 穉野与四郎 明治一七年三月	半半	一冊	一八五					
第貳号 諸願伺届簿 穉野与四郎 明治二一年一月	半半	一冊	一八五					

御田地帳(御田地小作面附) 穠野与四郎重孝・重義 天保一五年正月 横長美・半 一冊 一九五

本町村分御田地証文写 但し享和前調出不申候 加茂村穠野茂右衛門宛 奥印大滝三郎 安政三年二月 半帳 一冊 二三三

酒 造

○酒造米調

酒造米調帳 秋与 大直宛 嘉永元年 横長半 一冊 一八七

嘉永元申年酒造米しらべ 平均指引 秋野与四郎 大滝直之助宛 嘉永二年二月 横長半 一冊 一九〇

嘉永七寅 両年米金酒指引調 秋与店 大滝直之助宛 安政三年正月 横長半 一冊 一八八

指引覚(酒送代金) 秋野与四郎 大滝直之助宛 文久三年三月 横長美 一冊 一八七

酉戌年指引帳 秋野与四郎 大滝直之助宛 文久三年 横長美 一冊 一八七

明治三拾年 自五月加茂入米及諸調 明治三〇年一月 半帳 一冊 一六三

○箱館出荷

七月二日出千寿丸箱館送り酒売仕切さし引 秋田湊売 秋野与四郎 嘉永二年二月 横長半 一冊 一八一

この君酒松前売取調 秋野与四郎店 嘉永三年 横長半 一冊 一八五

松前箱館両所送り酒売仕切さし引 秋野与四郎店 大滝直之助宛 亥極月(嘉永四年) 横長半 一冊 一八七

松前 両所送酒売仕切指引 穠野与四郎店 大滝直之助宛 嘉永六年三月 横長半 一冊 一八八

常磐井酒松前売立調 穠野与四郎店 嘉永七年二月 横長半 一冊 一八七

松前箱館両所御送酒売立 秋野与四郎店 大滝直之助宛 安政二年二月六日 横長美 一冊 一八六

松前送酒并買酒指引 秋野与四郎店 大滝直之助宛 安政五年正月 横長半 一冊 一八七

亥松前贈酒代指引 秋野与四郎 大滝直之助宛 文久三年二月 横長半 一冊 一八九

覚(式番下り栄福丸江送遣候酒代金指引) 秋野与四郎 大滝直之助宛 文久三年二月 横長半 一冊 一八五

子年 松前送酒仕切調 幸玉丸・龍福丸送り分 秋野与四郎 大滝直之助宛 慶応元年七月 横長美 一冊 一八三

○ (磐根市郎兵衛方秋野与四郎宛他書状留) 天保八年七月 半帳 一冊 一八三

弥太郎始而相下り之節持参岩根市郎兵衛殿方之未状 磐根市郎兵衛 秋野与四郎・与惣左宛 九月二七日 半帳 一冊 一八五

一関阿部惣兵衛辰を以一関江返状 秋野与四郎・与蔵 磐根市郎兵衛・同弁次郎宛 西七月二五日 半帳 一冊 一九〇

秋野与四郎方岩根市郎兵衛江返状之写書 西八月一日 半帳 一冊 一九〇

諸 職(繰綿・玉砂糖・塩) 繰綿売拂配分差引 秋野与四郎 御社中宛 明治一一年二月 横長半 一冊 一三七

明治十一年寅玉砂糖綿買附帳并塩買附帳	明治十一年	横長半	一册	二三九	御立替物通	秋野与四郎店	大滝直之助宛	嘉永五年二月	横半・半	一册	二三三	
明治十一年寅玉砂糖塩綿売附帳	明治十一年	横長半	一册	三三六	御取替諸指引帳	秋野与四郎	大滝直之助宛	嘉永五年二月	横半・半	一册	三三四	
明治十一年寅玉砂糖塩綿買取調	明治十一年	横長半	一册	三三六	覚(亥八月改大直買帳下差引濟方二付)	秋野与四郎	大滝直之助宛	子二月二七日(嘉永五年)	横半・半	一通	一八九	
新瀉注文物覚(雜貨類)	(中皿・丸行燈・唐笠)		一通	三三七	覚(子極月御調書之内返済分書上)	秋野与四郎	大滝直之助宛	丑三月(嘉永六年)		一通	一八九	
家計												
○諸買物												
覚(金銭出入差引)	秋野与四郎	大滝直之助宛	横長半	一册	一八六	御買物通	秋野与四郎	大滝直之助宛	安政三年	横半・半	一册	一三五
天保二三年一月一九日						覚(諸色買物代金書上)	秋野与四郎	大滝直之助宛	巳二月(安政四年)		一通	一九〇
(金出入差引)	元治元年	慶応二年	横長半	一册	一八一	覚(諸色買物代金御引合分)	秋野与四郎	大滝直之助宛	未極月(安政六年)		一通	一九〇
慶応二年寅年秋与調帳	慶応二年七月		横長半	一册	一八四	覚(諸色買物代金差引調)	秋野与四郎	大滝直之助宛	万延元年極月		一通	一八九
金銭指引調	元治元年	慶応二年迄	横長半	一册	一八三	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	戊極月(文久二年)		一通	一八九
大滝直之助宛	明治三年二月		横長半	一册	一八三	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
金銭仕拂帳	秋野与四郎家		横長半	一册	一八三	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
御買物代金通帳	御印殿	秋野与四郎(庄内加茂)	横半・半	一册	一五八	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
御買物代金通帳	秋野与四郎	大滝直之助宛	横半・半	一册	一五九	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
御買もの代金通帳	秋野与四郎	大滝直之助宛	横半・半	一册	一三〇	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
弘化四年二月						覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
申蔵御買物通帳	秋野与四郎	大滝直之助宛	横半・半	一册	一三一	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
永元年						覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
御注文物并御買物通帳	秋野与四郎	大滝直之助宛	横半・半	一册	一三二	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
嘉永二年						覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九
内蔵普請諸控雜帳	秋野与四郎店	嘉永三年正月	横半	一册	一九七	覚(諸色代金差引勘定)	秋野与四郎	大滝直之助宛	文久三年八月		一通	一八九

覚(金子太郎左衛門江渡し方願) 秋野与四郎 一通 一八九  
大滝直之助宛 二月一五日

○

駄賃金渡(金納米子駄賃指引) 文久四年分 一通 一八九  
秋野与四郎 大滝直之助宛 丑(慶応元年)三月

覚(竹岡徳兵衛・銭売長七差引) 親類本多屋 一冊 一八五  
權之助・柴屋三九郎 戊四月

諸買物控帳(越後国塩野町江戸御役人中様御下 一冊 一三七  
向三付請入用他) 天保一五年八月

新町組大蔵土蔵普請入用調帳 穉野与四郎五代 一冊 一三七  
文政一二年四月

金納米指引 文久三年子之年請取 秋野与四郎 一通 一八〇  
大滝直之助宛 丑年(慶応元年)三月

諸品買入代金調帳 林泉寺寺注文物調書共 慶応 一冊 一三七  
二年四月

覚(本町御蔵米指引并送酒代(金羽田利足他) 一冊 一八七  
秋野与四郎 大滝直之助宛 嘉永二年二月

米穀預会所金受拂簿 秋野与四郎 明治一八年一 一冊 一三〇  
二月

加茂入米指図式発行及諸入費控 宝町倉庫 明 一冊 一六四  
治三〇年五月

○

訴願状(大有講無盡整算一件) 秋野梅次郎 大 一冊 一七九  
瀧直之助・秋野与作・秋野弥惣治宛 大正九年一月 一冊 一七九  
二八日

寄附金之儀三付願(鶴岡警察署大山分署建築 半帳 一冊 七五七  
費) 西田川郡加茂村秋野与四郎 山形県令折田 半帳 一冊 七五七  
平内宛 明治一八年八月

金子借用証券 加茂村惣代人秋野与四郎 明治一 一冊 一九三  
三年九月

金子借用証券 加茂村惣代人秋野与四郎 明治一 一冊 一九三  
三年九月

貸金

覚(貸金指引) 庄内加茂秋野与四郎 大滝直之 一冊 一八七  
助宛 天保一〇年一月

覚(貸金指引) 秋野与四郎 大滝直之助宛 弘 一冊 一八七  
化二年二月

貸金帳 秋野与四郎重義 安政三年正月 一冊 一八五  
秋野松蔵預り金証書 秋野梅次郎 明治三二年四 一冊 一九三  
月一 同四二年九月

○

借財之覚 大滝三郎 大滝直之助・齊藤三五郎宛 一冊 四三  
天保三年二月

借用申金子之事 大滝直之助 秋野与四郎宛 弘 一通 六三  
化二年二月

貸金之内年々調帳 年寄三郎 嘉永四年一月 一冊 二四七  
万延元年

覚(大滝直之助借用分) 万延元年一月 一通 六六  
借方調(大滝直之助他) (明治) 一冊 三九四

貸方調(藤左衛門取替金) 一冊 三九二  
覚(秋与々恩借外貸借一件) 一冊 三九二

借方并利足滞外貸方調 一冊 三五〇  
借用金員預証 下村与平治 明治三三年七月 一通 六三

戊年中惣ざ引取調帳 嘉永三年二月二四日	秋野与四郎 大滝直之助宛	一冊	一八七四	伊和婚禮御使御祝儀控帳 化五年二月一九日	穉野与四郎重義 弘	一冊	一九〇四
指引覚(子年丑年惣指引) 滝直之助宛 嘉永六年二月	秋野与四郎 大	一冊	一八八〇	病氣見舞受帳 二年九月	秋野与四郎内 明治三	一冊	一八六二
辰年惣勘定店卸調帳 穉野重義 安政四年正月	秋野与四郎 大	一冊	一八三九	病氣見舞受帳 秋野与四郎 明治三四年	秋野与四郎 明治三四年	一冊	一八六三
店おろし帳(店覚帳) 秋与分秋定調 瑞珠舎重 徳 明治四年	穉野重義 安政四年正月	一冊	一八五一	産婦見舞受帳 秋野高蔵 明治三七年二月	秋野高蔵 明治三七年二月	一冊	一八六四
大貫次右衛門様御代官所 <sup>方</sup> 御添翰を以弥太郎 <sup>方</sup> 奥州一関田村左京大夫様御役場へ願立候 二付相改 弥太郎へ相渡候仕切目録之写 戌六 月四日当御上へ差上 天保九年戌三月二八日	秋与分秋定調 瑞珠舎重 徳 明治四年	一冊	一八三四	鶴齡院松誉英寿重義善居士五十回忌・清松院 光誉妙顔貞現良善大姉七回忌・崇高善童子拾 三回忌 秋野与四郎 大正五年一〇月一六日	秋野与四郎 大正五年一〇月一六日	一冊	一三三六
奥州一ノ関田村左京大夫様御役場へ弥太郎 <sup>方</sup> 願出候書付之写 天保九年四月	穉野重義 安政四年正月	一冊	一八三三	直家へ頼入品(夜具・蚊帳他)	直家へ頼入品(夜具・蚊帳他)	一通	一三七四
最上銀山新畑村名主平兵衛 <sup>方</sup> 庄屋彦四郎方江 返状写 名主平兵衛 庄内加茂浦御庄屋彦四郎宛 五月一日(天保九年九)	秋野与四郎 大	一冊	一八三三	直家へ頼之次第	直家へ頼之次第	一通	一三七五
奥州一ノ関江帰国願書差上候控写 願人百姓弥 太郎・差添名主平次兵衛 田村左京大夫様御役場宛 天保九年五月	穉野重義 安政四年正月	一冊	一八三三	夜具調簿 秋野与四郎 明治三六年一月	秋野与四郎 明治三六年一月	一冊	一八六五
奥州一関別用書控 名主平治兵衛 大貫次右衛門 手代奥野林太夫 田村左京大夫御家中宛 天保九年 五月	秋野与四郎 大	一冊	一八三〇	屏風調帳 瑞珠舎 寅年	瑞珠舎 寅年	一冊	一九〇五
一関願濟沖土表数扣 加茂御蔵米 西四月	穉野重義 安政四年正月	一冊	一八三三	成益講	成益講	一冊	一九七
吉 凶	秋野与四郎 大	一冊	一八三三	成益講金取入証券 加茂村東町伊藤達右衛門 盛 益講中代理人宛 明治一四年一月	加茂村東町伊藤達右衛門 盛 益講中代理人宛 明治一四年一月	一冊	一九七
御神事中御使扣帳 秋野与四郎重義・秋野与吉重 業 嘉永二年四月・嘉永三年三月	穉野重義 安政四年正月	一冊	一八〇三	廣益社	廣益社	一通	一八四九

受取証(当座預金之内) 西田川郡加茂村広益社  
秋野与四郎宛 明治一四年、一五年

四通 一八四

○

預ケ金受取帳 拂渡方広益社・受取方秋野与四郎  
明治一三年五月九日

横半半 一冊 一八四

秋野与四郎殿勘定帳 袋入 広益社 明治一三年五月九日

一通 一八四

○その他

明文学校修繕入費之内江献金願 写共 加茂村  
大屋光章・同秋野与四郎・同茂右衛門 山形県令三  
島通庸宛 明治一一年六月

半帳 仮二冊 一九六

御請書(虎列利病予防費差出方) 加茂村惣代秋  
野茂右衛門・大屋八郎治他 山形県令三島通庸宛  
明治一三年七月

一通 一九六

誓約書(九小区総代人ニ撰拳ニ付) 第七大区九小  
区撰拳人油戸村横屋藤四郎代理他 秋野茂右衛門宛  
明治一〇年九月

半帳 仮一冊 一九五

国病囲春 全 大雅堂重保 万延元年閏三月

美 一冊 一九三

## 出羽国田川郡大山村大滝（直之助）家文書目録解題

### 文書の伝来

本文書は、山形県鶴岡市大山大滝直之助家の原蔵にかかり、昭和二十六年にご当主のご高志により当館の所蔵に帰したものである。

### 大山村と大滝家

#### 大山村の概況

大山村は現在鶴岡市内に合併されており、東京から上越新幹線終着駅新潟を経由し、羽越線鶴岡の一つ手前大山に約四時間の旅で辿りつくところに所在する。羽黒山の麓に發展した大山村は秋田街道（大山付近は大山街道という）の伝馬宿、さらに鶴岡と外港加茂港の中間に位置し、大山酒の名で知られる酒造の主生産地として發達した町である。

元和九年（一六二三）酒井備中守が受封し正保四年（一六四七）には酒井忠勝七男忠解に大山一万石が分封された。嗣子なきために忠解は改易された。時に寛文九年（一六六八）二月幕領となり代官松平清左衛門の所管となった。酒井忠真の宝永七年（一七一〇）閏八月預り領の願書を提出したため、寛延二年（一七四九）六月その願望が実現し大山領全体が預り地に復したが、翌三年（一七五〇）に酒井撰津守忠寄の老中就任によって心ならずも返還した。当然再び天領尾花沢代官支配になった後天領支配は約二〇年間続いたが、明和六年（一七六九）酒井撰津守忠

徳の預り地に戻り約三七年間持続した。ところが天保一三年(一八四二)左衛門尉忠益の隠居によってまたまた尾花沢代官大貫治右衛門支配。そして弘化元年(一八四四)二月再々度酒井家預支配に帰さんとしたため、この交替の経緯に堪えかねた領民は酒屋連中が中心となって有名な大山騒動が起きる結果となった。支配の変遷を第1表に掲示した。

第1表 大山村支配一覽

正保4.12	～	寛文9.2	◎ 酒井備中寺忠解預
寛文9	～	延宝2	松平清左衛門
延宝2	～	元禄元	松平清三郎
元禄2	～	元禄5	永田作大夫
元禄6			小野朝之丞
元禄7	～	正徳3	諸星内蔵助
正徳4	～	享保7	秋山彦太夫
享保8			森山勘四郎・長谷川庄五郎
享保9.5	～	享保11	小野惣左衛門
享保12	～	享保16	小林又左衛門
享保17	～	元文4	日野小左衛門
元文5			荒川直右衛門(寒河江代官) 堀井清治郎(漆山代官)
元文5.8	～	寛延元	蔭山外記
寛延2.6	～	寛延3.3	◎ 酒井撰津守忠寄預
寛延3			柴村藤右衛門
寛延3	～	宝暦10.5	天野市十郎
宝暦10.6			小田切新五郎
明和元			会田伊右衛門
明和6.7	～	文化12.11	◎ 酒井撰津守忠徳預
文化12.12	～	天保13.2	◎ 酒井左衛門尉忠器預
天保13.2	～	弘化元.1	大貫次右衛門(尾花沢代官)
弘化元.2	～	元治元.7	◎ 酒井左衛門尉忠發預
元治元.8			◎ 酒井左衛門尉忠篤増封

大山村の村況は残存史料によってその一端を抄出する。(出羽国 田川郡・飽海郡 由利郡 村々様子大概書。史料番号五五)

元和九亥年 酒井宮内大輔  
承応二巳年 酒井備中守

寛文十戌年  
延宝九酉年  
天和三亥年  
貞享四卯年

松平清三郎

検地 私領人会なし

延享四卯年  
寛延四年 神尾若狭守

出羽国田川郡江戸江道法百式拾八里

一 高千九百拾三石八斗七升五合三勺

大山村

内七拾式石四斗三升三合三勺 無地高

田八拾九町四反歩余 石盛 上十五 中十三 下十一  
下々九

内 兩毛作なし

畑九拾五町三反歩余 石盛 上十 中八 下六  
下々四 屋敷十 見附四

一 此村用水懸、熊出川・田川川・押留川の水を引、旱損所なり

一 小物成少々納、運上ものなし

一家数合六百七十六軒 内 五百四拾老軒 本百姓  
百三拾五軒 名子・店借・借シ地  
拾老軒 寺但枝郷共

一 此村枝郷米出新田御座候

一人数合式千四百五拾九人 内 千式百三拾三人 男  
千式百式拾六人 女  
式拾老人 出家

一 此村馬五拾式疋

一 農業の間に男女共に商・日雇を取

- 一 町場にて七月・十一月兩度に市立・越後通、南部・津軽・秋田を京・大坂江の往還なり
- 一 草苧場あり
- 一 御林沓ヶ所 反別六拾四町九反歩余 雜木立
- 一 田川川有 幅拾五間程 砂川なり、歩行渡り
- 一 米津し田川河岸迄陸路四町余、同所を酒田湊迄川路拾三里余
- 一 溜井 式ヶ所 以樋三ヶ所 掛樋九ヶ所あり 白普請なり
- 一 以樋三ヶ所 算沓ヶ所 御普請なり
- 一 押留川堤 沓ヶ所 御普請所なり
- 一 板橋式拾七ヶ所 白普請なり
- 一 此村漁獵場なし
- 一 搔場 城址有、往古武藤吉氏居城のよし申伝なり、今は芝地鳥捕場なり
- 一 此村里方近より諸色持出し商売賑ひの村なり

新政府となった大山村は、明治五年(一八七二)一〇月大小区制施行によって酒田県管内第四大区二二小区に、さらに明治八年(一八七五)大小区制改正によって第一大区六小区に編成替。同時に明治八年八月酒田県が鶴岡県と改め、同九年(一八七六)八月には旧鶴岡・山形・置賜の三県が合併し、山形県の管轄に帰したため、大山村は七大区一〇小区に属することとなった。この大小区制も明治十一年(一八七八)七月郡区町村編成法の公付によって郡役所が設置され、附属していた田川郡は東西二郡に分轄、西田川郡所管となった。さらに明治十二年(一八八九)四月一日市町村制の施行と同時に、大山・下興屋・下小中・中楯・栃屋・友江・菱津の七か村の村々が共に新生大山村に包轄される事になり、翌十三年(一八九〇)六月一日町制施行によって大山町が誕生した。この時大山町は戸数九七四戸人口男女併せて五六二〇人の大町に成長し

た。(江戸時代の人口推移は『戸口』の項の解題を参照されたい)。昭和三八年九月鶴岡市に合併され、今日に至っている。

### 大滝直之助家の性格

江戸時代の初〜中期については大滝家の出自、経営状態などについては今のところ不詳である。本史料は天保以降が主軸となっている。

本家である藤右衛門(系図参照)は中期頃より名主であり酒造業を営んでいたが、文政期にはやや衰退してきた。分家である直之助家も初代大滝三郎光憲も酒造業を営んでいたがともに文政期には経営が思わしくなく、とくに天保三年(一八三二)決定的原因ともされる一七〇石の麥酒を出して膨大な借金をせざるを得なく、事実上破産状態になった。家業を二代目直之助(光武)に譲り自らは隠居した。この時手を差しのべてくれたのが、同じ西田川郡加茂村の豪商である廻漕業の秋野与四郎家であった。

秋野家は系図でも明らかのように初代三郎の妻の実家でもあり、秋野家の資本援助によって二代目直之助家も酒造業を継続する事が出来た。(その後三代目直之助光重・四代目直之助光寿の妻も秋野家より入嫁している)。家業の酒造業のほか幕末期には田地三三石四斗余(反別三町八畝歩)を保有していた。大山騒動以後は、年寄役として活躍したため、それらの役務上の史料が本史料の主軸となっている。この年寄役は名主の上格にあつて、領主との下達上申の仲介役として村政に携わった。村方三役(名主・組頭・長百姓)の外、年寄役が置かれたのは大山村が大村であつたためと、領主交替の繁雑さも加わつてか、「大山町史」(著者齊藤正一氏)によると、「年寄役は古くは二人の事もあつたと伝えられるが一人勤めが普通であつた。文化年間になり事務量が増え、諸用多忙となつて二人勤めを申請して許可されたといわれる」。また「元來年寄役は村方の願いで決められる筋合ではなく、名主役勤続の功績により就役する役職で、元來代々世襲する役ではない」と説明されているところからも「名主」の上格であつたと推測される。

明治になつてからは大滝家は種々の公職についている。明治二三年(一八九〇)六月町政開始と同時に二四年に町會議員一八名の中に大滝直之助の名も見えている。明治三〇年(一八九七)一〇月には鶴岡米穀取引所理事となつてゐる。私的にもまた二五年に県社栢尾神社氏子會計

長、同三一年四月梶尾保存会商議員など村の要職にあって活躍した。

なお「直之助」家系図でも表示されているが、初代三郎が国学を修め賢木舎と号し、鈴木重胤と接してからは重胤は屢々大滝家に滞在する事になった。この様な縁で重胤が、直之助(光憲)の二男光胤を養子に迎えて縁族関係を結んだ。大山騒動の際にも重胤は江戸より密書なる書状を送り騒動の処置の仕方を指示している例もある。現在大山の大滝家には鈴木重胤関係の書面類が多蔵されている。

### 文書の概要と配列

大滝家の総点数は約二〇〇〇点、寛永期から大正期におよぶが、江戸時代の前々中期の文書は数点散見するにすぎず、大方は天保期以降明治に至る史料が大宗をなす。配列は公的史料である『村』文書を優先し、大滝家の私的記録は『家』文書として区別し後出した。また文書名については、年寄役である分家の大滝三郎光憲(初代直之助)家のものであり、二代目直之助が家督相続をした天保三年以降のものが大部分であるため、本家名主藤左衛門家とは別家であることを明示するために敢えて( )を附して「大滝(直之助)家文書」と表示した。

『村』文書の中に別置して鶴岡米穀取引所(大山支庫)と高田麦村分を配列した。鶴岡米穀取引所の支庫として大山村に倉庫が設置され、大滝家が取引所理事として就任している関係上、大山支庫の内容が判明できる文書が纏まっているので、「村政」に続けて一括掲載した。

「村」関係では、支配、土地、貢租・上納金、村・鶴岡米穀取引所・高田麦村分、戸口、土木・普請、困穀、運輸、寺社などに分類し、また「家」文書は酒造、家計、小作、吉凶、書状などに分類して配列した。最後に大滝家の姻戚関係にある「秋野家文書」を付記した。(秋野家文書の項参照)

『支配』の項の「陣屋」は大山村にあった陣屋は、寛延二年(一七四九)六月酒井藩預地役所が鶴岡に置かれたため、従来の陣屋建物を拂下

げをした。その時の建家は

立家 一〇六・五坪

座鋪今居間御用達場 物置共  
土間

九三・五坪

床并押入 四・二五坪

式台掾測四・七五坪

湯殿 二・五坪

雪隠一・五坪

とある。しかし翌寛延三年に再び幕府代官支配となったため、この陣屋を復活せざるをえなくなった。買戻し金額が二五兩永一八四文と記されている。この時の一〇六・五坪の「陣屋絵図」（史料番号一六〇七）である。現在は陣屋小学校としてその面影を残している。「廻状」「差紙」は比較的よく残っている。

『土地』の項には、土地の基本台帳の検地帳は寛永一九年（一六四二）をはじめとして慶応年間に至るまで割合に揃っている。「高反別」「引高」「土地売買」「質入」「林野」などを配列した。林野はこの村には百姓持林がなく御林山壱ヶ所（御林反別六拾四町九反三畝歩 此木数千三百本）があり楓・栗・雑木などが採材された。御林を管理する山守や請山などの証文である。

『貢租・上納金』の項は「検見」「割付」「諸役」「取立」「皆済」「年貢納拂」「上納金」諸項に分けて配列した。とくに「割付」「皆済目録」は天保一四年（一八四三）を頭初として幕末までを大山村・砂押村・丹波興屋村に別けて配列した。なお諸役のうち「国役」は越後国川々御普請御入用金の請取手形でこれまた前述の如く三カ村毎に分類した。この項目は『土木・普請』の川普請に見よ項目として表示した。

『村』の中は「村政」「村況」「村入用」「諸職」「貸借」に分けた。「村政」の中には、東北唯一の騒動といわれる大山騒擾一件が含まれている。

大山騒動は大山村の支配替に対する騒動である。大山村は前述(支配一覽)に示したように天領と酒井藩預り領と幾多の交代が行われた。とくに天保一三年(一八四二)に預り地が解かれ再び尾花沢代官大貫治右衛門となったのに、二年を待たず弘化元年(一八四四)二月一六日また酒井家の預り地となった。これを受けて従来公領の村民は、直ちに由利・鮑海・田川郡の公領七十三村三役人が連印して、二月二十三日大山陣屋(預り地)と尾花沢代官所に提出した。しかしこれは差戻されたため、二月末日に老中土井大炊頭・勘定奉行戸川播磨守を相手どり江戸登駕籠訴を強行した。この強行策も効を奏せず一揆となって発展した騒擾である。大山村での主謀者は大方が酒造業者であった。中でもリーダーとなって活躍したのが、大滝直之助家の本家である名主役の大滝藤左衛門である。小項目中の「藤左衛門・清三郎欠所一件」は処罪の一件書類である。

この一揆は遂に七日のちには首謀者の逮捕となって尋問が開始された。本裁判は地元の困乱をさけるためか越後国の幕領地越後国岩船郡塩町で行われた。塩町に幕府役人が出張して開かれたため、一揆に参加した人々の大部が塩町に呼び出しをうけた。小項目の「越後国塩之町御差立一件」はその時裁判に召換されて塩野町に向いた人数を示したものである。塩野町においての取調べは十一月中頃迄続き、最終期には鶴岡の川端役所役人が出役して完了した。裁判の結果は指導者ら五名は重罪人として江戸送り、ほかの二十三名は鶴岡に送られ、上着町溜牢に入れられた。この中には大滝清三郎の名も見える。

最終項目の「遊行上人」は遊行上人が嘉永二年(一八四九)七月より一十月にかけて巡国修行を目的として久保田御城下に行くとき、大山村専念寺に一泊したときの一件文書である。すべて年寄役大滝三郎が記録したものである。

「諸職」の小項目の酒造はこの地の主生産物である大山酒といわれる酒造で、江戸時代全国でも有名な銘柄であったが、庄内米の優秀な米質がその繁栄をもたらしたと考えられる。造り酒屋数(別表)は正徳頃には四一軒一一九一石の造石であった事が知られるが、僅か数年の元文元年(一七三六)には同じ四一軒で造石七五七石と減石されている。酒株は売買を許されていたので株の移動が行われていた事は察知できるが、造石の減少は元禄一五年(一七〇二)の幕府の酒造制限の物触発布も影響してかとも思われる。この後も数回減石も行われている。また酒井藩が自領酒の擁護策をとったために、領内では大山酒の入荷を認めず、「沖出し」と称して江戸に出荷しようとして失敗し、蝦夷地の箱館又は新

潟に出荷している。これは『家』の大滝家「酒造」の項に述べてあるが、大滝家の清酒および延命酒は箱館向の出荷が多い。アイヌ支配に使われる酒ともいわれ、酒樽を小さく二斗樽で出荷し、大坂酒に比べて値段も安く高級品としては扱われていなかった。

「諸職」の項中糶札や醤油稼株札が見られるが、醤油株は安政五年に設定された時のものである。糶株役銭は一升につき二文徴収された。「冥加寸志」は一種の冥加運上で、質屋営業許可をうるための仲間堅書にも毎年寸志壹両を提出する条件を出している。

『鶴岡米穀取引所』は明治二十七年十二月十七日に設置認可申請が平田安吉を代表として提出され、その申請者の中に「清酒醸造名産粕漬販売米穀売買業者大滝直之助」の名が見えている。明治二十八年十月十五日設立を認可され十二月一日には営業が開始され、大山支庫は明治三十年一月十二日事務所が新築された。理事長には笹原清吉が、理事の一人に大滝直之助は就任したが、専ら直之助は大山支庫の代表理事として活躍した。大山支庫としての諸機能は村として処理されているためにここに大項目として『村』に併出した。内容は「会計」支庫の「改装」「倉敷料」「入米諸調」「倉荷証券」などの小項目をたてた。鶴岡米穀取引所の開設当時の明治三〇年～三二年代の記録である。倉庫では、銘柄や等級などを厳密な検査をした上で入庫票（通称切符）を交付した。さらに倉敷料をとって委託された米を全部俵をほどこいて混合し、同一規準の四斗俵に作り直し、統一された「庄内米」として県外移出を行ったようである。小項目中にある「倉敷料」「倉荷証券」はこの一貫作業中で発行されたものである。

つぎの大項目の「高田麦村分」は兼帯名主清助が村の難渋のため立会名主願を川端役所に提出したものが大部分である。これは安政三年（一八五六）の地震被害によるものかとも思われるが、大滝直之助が年寄役としての職務からここに旧蔵されたと考える。

『戸口』本文書中には戸口に関する記録は乏しく僅かに「人数書」と「大山村家数人数惣寄帳」（別表）の他は天保一五年（一八四四）の「町々人数書上帳」のほかは「人別送」が数点あるのみである。そこで人口移動を他の「銘細帳」などより抄出してみると、人口の変動は他村に比べ余り大きくない。古くは寛文九年（一六六九）正月の家数・人数帳（「栗木文書」大山町史より）によると四七二軒二一九九人が一番少く、元文元年（一七三六）銘細帳（史料番号一）によると六七六軒、二四五九軒と増加している。その後は漸次増加しているものさしたる変

正徳(享保8年9月補筆) (大山村高反別村差出帳) (史料番号5)

造り酒屋 41軒 造石 1191石

造石	人名	造石	人名
30石	甚兵衛	50石	宇左衛門
20	作右衛門	80	五郎兵衛
30	五郎助	80	小右衛門
24	七郎右衛門	20	八兵衛
40	長左衛門	26	平左衛門
16	太郎左衛門	8	徳右衛門
16	曾兵衛	10	九左衛門
16	庄兵衛	4	庄治郎
16	利兵衛	5	徳左衛門
50	与兵衛	4	又右衛門
24	又右衛門	4	惣兵衛
70	彦兵衛	4	新左衛門
24	伊右衛門	4	新右衛門
16	長兵衛	4	又七
30	正右衛門	4	兵左衛門
80	藤左衛門	4	権兵衛
80	喜右衛門	4	助左衛門
45	九郎兵衛	4	千之助
90	源右衛門	50	角弥
20	与治兵衛	60	太郎左衛門
16	与助	外ニ8軒近年造り不申候	

元文元年9月(大山村銘細帳) (史料番号1)

造り酒屋 41軒 造石 757石

造石	人名	造石	人名
* 10石	甚兵衛	* 30石	宇左衛門
20	作右衛門	* 40	五郎兵衛
30	* 善四郎	* 40	小右衛門
24	七郎右衛門	20	八兵衛
* 20	長左衛門	* 20	平左衛門
16	太郎左衛門	8	* 清右衛門
16	曾兵衛	10	九左衛門
16	庄兵衛	4	庄次郎
16	利兵衛	* 4	* 清左衛門
* 30	与兵衛	4	又右衛門
* 4	又右衛門	4	惣兵衛
* 40	* 九兵衛	4	新左衛門
24	伊右衛門	4	新右衛門
16	長兵衛	4	又七
* 10	正右衛門	4	兵左衛門
* 40	藤左衛門	4	権兵衛
* 40	喜右衛門	4	助左衛門
* 25	九郎兵衛	4	千之助
* 40	源右衛門	* 30	角弥
20	与次兵衛	* 35	太郎左衛門
16	与助	外ニ8軒近年造り不申候	

\*印は正徳～元文にかけての酒株の移動を示す。

化はない。むしろ弘化三年(一八四六)六八八軒二九一一人の減少は大山騷擾の結果か疑問は残るが明治にかけても減少している。

『土木・普請』の項では「川普請」が越後国川々御普請関係のものであるため、『貢租・上納金』の「国役」の項に配列し、ここでは↓見よ項目で表示した。「用水」は大山村では用水堰が式ヶ所あり、内ヶ所長式里余水上押留并田川川分水とヶ所長式里半水上熊出川方分水している。普請人足は大山村・砂押村・友江村と酒井藩の馬町と四ヶ村組合で出している。大山村内には用水堰堰土手長八百八拾九間、樋三ヶ所あって普請入用は郷普請・自普請と村民にとって負担は大きい。橋も十王堂橋・くるめき橋・中野橋・大手橋・粕塚橋と五ヶ所あるが、橋入用は大山預村々百姓方より出している。これらに関する史料を「用水」「堰・樋」「道橋」に大別した。

『困穀』天明飢饉のあと全国では備荒貯蓄のための貯粉を奨励した。大山村にも二二〇坪という広大な粉蔵が大山郷八ヶ村の組合粉蔵として建てられ、数千俵の粉を備蓄した。

本文書の中でも、粉蔵を建て蔵詰された在庫数、下穀および貸付してどのように返納されるかの過程を示す史料が所蔵されている。「粉蔵」「貯粉」「御救粉」と配列したが、中でも「粉蔵改図」は天保二二年(一八四一)より元治に至る約四〇通がある。この困穀によって窮民救済の効を奏した事は云うまでもない。

『運輸』鶴岡と外港加茂港の中間に位置する大山村は、荷物継送地として加茂の馬士たちの出入が絶えなかった。馬市は大山村では古くから開かれていたが、元和八年(一六二二)大山城廃城とともに廃止された。しかし秋田街道の要衝の地であったため馬喰売人が大山村に出入し、馬市の再開が望まれ、明和四年(一七六七)

「五月下旬より女馬ばかり売買、六月下旬鶴岡の駒市以後に大山にて開市すれば鶴岡の障りにはならないであろう。」  
と懇願し、「五月十日より晦日まで牝馬のみ売買する事、馬代金壹両につき五十文の馬形銭を納入する事」などの諸条件によって明和五年(一七六八)に再開された。参考までに大山馬市の売買馬数・代金・役銭を表示した。

大山村家数人数表 弘化3年大山村家数人数惣寄帳(史料番号 23)

	家 数					人 数				馬 数
	合計	百姓	水呑	修験	寺	合計	男	女	出家・ 修験 内	
本 町	軒 162	144	13	2	3	人 718	351	367	(14)	9 匹
米 出	14	14				78	41	37		7
安良町	95	75	20			410	184	226		2
鍛冶町	26	22	2			111	55	56		0
堂 町	8	2	4			22	11	11		0
向 町	50	39	6		1	221	109	112	(1)	11
浦 町	46	35	3		1	178	83	95	(5)	8
染屋町	39	32				162	77	85		2
大工町	13	12				57	25	32		2
桧物町	11	8				32	18	14		0
片 町	18	14	2	1		89	38	51	(1)	1
銅屋町	31	23	2			112	57	55		1
木 町	31	25	2	1		163	88	75	(1)	1
七ッ町	29	18	4		5	126	61	65	(9)	2
轉木町	11	7	4			59	32	27		2
新 町	16	12	3	1		64	33	31	(1)	3
西 町	39	34	1		1	191	98	93	(11)	7
粕塚町	29	25	2			118	59	59		2
合 計	668	542	106	5	11	2911	1420	1491	43	59 宿馬 (43)

元文元年 大山村銘細帳(史料番号 1)

元文元年	軒 676	軒 541	軒 135		軒 11	人 2459	人 1233	人 1226	人 21	
------	----------	----------	----------	--	---------	-----------	-----------	-----------	---------	--

『寺社』大方は梶尾神社のものである。創建の年代は詳らでないが、大山町木七町に安政二年(一八五五)九月再建。明治になってからは縣社となり、とくに「酒の神」として酒屋中の崇敬の厚い社として栄えた。大滝直之助氏が明治二五年には梶尾神社の氏子会計長として活躍したために所蔵された記録である。

私的記録として配列した『家』史料には持高三十三石という一般の村役人層に見られる地主経営や冠婚葬祭の史料は殆んど残存していない。大滝家は年寄役として村政に携わるかたわら家業に酒造業を営んでいる関係上、この酒造史料が『家』史料の大宗となっている。「酒造」に関する史料は『村』の『諸職』の項の「酒造」史料と併せて利用されたい。

大滝直之助家の酒造は、「常盤井」「忍の井」「この君」と銘される清酒と延命酒を酒造している。伊勢神宮に奉納される清酒は「忍の井」であるといわれ、通常出荷している銘柄は「常盤井」である。文政二年(一八一九)「東講商人鑑」の「羽州大山酒銘柄」には「この君 大滝直之助」とある。「この君」という銘柄は本文書中には僅かしか見えず、とくに明治期になってからは造酒していなかったかと考えられる。

『村』の「酒造」の項でも記している様に「大山酒」は蝦夷地(箱館)に大量に出荷している。大滝家でも嘉永六年(一八五三)に「常盤井」「延命酒」を一七七四樽出荷している。(別表参照)

大滝家の全造酒石高が、大正年間まで四〇〇石(大正四年九九九石)前後であるから、その大半を箱館に出荷している事になる。

「造酒」の小項目には、資金、酒造高、製造法、造酒調、仕入、売付、買付、蔵出、売上、酒粕、白米受入、検査、酒造代金差引などと配列したが、これらの史料によって幕末から明治へ大正期の大滝家の酒造状態はある程度解明可能な文書と考えられる。つぎの『家計』の項の「大福帳」と共に大滝家の酒造経営の大宗となる史料である。

『家計』の中の「諸買物書出」は明治九・一〇・一一・一六・一七・一八年の書出を大滝家の一年分を一括して纏めて保存されていたため、現状の保持を尊重して年別ブロック毎に目録を作製した。「書出」とは諸買物の請求書・受取書とが包轄された用語である。当時の物価その他

大山馬市売上馬数并代金・御役錢調 (史料番号1342 ~ 1354)

年 代	女馬数	馬代金	御役錢	
天保15.年 <sup>10</sup>	263 <sup>疋</sup>	258 <sup>兩 3 分</sup>	6 <sup>貫</sup> 986 <sup>文</sup> 25	大山御役所
弘化 2. 7	258	255	6 885	川端御役所
弘化 3. 7	185	190 3	5 151	〃
〃 4. 7	242	277 3	7 499	〃
嘉永元. 7	337	370 1	9 997	〃
〃 2. 7	302	331	8 937	〃
〃 3. 7	276	305	8 505	〃
〃 4. 7	268	314	8 478	〃
〃 5. 7	224	275	7 425	〃
〃 6. 7	221	268	7 236	〃
〃 7. 7	340	320	( <sup>2</sup> / <sub>8</sub> 170) 640	〃
安政 2. 7	560	445	12 015	〃
☆ 〃 4. 7	708	490	13 230	〃
〃 5. 7	538	310	8 370	〃
〃 6. 7	425	275	7 425	〃
万延元. 7	488	340	9 180	〃
文久元. 7	667	390	10 530	〃
〃 2. 7	590	380	10 260	〃
〃 3. 7	573	355	9 585	〃
元治元. 7	574	365	9 855	〃

☆ 弘化3年は記載なし。御役錢は金1兩ニ付27文兩替4貫文

が判明できる好史料と考える。

「小作」に関する史料は、「野中村小右衛門の小作米滞り一件」が大部分であるため、小作経営の実態は明らかでない。

「吉凶」の項も僅少で、一般家庭で作帳される誕生・婚礼・年忌は殆んどなく、系図作製の基礎史料が皆無に等しい。随って掲出の『大滝直之助家略系図』は、ご当主大滝直之助氏のご教示によって、過去帳と墓石とによって作製した。大滝家の菩提寺は禅宗の水原山祐性寺(大山町轉目木)である。幕末の廃佛毀釈によって神佛混淆の葬祭をなし、二代目直之助光武氏は「英齊紹興金隆居士」と「大滝豊光武霊神」と二つの神仏両名をもっている。以後は神名のみになっている。(「略系図」を参照)

最後に大滝直之助家の姻戚である西田川郡加茂村の秋野与四郎家の大滝家関係の文書群である。主として酒造とその出荷状態に関するものが多いが、大滝家に三代に互る入嫁とまた大滝家にとって秋野家は家職再建の絶大な援助者でもあった。何故この様な量の文書群が大滝家に残存しているかは疑問が残るが大滝直之助家文書とは別に配列して後尾に附した。

なお史料全体に係る事であるが、この文書群には年号の記入されていない書付類が多い。無年代史料は約半数と考えられるが、干支や他史料との校合によってなるべく(一)を附して推定年代を表示した。中には誤謬もあるかも知れないが、目録利用

松前造酒取調

嘉永6年常盤井・延命酒樽数調書(史料番号1805)

日付	船名	銘柄		樽数	石数	
		常盤井	延命酒		石	斗
2月16日	幸玉丸	99 <small>樽</small>	101 <small>樽</small>	200 <small>樽</small>	37	2
3月26日	栄徳・幸玉	300		300	53	
4月15日	幸徳・清徳	304		304	54	294
7月3日	幸玉丸	70	123	193	36	314
7月12日	幸徳丸	150	150	300	52	098
8月22日	同	130	340	470	84	710
				1774 <small>樽</small>	318	770

者の参考になればと考えて敢えて表示した。

〔付記〕

本文書の整理および目録作製は浅井潤子が担当した。作成にあたり御当主大滝直之助氏御夫妻および鶴岡市立図書館堀 司郎氏にはご多忙中のところ大変お世話になりました。また大瀬欽也先生をはじめ「大山町史」の編纂者斉藤正一先生には紙面を通じて御教示を頂きましたし、鶴岡市立図書館の方々にも格別のご協力をいただきました。末筆ながらここに記して深甚の謝意を表したい。

# 大滝直之助家略系図

(大滝家過去帳と墓石等によつて作製)

(菩提寺は大山祐性院)

本家一世  
大滝藤左衛門  
清六  
本行道寿居士

二世 藤左衛門  
光良

常 益惠

三世 清三郎(名主)  
光賢(龍助)

文化十一年歿  
文化七年八月二十七日生  
明治八年二月三日歿

龍弥

清三郎

光弥

清三郎

① 三郎(光憲) 年寄

桃三郎、字子章

号樸齊、賢木舎と号す

寛政十一年生(田中茂右衛門弟)

文久二年二月九日歿

言靈豊光憲靈神

年

秋野与四郎女

享和三年生

明治七年三月一八日歿

貞齊華慶顔寿大姉

② 直之助(光武)

直伎

文政四年八月二十八日生

天保三年家督相続

明治九年十月八日歿

英齊紹興(金隆居士)

大滝豊光武靈神

稲(子)

芳賀兵左衛門長女

文政四年六月一〇日生

明治三八年六月二十四日歿

育齊文孝素英大姉

胤 (国学者)

(鈴木重胤養子)

清之助

文政一〇年十一月三日生

嘉永元年三月二十四日歿

玄鏡幽鑑居士

蓬山

鶴岡林泉寺住職

天保四年三月四日生

明治一六年三月一日歿

③ 直之助(光重)

梶太郎

嘉永二年二月二日生

明治三年七月一七日歿

大滝直之助靈代

千代(子)

秋野与四郎次女

嘉永四年八月一五日生

昭和一六年一〇月三〇日歿

④ 直之助(光寿)

梶次郎・梶太郎

明治三年五月二四日生

昭和七年二月二九日歿

伊代野

秋野与四郎次女

明治七年七月二二日生

大正一二年二月九日歿

⑤ 直之助(光俊)

明治三四年四月七日生

昭和一四年三月二四日歿

久惠

大泉村矢馳木村三郎長女

明治三八年一月八日生

昭和二六年四月二四日歿

⑥ 直之助(光正)

大正一四年一月二五日生

節子

東田川郡手向芳賀徳松長女

昭和三年二月九日生

光弘

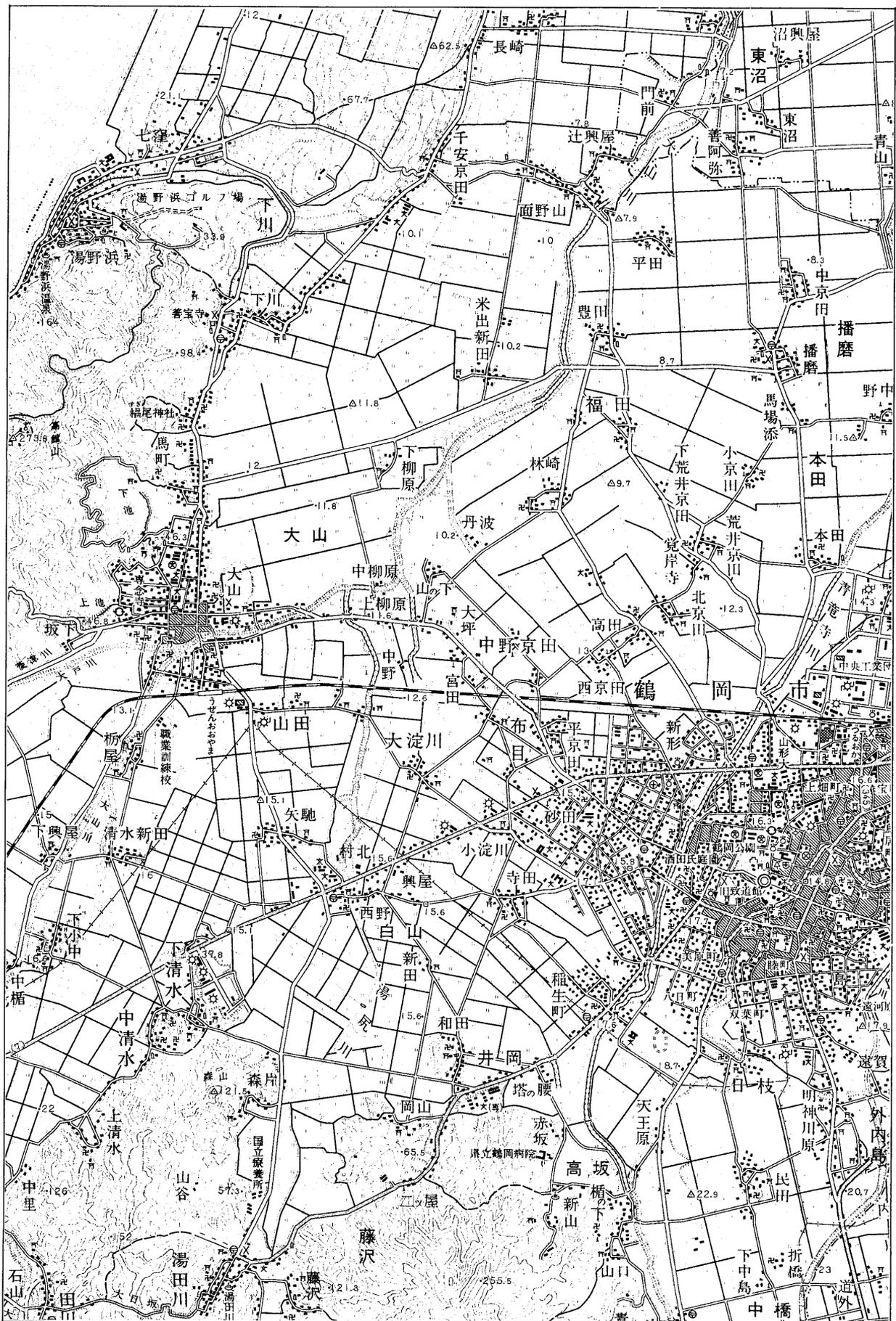
昭和三年二月九日生

⑦ 光典

昭和三年六月二日生

晶子

昭和三四五年五月一四日生



史料館所蔵史料目録 第五十三集

出羽国田川郡大山村大滝（直之助）家文書目録

平成三年三月三十一日 印刷発行

編集兼 国文学研究資料館

発行者 史料館

〒142 東京都品川区豊町一丁目十六番十号

電話 ○三―三七八五―七一三一（代）

印刷所 陸美マイクロ株式会社

〒135 東京都江東区木場六丁目十二番五号

（本文用紙は中性紙を使用）